

令和 2 年 度

主要施策の成果に関する報告書  
定額の資金を運用する  
基金の運用状況報告書

千 葉 県



# 目 次

## 主要施策の成果に関する報告書

### 第1部 総 論

#### 県財政の状況

1 一般会計決算の状況 .....	1
2 特別会計決算の状況 .....	2
3 県債の状況 .....	2

### 第2部 各部門の事業概要

1 総 務 部 .....	11
2 総合企画部 .....	23
3 防災危機管理部 .....	33
4 健康福祉部 .....	38
5 環境生活部 .....	73
6 商工労働部 .....	95
7 農林水産部 .....	112
8 県土整備部 .....	137
9 教 育 庁 .....	154
10 警 察 本 部 .....	175

## 定額の資金を運用する基金の運用状況報告書

1 土地開発基金・美術品等取得基金運用状況報告書 .....	179
--------------------------------	-----



# 主要施策の成果に関する報告書

## 第 1 部 総 論



# 県財政の状況

本県の財政は、地方消費税の税率の引上げなどにより県税収入が増加しているものの、社会保障関係経費や公債費が着実に増加していることから、大変厳しい状況にある。

こうした中で、令和2年度は、防災・減災対策や防犯対策の充実などのくらしの安全・安心の確立、子ども・子育て世代への支援や福祉・医療の充実をはじめ、千葉の魅力発信、商工業の振興・雇用、農林水産業の振興、社会基盤づくり、文化・スポーツ・環境施策の推進など、各分野の事業に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症に対応したところである。

この結果、令和2年度の一般会計及び特別会計の決算は以下のとおりとなった。

## 1 一般会計決算の状況

### (1) 決算規模及び収支の状況(第1表)

令和2年度一般会計の決算は、歳入が、前年度比31.2%増(5,234億8,101万円増)の2兆2,018億1,161万円、歳出が、前年度比31.1%増(5,094億4,709万円増)の2兆1,483億7,651万円であり、いずれも増となった。

実質収支は400億727万円となったが、このうち356億696万円は、新型コロナウイルス感染症に係る交付金等の概算交付によるもので、令和3年度に国に全額返還する必要がある。このため、国庫返還分を除いた実質収支は、44億31万円の黒字となった。

歳入が31.2%増、歳出が31.1%増と、いずれも大幅な伸びとなったのは、新型コロナウイルス感染症に対応するための歳出が4,557億円にのぼり、その財源として多額の国庫支出金等の歳入が生じたことが主な要因である。

### (2) 歳入内訳(第2表、第3表)

歳入総額2兆2,018億1,161万円の内訳は、県税8,279億3,542万円、構成比37.6%(対前年度比158億2,279万円、1.9%の増)、国庫支出金4,241億4,441万円、構成比19.3%(対前年度比2,708億3,664万円、176.7%の増)、地方交付税1,897億8,770万円、構成比8.6%(対前年度比4億9,142万円、0.3%の増)、地方譲与税923億6,359万円、構成比4.2%(対前年度比8億5,993万円、0.9%の増)、地方特例交付金45億701万円、構成比0.2%(対前年度比34億7,495万円、43.5%の減)、県債2,059億8,790万円、構成比9.3%(対前年度比239億6,246万円、13.2%の増)等となった。

また、県税、諸収入、使用料及び手数料等の自主財源は、1兆2,836億5,454万円、構成比58.3%(対前年度比21.9%の増)となり、国庫支出金、地方交付税、地方譲与税、県債等の依存財源は、9,181億5,706万円、構成比41.7%(対前年度比46.8%の増)となった。

### (3) 歳出内訳(第4表、第5表)

歳出総額 2兆1,483億7,651万円の内訳を目的別に見ると、総務費1,188億1,577万円、構成比5.5%(対前年度比21億7,163万円、1.9%の増) 民生費3,606億6,349万円、構成比16.8%(対前年度比706億701万円、24.3%の増) 衛生費1,480億6,479万円、構成比6.9%(対前年度比886億9,959万円、149.4%の増) 商工費4,162億2,447万円、構成比19.4%(対前年度比2,760億7,945万円、197.0%の増) 土木費1,294億3,725万円、構成比6.0%(対前年度比211億698万円、19.5%の増) 警察費1,472億7,530万円、構成比6.8%(対前年度比1億2,117万円、0.1%の増) 教育費3,690億9,331万円、構成比17.2%(対前年度比54億5,958万円、1.5%の減)等となった。

また、性質別に見ると、消費的経費 1兆7,107億8,581万円、構成比79.6%(対前年度比4,589億964万円、36.7%の増) 投資的経費1,792億8,593万円、構成比8.4%(対前年度比464億8,458万円、35.0%の増) 公債費2,192億1,076万円、構成比10.2%(対前年度比74億6,091万円、3.5%の増) 繰出金390億9,400万円、構成比1.8%(対前年度比34億804万円、8.0%の減)となった。

## 2 特別会計決算の状況(第6表)

令和2年度における特別会計の決算状況は、18会計で歳入総額 1兆7,697億912万円(対前年度比911億6,288万円、5.4%の増) 歳出総額 1兆7,158億3,513万円(対前年度比683億4,936万円、4.1%の増)となった。

## 3 県債の状況(第8表)

一般会計における令和元年度末現在高は3兆5,974億3,548万円、令和2年度の発行額は2,059億8,790万円、元金償還額は1,622億931万円であったことから、令和2年度末現在高は3兆6,412億155万円(対前年度末比437億6,607万円、1.2%の増)となった。



第1表 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	2 年 度	元 年 度	比 較	
			-	/ ( % )
歳 入 総 額 ( A )	2,201,811,605	1,678,330,591	523,481,014	131.2
歳 出 総 額 ( B )	2,148,376,507	1,638,929,417	509,447,090	131.1
差引額 ( A ) - ( B ) ( C )	53,435,098	39,401,174	14,033,924	
翌年度へ繰り越すべき財源				
通次繰越 ( D )				
明許繰越 ( E )	9,165,199	30,612,270	21,447,071	
事故繰越 ( F )	4,262,634	1,838,176	2,424,458	
計 ( D ) + ( E ) + ( F ) ( G )	13,427,833	32,450,446	19,022,613	
実質収支 ( C ) - ( G )	40,007,265 ( 4,400,308 )	6,950,728	33,056,537 ( 2,550,420 )	
単 年 度 収 支	33,056,537 ( 2,550,420 )	957,305	34,013,842 ( 1,593,115 )	

( )内は、新型コロナウイルス感染症に係る交付金等の返還分を控除したものの。

第2表 一般会計歳入決算状況

(単位:千円)

区 分	2 年 度			元 年 度		
	決算額	構成比 ( % )	対前年度比 ( % )	決算額	構成比 ( % )	対前年度比 ( % )
1 自 主 財 源	1,283,654,544	58.3	121.9	1,053,001,741	62.7	96.2
( 1 ) 県 税	827,935,420	37.6	101.9	812,112,629	48.4	98.4
( 2 ) 諸 収 入	362,229,436	16.5	225.6	160,571,880	9.6	102.1
( 3 ) 使用料及び手数料	28,128,214	1.3	96.4	29,169,827	1.7	100.0
( 4 ) 分担金及び負担金	6,606,040	0.3	100.7	6,560,151	0.4	110.3
( 5 ) そ の 他	58,755,434	2.6	131.8	44,587,254	2.6	57.5
2 依 存 財 源	918,157,061	41.7	146.8	625,328,850	37.3	103.4
( 1 ) 国庫支出金	424,144,407	19.3	276.7	153,307,764	9.1	100.5
( 2 ) 地方交付税	189,787,699	8.6	100.3	189,296,281	11.3	105.3
( 3 ) 地方譲与税	92,363,593	4.2	100.9	91,503,668	5.5	98.1
( 4 ) 交通安全対策特別交付金	1,366,448	0.1	112.6	1,213,735	0.1	98.4
( 5 ) 地方特例交付金	4,507,014	0.2	56.5	7,981,962	0.5	254.2
( 6 ) 県 債	205,987,900	9.3	113.2	182,025,440	10.8	104.2
合 計	2,201,811,605	100.0	131.2	1,678,330,591	100.0	98.7

第3表 一般会計歳入決算状況（款別）

款 別	2 年 度 予 算 現 額			
	当 初	補 正	繰越充当	計 (A)
1 県 税	841,311,000	17,131,000		824,180,000
2 地 方 譲 与 税	102,701,000	10,533,080		92,167,920
3 地 方 特 例 交 付 金	3,152,000	1,355,014		4,507,014
4 地 方 交 付 税	186,000,000	3,682,122		189,682,122
5 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,300,000			1,300,000
6 分 担 金 及 び 負 担 金	9,240,086	391,862	1,991,015	11,622,963
7 使 用 料 及 び 手 数 料	30,005,490	1,444,009		28,561,481
8 国 庫 支 出 金	170,253,180	459,979,931	45,726,019	675,959,130
9 財 産 収 入	1,262,505	1,221,559		2,484,064
10 寄 附 金	4,714	496,528		501,242
11 繰 入 金	74,130,250	37,011,045		37,119,205
12 繰 越 金		6,950,728	32,450,446	39,401,174
13 諸 収 入	220,079,003	194,986,242	923,239	415,988,484
14 県 債	180,046,066	47,618,067	29,413,500	257,077,633
合 計	1,819,485,294	650,562,919	110,504,219	2,580,552,432

第4表 一般会計歳出決算状況（目的別）

款 別	2 年 度 予 算 現 額				
	当 初	補 正	前年度繰越額	予備費充用	計 (A)
1 議 会 費	2,765,162	132,113			2,633,049
2 総 務 費	122,088,960	1,149,400	2,282,438		123,221,998
3 民 生 費	314,344,029	66,406,910	2,233,434		382,984,373
4 衛 生 費	65,391,272	122,813,319	155,735		188,360,326
5 環 境 費	5,617,550	170,740	690,827		6,479,117
6 労 働 費	3,986,012	514,187	19,317		3,491,142
7 農 林 水 産 業 費	50,377,787	9,003,499	39,966,480		99,347,766
8 商 工 費	204,899,919	446,155,697	3,407,136		654,462,752
9 土 木 費	129,328,793	19,656,127	52,870,996		201,855,916
10 警 察 費	152,585,976	3,981,830	1,032,795		149,636,941
11 教 育 費	382,587,467	9,072,368	2,722,110		376,237,209
12 災 害 復 旧 費	1,942,592	628,092	5,079,740		6,394,240
13 公 債 費	224,124,517	3,221,291			220,903,226
14 諸 支 出 金	159,295,258	3,205,908	43,211		162,544,377
15 予 備 費	150,000	1,850,000			2,000,000
合 計	1,819,485,294	650,562,919	110,504,219		2,580,552,432

(単位：千円)

2年度収入済額 (B)	構成比 (%)	予算現額対比増減 (B) - (A)	元年度収入済額 (C)	比較	
				(B) - (C)	(B)/(C)(%)
827,935,420	37.6	3,755,420	812,112,629	15,822,791	101.9
92,363,593	4.2	195,673	91,503,668	859,925	100.9
4,507,014	0.2		7,981,962	3,474,948	56.5
189,787,699	8.6	105,577	189,296,281	491,418	100.3
1,366,448	0.1	66,448	1,213,735	152,713	112.6
6,606,040	0.3	5,016,923	6,560,151	45,889	100.7
28,128,214	1.3	433,267	29,169,827	1,041,613	96.4
424,144,407	19.3	251,814,723	153,307,764	270,836,643	276.7
2,480,442	0.1	3,622	1,025,520	1,454,922	241.9
552,145	0.0	50,903	328,350	223,795	168.2
16,321,673	0.7	20,797,532	25,574,816	9,253,143	63.8
39,401,174	1.8		17,658,568	21,742,606	223.1
362,229,436	16.5	53,759,048	160,571,880	201,657,556	225.6
205,987,900	9.3	51,089,733	182,025,440	23,962,460	113.2
2,201,811,605	100.0	378,740,827	1,678,330,591	523,481,014	131.2

(単位：千円)

2年度支出済額 (B)	構成比 (%)	予算現額対比増減 (B) - (A)	元年度支出済額 (C)	比較	
				(B) - (C)	(B)/(C)(%)
2,526,203	0.1	106,846	2,646,113	119,910	95.5
118,815,771	5.5	4,406,227	116,644,138	2,171,633	101.9
360,663,493	16.8	22,320,880	290,056,479	70,607,014	124.3
148,064,791	6.9	40,295,535	59,365,201	88,699,590	249.4
5,537,127	0.3	941,990	4,740,242	796,885	116.8
3,025,599	0.1	465,543	2,839,502	186,097	106.6
62,531,618	2.9	36,816,148	47,360,207	15,171,411	132.0
416,224,470	19.4	238,238,282	140,145,024	276,079,446	297.0
129,437,248	6.0	72,418,668	108,330,272	21,106,976	119.5
147,275,296	6.8	2,361,645	147,154,129	121,167	100.1
369,093,311	17.2	7,143,898	374,552,889	5,459,578	98.5
3,810,871	0.2	2,583,369	1,012,537	2,798,334	376.4
220,842,389	10.3	60,837	213,108,093	7,734,296	103.6
160,528,320	7.5	2,016,057	130,974,591	29,553,729	122.6
		2,000,000			
2,148,376,507	100.0	432,175,925	1,638,929,417	509,447,090	131.1

第5表 一般会計歳出決算状況（性質別）

（単位：千円）

区 分	2 年 度		元 年 度		比 較	
	決算額（A）	構成比（%）	決算額（B）	構成比（%）	（A）-（B）	（A）/（B）（%）
1 消費的経費	1,710,785,809	79.6	1,251,876,171	76.4	458,909,638	136.7
（1）人件費	526,564,264	24.5	530,353,598	32.4	3,789,334	99.3
ア 基本給	250,068,541	11.6	251,951,009	15.4	1,882,468	99.3
イ その他	276,495,723	12.9	278,402,589	17.0	1,906,866	99.3
（2）物件費	75,322,347	3.5	64,559,490	3.9	10,762,857	116.7
（3）維持補修費	2,810,634	0.1	2,512,816	0.2	297,818	111.9
（4）扶助費	37,502,551	1.7	36,886,925	2.3	615,626	101.7
（5）その他の消費的経費	1,068,586,013	49.8	617,563,342	37.7	451,022,671	173.0
ア 貸付金	335,334,567	15.6	128,178,957	7.8	207,155,610	261.6
イ 積立金	7,890,482	0.4	8,318,305	0.5	427,823	94.9
ウ その他	725,360,964	33.8	481,066,080	29.4	244,294,884	150.8
2 投資的経費	179,285,932	8.4	132,801,353	8.1	46,484,579	135.0
（1）普通建設事業費	161,355,686	7.5	119,329,626	7.3	42,026,060	135.2
ア 補助	66,631,316	3.1	57,053,223	3.5	9,578,093	116.8
イ 単独	94,724,370	4.4	62,276,403	3.8	32,447,967	152.1
（2）災害復旧事業費	3,980,720	0.2	1,015,337	0.1	2,965,383	392.1
ア 補助	195,625	0.0	825,930	0.1	630,305	23.7
イ 単独	3,785,095	0.2	189,407	0.0	3,595,688	1,998.4
（3）国直轄事業費負担金	13,949,526	0.7	12,456,390	0.8	1,493,136	112.0
3 公債費	219,210,762	10.2	211,749,848	12.9	7,460,914	103.5
4 繰出金	39,094,004	1.8	42,502,045	2.6	3,408,041	92.0
合 計	2,148,376,507	100.0	1,638,929,417	100.0	509,447,090	131.1

第6表 特別会計決算状況

(単位：千円)

会計名	区分	2年度			元年度決算額 (C)	比較 (B) - (C)
		予算額(A)	決算額(B)	差引(A) - (B)		
財政調整基金	歳入	17,846,000	3,503,811	14,342,189	4,007,264	503,453
	歳出	17,846,000	3,503,811	14,342,189	4,007,264	503,453
	差引額					
県債管理事業	歳入	501,424,092	501,423,181	911	498,701,706	2,721,475
	歳出	501,424,092	501,423,181	911	498,701,706	2,721,475
	差引額					
地方消費税清算	歳入	686,690,000	697,554,020	10,864,020	593,264,786	104,289,234
	歳出	686,690,000	683,065,233	3,624,767	584,608,264	98,456,969
	差引額		14,488,787	14,488,787	8,656,522	5,832,265
自動車税証紙	歳入	4,432,000	4,495,557	63,557	7,350,197	2,854,640
	歳出	4,432,000	4,222,237	209,763	7,041,808	2,819,571
	差引額		273,320	273,320	308,389	35,069
市町村振興資金	歳入	3,958,736	3,958,736		3,557,188	401,548
	歳出	3,958,736	1,267,800	2,690,936	899,200	368,600
	差引額		2,690,936	2,690,936	2,657,988	32,948
母子父子寡婦福祉資金	歳入	333,421	373,203	39,782	312,920	60,283
	歳出	333,421	124,661	208,760	164,042	39,381
	差引額		248,542	248,542	148,878	99,664
心身障害者扶養年金事業	歳入	758,368	756,515	1,853	750,717	5,798
	歳出	758,368	756,415	1,953	750,517	5,898
	差引額		100	100	200	100
国民健康保険事業	歳入	515,586,568	524,821,448	9,234,880	529,600,772	4,779,324
	歳出	515,586,568	502,190,003	13,396,565	521,950,077	19,760,074
	差引額		22,631,445	22,631,445	7,650,695	14,980,750
日本コンベンションセンター国際展示場事業	歳入	2,592,164	3,220,277	628,113	6,534,201	3,313,924
	歳出	2,592,164	2,317,133	275,031	5,845,543	3,528,410
	差引額		903,144	903,144	688,658	214,486
小規模企業者等設備導入資金	歳入	271,124	469,126	198,002	637,525	168,399
	歳出	271,124	269,055	2,069	371,813	102,758
	差引額		200,071	200,071	265,712	65,641

(單位：千円)

會計名	区分	2 年 度			元年度決算額 ( C )	比 較 ( B ) - ( C )
		予算額 ( A )	決算額 ( B )	差引 ( A ) - ( B )		
就 農 支 援 資 金	歳 入	136,985	137,064	79	133,933	3,131
	歳 出	136,985	135,271	1,714	28,854	106,417
	差引額		1,793	1,793	105,079	103,286
営 林 事 業	歳 入	288,546	275,708	12,838	258,643	17,065
	歳 出	288,546	248,078	40,468	243,074	5,004
	差引額		27,630	27,630	15,569	12,061
林業・木材産業 改 善 資 金	歳 入	122,486	121,735	751	121,769	34
	歳 出	122,486	23,120	99,366	70	23,050
	差引額		98,615	98,615	121,699	23,084
沿 岸 漁 業 改 善 資 金	歳 入	471,080	468,506	2,574	476,588	8,082
	歳 出	471,080	109,407	361,673	34,508	74,899
	差引額		359,099	359,099	442,080	82,981
奨 学 資 金	歳 入	1,193,072	1,214,472	21,400	957,291	257,181
	歳 出	1,193,072	287,811	905,261	335,183	47,372
	差引額		926,661	926,661	622,108	304,553
工 業 団 地 整 備 事 業	歳 入	16,064	5,623,800	5,607,736	5,986,902	363,102
	歳 出	16,064	15,061	1,003	363,102	348,041
	差引額		5,608,739	5,608,739	5,623,800	15,061
港 湾 整 備 事 業	歳 入	3,409,726	4,922,522	1,512,796	3,598,293	1,324,229
	歳 出	3,409,726	2,825,278	584,448	1,661,492	1,163,786
	差引額		2,097,244	2,097,244	1,936,801	160,443
土 地 区 画 整 理 事 業	歳 入	19,959,058	16,369,440	3,589,618	22,295,543	5,926,103
	歳 出	19,959,058	13,051,577	6,907,481	20,479,257	7,427,680
	差引額		3,317,863	3,317,863	1,816,286	1,501,577
合 計	歳 入	1,759,489,490	1,769,709,121	10,219,631	1,678,546,238	91,162,883
	歳 出	1,759,489,490	1,715,835,132	43,654,358	1,647,485,774	68,349,358
	差引額		53,873,989	53,873,989	31,060,464	22,813,525

第7表 県債管理基金の状況

昭和60年2月27日 「千葉県県債管理基金条例」制定（条例第1号）

平成4年3月26日 一部改正（条例第9号）

（単位：千円）

年 度	積立額 (A)		取崩し (B)	計 (C) = (A) - (B)	累 計
	元 金	利 子			
S60	9,000,000	121,868		9,121,868	9,121,868
S61	6,000,000	891,064		6,891,064	16,012,932
S62	10,000,000	696,261		10,696,261	26,709,193
S63		1,259,036		1,259,036	27,968,229
H元	41,561,000	1,490,594		43,051,594	71,019,823
H 2	34,648,000	5,783,637	6,169,000	34,262,637	105,282,460
H 3	25,753,000	7,477,987	13,831,000	19,399,987	124,682,447
H 4	13,737,000	4,888,285	42,425,000	23,799,715	100,882,732
H 5		2,126,805	30,407,000	28,280,195	72,602,537
H 6		1,337,238	21,458,000	20,120,762	52,481,775
H 7	1,540,415	692,334	8,503,000	6,270,251	46,211,524
H 8	885,980	245,603	15,920,235	14,788,652	31,422,872
H 9	1,281,340	152,956	21,761,516	20,327,220	11,095,652
H10	1,162,720	46,379	1,450,313	241,214	10,854,438
H11	10,857,390	13,518	1,598,989	9,271,919	20,126,357
H12	16,683,460	24,682	281,344	16,426,798	36,553,155
H13	16,446,060	29,985	96,835	16,379,210	52,932,365
H14	20,230,680	8,340	10,626,828	9,612,192	62,544,557
H15	10,367,729	10,891	12,812,717	2,434,097	60,110,460
H16	12,605,400	12,516	11,620,516	997,400	61,107,860
H17	56,843,087	12,565	21,288,565	35,567,087	96,674,947
H18	55,760,592	264,118	17,072,118	38,952,592	135,627,539
H19	55,325,938	699,939	23,308,568	32,717,309	168,344,848
H20	64,927,541	1,108,921	22,895,006	43,141,456	211,486,304
H21	75,634,106	1,107,212	53,695,297	23,046,021	234,532,325
H22	82,650,440	1,138,826	52,612,910	31,176,356	265,708,681
H23	82,565,612	1,289,435	50,257,520	33,597,527	299,306,208
H24	88,511,110	1,473,904	57,030,229	32,954,785	332,260,993
H25	111,513,611	1,929,983	80,465,186	32,978,408	365,239,401
H26	133,084,850	2,329,347	86,937,061	48,477,136	413,716,537
H27	109,350,756	2,655,235	96,386,605	15,619,386	429,335,923
H28	115,911,667	2,773,124	78,905,550	39,779,241	469,115,164
H29	122,965,396	2,900,675	76,351,475	49,514,596	518,629,760
H30	136,660,630	2,962,923	89,678,172	49,945,381	568,575,141
R元	138,266,108	2,903,822	114,546,879	26,623,051	595,198,192
R2	139,358,300	2,695,098	109,733,582	32,319,816	627,518,008

第8表 一般会計地方債現在高の状況

(単位：千円)

区 分	元年度末 現在高 (A)	2年度 発行額 (B)	2年度償還額			2年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
			元金(C)	利子	計	
公共事業等債	473,901,614	17,449,200	28,700,069	3,730,930	32,430,999	462,650,745
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	1,780,500	5,221,200	687	1,177	1,864	7,001,013
一般単独事業債	621,026,590	39,456,100	33,565,367	4,205,288	37,770,655	626,917,323
公営住宅建設事業債	19,038,384	1,261,500	1,669,035	168,448	1,837,483	18,630,849
学校教育施設等整備事業債	9,033,982	352,400	172,048	34,341	206,389	9,214,334
災害復旧事業債	2,635,414	1,854,500	314,849	3,805	318,654	4,175,065
緊急防災・減災事業債	2,468,809		759,696	9,046	768,742	1,709,113
首都圏等建設事業債	6,436,948		99,817	55,176	154,993	6,337,131
厚生福祉施設整備事業債	1,213,265		75,564	2,061	77,625	1,137,701
社会福祉施設整備事業債	6,856,222	242,600	400,713	47,500	448,213	6,698,109
一般補助施設整備等事業債	11,444,003	800	314,916	50,835	365,751	11,129,887
施設整備事業債	37,825,392	3,627,700	957,295	144,476	1,101,771	40,495,797
行政改革推進債	45,884,908		966,956	278,165	1,245,121	44,917,952
地域財政特例対策債	4,500			38	38	4,500
退職手当債	79,954,975		6,556,133	432,000	6,988,133	73,398,842
国の予算貸付	8,847,333	36,800	819,239		819,239	8,052,371
減収補てん債	182,496,590	36,193,000	7,176,329	1,408,723	8,585,052	211,513,261
財源対策債	141,369,435	10,305,400	6,515,125	569,691	7,084,816	145,159,710
臨時税収補てん債	7,904,000			41,360	41,360	7,904,000
減税補てん債	73,780,667		1,966,060	535,377	2,501,437	71,814,607
臨時財政対策債	1,835,534,416	89,981,200	69,135,418	12,123,798	81,259,216	1,856,380,198
その他	27,997,535	5,500	2,043,996	334,760	2,378,756	25,959,039
合 計	3,597,435,482	205,987,900	162,209,312	24,176,995	186,386,307	3,641,201,547

災害援護資金貸付金の償還免除額を控除している。



## 第2部 各部門の事業概要



# 総務部

## 総務課

### 1 職員研修事業

予 算 額	予算執行額
110,697千円	103,056千円

人材開発を効果的に実施するため、研修の実施・運営等の業務を外部委託し研修の高度化・専門化を図るとともに、在職期間に応じて行う若手職員育成研修、職務の役割・責任に応じて行う職務別研修、職員が自ら選択して受講するパワーアップ研修等を実施した。

### 2 地域振興事務所事業

予 算 額	予算執行額
845,601千円	769,368千円

県内10箇所にある地域振興事務所について、必要な庁舎整備を行いながら、適正な維持管理に努めた。印旛合同庁舎及び東葛飾合同庁舎については、長期的な視点から修繕や改修等の実施内容や時期を示した維持管理計画書に基づき、計画保全を実施した。

- ・地域振興事務所計画保全事業 235,732千円

## 行政改革推進課

### 1 行政改革及びコンプライアンスの推進

予 算 額	予算執行額
53,200千円	48,450千円

#### (1) 行政改革の推進

平成29年度に策定した千葉県行政改革計画（平成29～令和2年度）に基づき、引き続き、行政改革の推進に取り組んだ。

また、規制改革については、県民等の負担軽減及び利便性の向上を図るため、行政手続のオンライン化を見据え、国の押印見直しの取組及び結果を参考に、押印見直し方針を定めた。

#### (2) コンプライアンスの推進

県のコンプライアンスの向上を着実に推進していくために、令和2年度に実施する具体的な取組を盛り込んだ推進計画を策定し、所属長に対するコンプライアンス研修等を実施した。

また、平成30年度に制定した千葉県職員倫理条例に関する取組については、職員や利害関係者等への周知啓発や相談への対応、贈与等の報告などの取りまとめを行った。

### (3) 内部統制体制の整備・運用

令和2年4月1日施行の改正地方自治法により、県に「内部統制制度」の導入が義務付けられたため、令和2年3月30日に策定した「千葉県内部統制基本方針」に基づき財務に関する事務に係る内部統制体制の整備及び運用を行った。

### (4) 仕事改革・働き方改革の推進

業務の効率化や職員の多様な働き方の実現に向け、業務のデジタル化・ペーパーレス化の推進、テレワーク（在宅勤務）の環境整備や積極的な推進など、県庁における仕事のやり方の見直しを図るとともに、定型業務を自動化するRPAや県民からの問合せにAIが会話形式のテキストで自動応答するチャットボットなど、生産性向上に役立つ新しいICTツールの活用に取り組んだ。

## 資産経営課

### 1 財産管理事業

資産経営課所管の普通財産について、土地等の状況を的確に把握するため定期的に現地確認するなど、適正な財産管理に努めた。

予 算 額	予算執行額
1,554,757千円	1,553,380千円

また、国有資産等所在市町村交付金法に基づき、県が所有する固定資産を他の者に貸し付けている場合などに、資産の所在する市町村に交付金を交付した。

(令和2年度交付状況)

市町村数	交付金額
48	1,531,100千円

厳しい財政状況の下での歳入確保の取組として、未利用県有地の売却について、千葉県ホームページ等を利用した広報活動を行い、一般競争入札等により処分を行った。

(令和2年度未利用県有地の処分状況)

件 数	面 積	収入金額
6件	8,273.36㎡	185,521千円

### 2 県有施設再整備事業

#### (1) 中央児童相談所機能拡充移転事業

中央児童相談所の老朽化・狭隘化に対応するため、近隣の旧青少年女性会館を活用した施設整備を行うことにより、県有施設の有効活用を図りながら保護児童の処遇改善及び適切な執務環境の確保を図ろうとするものである。

予 算 額	予算執行額
1,488,172千円	1,479,517千円

令和2年度においては、前年度に引き続き旧青少年女性会館の改修工事を行い、中央児童相談所の移転が完了した。

(2) 山武合同庁舎再整備事業

山武合同庁舎の老朽化及び耐震性不足に対応するため、周辺の東金合同庁舎等と集約の上、山武合同庁舎敷地に新庁舎を建設し、県民の利便性向上を図ろうとするものである。

令和2年度においては、新庁舎の実施設計等を行った。

(3) 夷隅合同庁舎再整備事業

夷隅合同庁舎の老朽化及び耐震性不足に対応するため、大多喜町内に新庁舎を建設し、併せて他の県有地にある防災備蓄倉庫を集約して県民の利便性向上を図ろうとするものである。

令和2年度においては、新庁舎の基本設計を行った。

## 管財課

### 1 庁舎管理事業

県民サービスの向上及び公務の円滑な執行を図るため、本庁舎ほか6庁舎（中庁舎、議会棟、南庁舎、南庁舎別館、立体駐車場、亥鼻第二別館）の維持管理に努めた。主な業務は、次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
1,454,190千円	1,359,798千円

(1) 清掃

庁舎の清掃、廃棄物処理、上下水槽及び污水管等清掃

(2) 電気機械等保守点検及び運転

庁舎の電気機械設備、エレベーター、防災設備、電話設備及び空調機械等の保守点検・運転

(3) 庁舎の警備

庁舎の警備、構内駐車場整理及び構内警備

(4) 庁舎の維持補修

庁舎の電気機械設備等の整備その他修繕

# 税務課

## 1 税務行政の推進

予 算 額	予算執行額
180,160,132千円	177,999,632千円

千葉県県税基本方針に則り、県下13県税事務所及び自動

車税事務所において県税の賦課徴収を行い、令和2年度は827,935,420千円の県税収入を確保した。

### (1) 公平・適正な課税の推進

税負担の公平と県税収入の確保を図るため、課税客体の捕捉、課税標準額の算定、申告指導や賦課処分等の課税業務を適正かつ計画的・効率的に行った。

- ・法人二税に係る未届法人や不申告法人に対する申告指導、外形標準課税法人等の課税標準調査
- ・軽油引取税に係る課税客体の捕捉と迅速な課税、不正軽油に係る調査及び監視

### (2) 徴収対策の実施

依然として多額な滞納額の縮減と県税収入の確保を図るため、令和2年度県税未済額縮減対策を定め、「滞納は絶対に見逃さない!」というスローガンのもとで徴収を強化した。

#### ア 個人県民税の対策

県税滞納額が最も多い個人県民税について、徴収困難事案を市町村から引き継いで特別滞納処分室で直接徴収を実施し、繰越分の徴収率及び滞納額縮減に努めたほか、市町村の税務職員を研修生として受け入れ、市町村の徴収技術の向上等に資する人材育成を図った。また、「千葉県滞納整理推進機構」において、実務研修、功績表彰等の市町村支援を行うとともに、特別徴収の更なる徹底のための広報を実施した。

#### イ 特別滞納事案の対策

個人県民税を除く滞納額20万円以上の特別滞納事案について、6県税事務所に事案を集約し、捜索を含む徹底した財産調査と滞納処分を行い滞納額縮減を図った。

#### ウ 自動車税の対策

滞納件数が多い自動車税については、10月～5月を自動車税滞納整理強化期間と定め、給与所得者については給与・預貯金・生命保険・自動車の差押えを行う「差押処分『四段構え』作戦」を展開した。給与所得者以外については、状況に応じて自動車の差押えを先行して行うなど、柔軟かつ着実に実施した。

#### エ 換価の促進

換価が適当と判断された差押財産について、インターネット公売や合同不動産公売などにより早期売却に努めた。

整理未済額

令和元年度	令和2年度
14,856,171千円	18,074,701千円

(3) 税務事務の適正化・効率化

県税の納税者の情報管理や、賦課徴収業務を処理するために導入されている税トータルシステムについて、法人課税の税制改正に対応するため必要なシステム改修を行った。

別表 県税調定及び収入に関する調

(単位：千円)

区 分	調 定 済 額			収 入 済 額			収 入 歩 合	
	令和2年度	令和元年度	伸長率	令和2年度	令和元年度	伸長率	令和2年度	令和元年度
県税	847,062,928	828,159,877	102.28%	827,935,419	812,112,628	101.94%	97.74%	98.06%
県民税	302,566,019	302,976,403	99.86%	290,171,646	290,130,399	100.01%	95.90%	95.76%
( 個人 )	284,301,923	277,683,908	102.38%	272,491,895	265,001,653	102.82%	95.84%	95.43%
( 法人 )	16,899,003	24,103,779	70.10%	16,314,659	23,940,030	68.14%	96.54%	99.32%
( 利子割 )	1,365,092	1,188,715	114.83%	1,365,092	1,188,715	114.83%	100.00%	100.00%
事業税	143,972,966	146,436,235	98.31%	139,185,927	145,734,401	95.50%	96.67%	99.52%
( 個人 )	8,633,614	8,420,956	102.52%	8,464,868	8,198,333	103.25%	98.04%	97.35%
( 法人 )	135,339,351	138,015,279	98.06%	130,721,059	137,536,067	95.04%	96.58%	99.65%
地方消費税	254,596,000	226,008,000	112.64%	254,596,000	226,008,000	112.64%	100.00%	100.00%
不動産取得税	17,589,048	18,857,325	93.27%	16,612,105	18,045,259	92.05%	94.44%	95.69%
県たばこ税	6,434,141	6,508,319	98.86%	6,434,105	6,508,277	98.86%	99.99%	99.99%
ゴルフ場利用税	3,898,052	4,191,003	93.01%	3,849,871	4,191,003	91.86%	98.76%	100.00%
軽油引取税	38,663,832	40,862,349	94.61%	38,654,386	40,260,824	96.00%	99.97%	98.52%
自動車税	78,226,618	2,721,138	2874.77%	77,945,030	2,714,184	2871.76%	99.64%	99.74%
( 環境性能割 )	4,305,191	2,113,283	203.72%	4,297,681	2,106,537	204.01%	99.82%	99.96%
( 種別割 )	73,921,427	607,855	12161.02%	73,647,348	607,647	12120.08%	99.62%	100.00%
鉱区税	41,087	41,692	98.54%	41,087	41,692	98.54%	100.00%	100.00%
狩猟税	30,442	32,371	94.04%	30,442	32,371	94.04%	100.00%	99.98%
自動車取得税	804	4,614,823	0.01%	317	4,614,126	0.00%	39.42%	98.56%
自動車税	1,043,914	74,910,214	1.39%	414,497	73,832,087	0.56%	39.70%	98.06%

旧法による税

## 市町村課

### 1 市町村に対する支援

予 算 額	予算執行額
4,388,309千円	1,678,323千円

#### (1) 市町村振興資金貸付事業

(特別会計)

市町村の振興を図り、地域の秩序ある発展と住民福祉の向上に寄与するため、一般事業資金、特別事業資金を貸し付けた。

#### ア 一般事業資金

船橋市ほか5市に対し、公共・公用施設の整備事業等にかかる経費として、1,081,200千円を貸し付けた。

#### イ 特別事業資金

船橋市ほか3市2組合に対し、防災施設等整備促進事業にかかる経費として、186,600千円を貸し付けた。

#### (2) 条例による事務処理の特例に係る市町村交付金

住民の利便性の向上及び市町村の自主性・自立性を高めるため、県から市町村に移譲した事務について、その処理に要する費用として、千葉市ほか53市町村に対し、261,643千円を交付した。

#### (3) 地域コミュニティ施設等再建支援事業

自治会等が行う令和元年に発生した台風等により被災した地域コミュニティ施設等の復旧に対し、市町村が補助金を交付する事業に要する経費について、千葉市ほか38市町村に対し、148,880千円を交付した。

### 2 市町村行財政に関する助言等

予 算 額	予算執行額
23,963千円	21,109千円

知事と市町村長との意見交換の場において県の重要施策

等を説明し、周知するとともに、県政に対する市町村からの要望などについて意見交換を行い、県と市町村との連携を深めた。さらに、市町村の適正な行財政運営の実施と、各種重要施策の円滑な推進を図るため、市町村財政担当部課長会議を開催するなど、適時・適切な助言を行った。

### 3 選挙の執行

予 算 額	予算執行額
1,944,000千円	1,492,502千円

公職選挙法第33条の規定により、令和3年3月21日に知事選挙を執行した。



## 政策法務課

### 1 文書館管理運営事業

公文書、古文書その他の歴史的資料を収集・整理・保存

予 算 額	予算執行額
199,934千円	190,458千円

し、これを後世に継承するとともにその活用を図り、併せて行政に関する情報を提供し、もって県民の郷土に対する理解を深めるとともに、県民の県政に対する関心に応えるための文化施設として各種事業を実施した。

#### (1) 所在地

千葉市中央区中央4 - 15 - 7

#### (2) 施設

鉄筋コンクリート造 地上7階、地下1階

延床面積 6,009.48㎡ (うち書庫面積 2,161.36㎡)

#### (3) 事業概要

##### ア 利用者数 (令和2年度)

10,015人

##### イ 資料収集状況 (令和3年3月31日現在)

公文書 61,247冊 (別に旧源村役場文書等 56,392点)

古文書 565,519点

行政資料 110,084冊

##### ウ 企画展、古文書講座など

## 審査情報課

### 1 情報公開・個人情報保護制度及び行政不服審査制度の運用

#### (1) 情報公開・個人情報保護制度

行政文書・自己情報開示請求に関する相談・案内業務を行うとともに、これらの請求に係る開示決定等に対する

予 算 額	予算執行額
20,319千円	17,919千円

不服申立てについて、実施機関による諮問を受け答申を行う審査会・審議会の運営を行った。また、制度の適切な運用に資するため、研修会等を実施した。

#### (2) 行政不服審査制度

情報公開・個人情報保護に係るもの以外の知事への不服申立てについて、審理員が一元的に審理を行うとともに、審査庁による諮問を受け答申を行う審査会の運営を行った。

## 学事課

### 1 私立学校の振興

本県の私立学校は、独自の伝統と建学の精神に基づく特色ある教育を行い、県民の要請に応えてきた。

特に高等学校にあっては生徒数で35.5%、幼稚園にあっては園児数で93.0%を私立が占めており、教育における私立学校の果たす役割は極めて大きいものがある。これら私立学校に対して、私立学校の振興と保護者負担の軽減を図るため、次の事業を行った。

予 算 額	予算執行額
51,629,088千円	50,253,601千円

#### (1) 私立高等学校への助成

##### ア 私立高等学校経常費補助

私立高等学校の振興と保護者負担の軽減を図るため、学校法人が行う教育に要する経常的経費に対し補助を行った。

事業名	学校数	生 徒 数	補 助 金
私立高等学校経常費補助	55校	47,798人	17,451,302千円

#### (2) 私立幼稚園への助成

##### ア 私立幼稚園経常費補助

私立幼稚園の振興と保護者負担の軽減を図るため、学校法人立幼稚園等が行う教育に要する経常的経費に対し補助を行った。

事業名	幼稚園数	園 児 数	補 助 金
私立幼稚園経常費補助	363園	54,328人	11,892,252千円

##### イ 私立幼稚園教育振興事業補助

個人立等幼稚園の振興及び保護者負担の軽減を図るため、教育研究経費、管理費等に対し補助を行った。

事業名	幼稚園数	事業費	補 助 金
私立幼稚園教育振興事業補助	7園	130,944千円	67,116千円

##### ウ 幼児教育の質の向上のための環境整備事業

幼児教育の質の向上のための環境整備を図るため、私立幼稚園等が実施する遊具や空調等の整備、新型コロナウイルス感染症対策に対し補助を行った。

事業名	幼稚園数	事業費	補 助 金
幼児教育の質の向上のための環境整備事業	コロナ403園	423,560千円	370,424千円
	遊具 66園		
	空調 15園		

##### エ 子育て支援施設等利用給付費

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園等の利用に対し補助を行った。

事業名	市町村数	事業費	補助金
子育て支援施設等利用給付費	53市町村	18,372,891千円	4,593,410千円

(3) 私立中学校等への助成

ア 私立中学校等経常費補助

私立の中学校及び小学校並びに専修学校に対し、私立学校の振興と保護者負担の軽減を図るため、次のとおり経常費補助を行った。

事業名	学校数	生徒数	補助金
私立中学校経常費補助	24校	10,237人	3,436,209千円
私立小学校経常費補助	10校	3,385人	1,131,927千円
私立専修学校経常費補助【高等課程】	5校	580人	105,973千円
私立専修学校経常費補助【専門課程】	44校	13,098人	170,274千円

(4) 就学支援金等の支給及び授業料減免への助成

ア 私立専門学校入学金・授業料減免事業補助

県内の私立専門学校が行う入学金・授業料減免事業に要した経費に対し補助を行った。

事業名	生徒数	補助金
私立専門学校入学金・授業料減免事業補助	入学金減免 549人	493,356千円
	授業料減免 1,073人	

イ 私立高等学校等就学支援事業

家庭の教育費負担の軽減を図るため、私立高等学校等の生徒に対し高等学校等就学支援金を支給し、授業料の一定額に補助を行った。

事業名	学校数	生徒数	補助金
私立高等学校等就学支援事業	67校	35,308人	7,538,732千円

ウ 私立高等学校等授業料減免事業補助

経済的理由により修学が困難な生徒のために、私立高等学校及び専修学校高等課程の各学校法人が行う授業料減免事業に対し補助を行った。

事業名	学校数	生徒数	補助金
私立高等学校等授業料減免事業補助	64校	10,275人	988,936千円

エ 私立高等学校等奨学のための給付金事業

私立高等学校等に在籍する生徒のうち、低所得者層に対し、教育費負担の軽減を図るため、授業料以外の教育費負担について補助を行った。

事業名	生徒数	補助金
私立高等学校等奨学のための給付金事業	3,804人	481,830千円

(5) 私立学校の耐震化等への助成

ア 私立学校耐震化緊急促進事業

大規模地震時における児童等の安全確保のため、私立学校の校舎・園舎の耐震化に要する経費

に対し補助を行った。

事業名	幼稚園数	事業費	補助金
私立学校耐震化緊急促進事業	4園	302,236千円	26,488千円

(6) その他の助成等

ア 日本私立学校振興・共済事業団補助

私立学校及び私学関係団体に勤務する教職員の長期給付掛金の軽減を図るため、日本私立学校振興・共済事業団が行う長期給付事業に要する経費に対し補助を行った。

事業名	標準給与年額	補助金
日本私立学校振興・共済事業団補助	51,604,596千円	412,836千円

イ 私学教育振興財団退職資金事業補助

私立学校及び私学関係団体に勤務する教職員の勤続を奨励するとともに、待遇の安定と改善を図るため、私学教育振興財団が行う教職員退職資金の原資積立ての経費に対し補助を行った。

事業名	標準給与年額	補助金
私学教育振興財団退職資金事業補助	30,932,778千円	804,252千円

## 情報システム課

1 業務システム等の運用管理及び開発

県の広範な業務を処理するため構築した給与、財務等の

予 算 額	予算執行額
2,729,879千円	2,684,462千円

各情報システム及びシステムの基盤となる全庁情報ネットワークや機器について、経済性、安全性、信頼性及び利便性の観点を踏まえて整備・運用を行った。その主なものは次のとおりである。

(1) 基幹業務システムの運用管理

給与、財務等の基幹業務や全庁業務に係る情報システムについて、制度改正等にも対応しながら業務処理に支障が生じないよう、安定稼働を図った。

(2) 電子調達システム等の運用管理

県と市町村で電子入札システムの共同利用を行うことにより一層の事務の効率化及び経費の節減並びに事業者の利便性の向上を図る「ちば電子調達システム」や、県民の申請業務や施設予約等の行政手続のオンライン化を実現する目的で導入した「ちば電子申請システム」及び「ちば施設予約システム」の運用を行った。

(3) 情報ネットワークの運用管理

出先を含む県庁全所属間を接続する全庁情報ネットワークについて、急増する地方自治体等へのサイバー攻撃から県が保有する重要な行政情報の漏えいを防ぐために導入した「侵入防止システム」や「標的型攻撃防御システム」等の運用を行うとともに、行政サービス向上や業務効率化を目的と

してモバイル端末の運用を行った。

また、国が示した対策に基づき、全庁情報ネットワークを個人番号利用事務系、L G W A N接続系及びインターネット接続系に分離分割し、情報システム強靱性の向上を図るとともに、県及び市町村のインターネット接続口を集約して高度な情報セキュリティ対策を講じるための「自治体情報セキュリティクラウド」の運用を行った。

## 2 情報セキュリティ対策の充実

県の保有する電子情報には個人情報等の機密性レベルが高い情報が多いことなどから、情報セキュリティの確保・向上に向け、職員の意識の向上を図るため、セルフチェック、セキュリティ監査及び研修等を実施し、情報セキュリティ対策の充実を図った。

# 総務ワークステーション

## 1 総務ワークステーション運営事業

予 算 額	予算執行額
244,052千円	241,264千円

行財政改革の一環として、職員の人事給与及び福利厚生等の内部事務について、コストの削減及び適正かつ統一的な執行を目的とし、庁内ネットワークを活用しながら集中処理及び業務の効率化を図った。

その主な業務の処理状況は次のとおりである。

業 務 内 容	処理対象機関	件数等
職員の給与支給事務	知事部局、各行政委員会、 公営企業、教育庁事務局	12,555人
会計年度任用職員の給与支給及び社会保険等の 手続きに関する事務	同 上	2,693人
諸手当の認定事務（通勤手当、住居手当、扶養 手当、児童手当等） 会計年度任用職員を含む	同 上	12,010件
旅費の確認及び支給事務	知事部局、各行政委員会、 公営企業、教育庁	891,038件

## 2 職員健康管理事業

予 算 額	予算執行額
230,801千円	211,198千円

職員の健康保持、各種疾病の早期発見及び早期治療を目的として各種健康診断を実施するとともに、職員及びその家族を対象とした健康相談を行った。

実 施 内 容		受診者数
定期健康診断等	一般健康診断（採用時健診含む）	2,044人
	一日ドック（ミニドック含む）	5,389人
	特殊業務従事者健康診断	7,313人
生活習慣病健康診断	各種がん検診	5,276人
職員健康相談	一般健康相談	38人
	精神保健相談	333人

# 総合企画部

## 政策企画課

### 1 地域づくり総合支援事業

#### (1) 移住定住促進事業

予 算 額	予算執行額
8,576千円	8,209千円

移住・定住を促進し、地域の活性化を図るため、ホームページやパンフレット等を活用した地域の魅力、市町村の取組等に係る情報発信を行った。また、より気軽に本県の魅力を知ってもらえるよう、パンフレットの簡易版を作成するとともに、雑誌・SNS等を活用した広報を行った。

### 2 千葉県総合計画政策評価事業

総合計画の政策評価は、PDCAマネジメントサイクル

予 算 額	予算執行額
65千円	65千円

(計画に掲げた施策・主な取組等の企画(Plan) 実施(Do) 評価(Check) 及び改善(Action)により、総合計画を推進する。)を用いて行うこととしており、令和元年度の施策・主な取組について評価を行った。

### 3 地方創生総合戦略推進事業

千葉県地方創生総合戦略(平成27年度～令和2年度)に

予 算 額	予算執行額
1,134千円	956千円

ついて、PDCAマネジメントサイクルを活用し、各分野の代表や有識者から意見を聴き、令和元年度の取組状況を検証した。

また、今後の各種施策をより効果的に実施していくため、地方創生の推進に関するアンケート調査を、県内の高校生及び大学生等に対して行った。

### 4 地方創生総合戦略普及啓発事業

令和2年11月に策定した第2期千葉県地方創生総合

予 算 額	予算執行額
4,986千円	4,297千円

戦略(令和2年度～6年度)を県民等に広く周知するため、冊子を作成し、県内の高等学校や大学、関係団体等に配付した。

また、今後社会を担っていく若い世代に、人口減少をめぐる問題についての認識を深め、今後の社会づくりや自分の将来(ライフプラン)を考えてもらう契機とするため、人口の現状・見通しや社会・地域産業への影響等をテーマとしたセミナーを、県内の大学等において開催した。

## 国際課

### 1 国際化推進事業

予 算 額	予算執行額
103,438千円	96,277千円

#### (1) 国際交流事業

米国・ウィスコンシン州との交流について、千葉県側の窓口になっている民間主体の姉妹交流組織「千葉ウィスコンシン協会」が実施する事業等に対する助成を通じ、会報やホームページによる情報発信を支援し、交流を促進した。

台湾・桃園市とは、知事と市長によるWEB会談を行う等、交流を推進した。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、その他の姉妹州・友好都市との交流はほぼ中止または延期となった（米国・ウィスコンシン州との姉妹提携30周年記念行事、ドイツ・デュッセルドルフ市が主催する日本デーへの参加等）。

#### (2) 多文化共生社会づくり推進事業

「多文化共生社会づくり連絡協議会」や「国際交流・協力等ネットワーク会議」を開催し、多文化共生社会づくりのための連携体制整備を行ったほか、外国人相談窓口の運営により、生活全般に関する多言語での相談対応を行った。

#### (3) 災害時外国人支援体制づくり事業

災害時に適切な情報伝達を必要とする外国人への支援体制を整備するため、災害時外国人サポーター養成講座を開催したほか、多言語での情報提供等を行う「千葉県災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定を（公財）ちば国際コンベンションビューローと締結した。

#### (4) 「チーバくんパートナー」運営事業

千葉県在住、在勤、在学等の外国人を「チーバくんと共に暮らしやすい千葉県づくりを目指すパートナー（略称：チーバくんパートナー）」に任命し、外国人県民の視点を県の施策に活かしていくための意見交換等を実施した。

#### (5) 地域日本語教育実態調査事業

地域日本語教育を推進するため、外国人県民や市町村、日本語教室等を対象に実態調査を実施した。また、調査結果を踏まえて、本県における地域日本語教育の取組の方向性を定めた。

### 2 旅券発給事業

予 算 額	予算執行額
281,467千円	271,828千円

国（外務省）からの法定受託事務として、外国へ渡航する県民の一般旅券申請書の受理・審査及び旅券作成・交付並びにこれに付随する指導・相談業務を行った。また、船橋市など3市町に対し、一般旅券申請書の受理・審査及び旅券交付業務を移譲した。



# 報道広報課

## 1 広報事業

予 算 額	予算執行額
792,837千円	751,397千円

### (1) 刊行物広報

県民の主体的な県政参加に向けて、情報の共有を図るため「ちば県民だより」を発行するとともに、千葉日報紙面に「県からのお知らせ」欄を設けるなど、新聞紙面を活用した幅広い広報を行った。

### (2) 放送広報

テレビ広報として、千葉テレビ放送で「ウィークリー千葉県」、「千葉県インフォメーション」を放送し、県の各種施策や地域の魅力の紹介、募集告知等を行うとともに、ラジオ広報として、ベイエフエムで「チバ・プリフェクチャー・アップデート」、「サタデイ・ブレイキング・モーニング」を放送し、県政情報を発信した。

### (3) ホームページ広報

千葉県公式ホームページにおいて、探しやすく、読みやすく、使いやすいページづくりを進め、県政情報や県の魅力の紹介等、幅広い情報の発信を行った。また、ホームページ作成のためのCMS（コンテンツ管理システム）について、最新の利用環境に対応させるため、令和2年11月に新CMSへ移行し、千葉県公式ホームページのリニューアルを行った。

### (4) 千葉の魅力発信推進事業

千葉県の持つ様々な魅力を県内外に向け積極的に発信し、本県のブランドイメージの向上を図るため、各種広報媒体を活用したPRを行った。

マスメディア等を活用したPR

在京テレビ局（フジテレビ）「千葉の贈り物～まごころ配達人～」のほか、新聞広告、交通広告等を実施した。

千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」の活用

「チーバくん」を広く利用できるようデザインの使用許諾、着ぐるみの貸出、着ぐるみを用いたキャラバン隊の派遣を行うとともに、「チーバくん」ツイッターや「チーバくん」インスタグラムによる発信を行った。

ちばアクアラインマラソンを活用した魅力発信

ちばアクアラインマラソン2020への関心を高め、数多くのランナー応募につなげるとともに、この機会に観光や農林水産物等の千葉の魅力を県内外に広く伝えていくことを目的に準備をしていたが、大会中止を受けて一部事業のみ執行した。

### (5) 世界に向けた千葉の魅力発信推進事業

県がこれまでトップセールスを行った5つの国・地域（台湾、タイ、マレーシア、シンガポール及びベトナム）を対象として、フェイスブックを中心にインターネットを活用したPRを実施し、

千葉県の認知度を高め、イメージアップを図った。

(6) 東京2020大会を活用した情報発信事業

東京2020大会の開催年であり、国内外から注目を集める好機であることから、大会期間中や大会終了後の本県への誘客を図るため、令和元年度に制作した「東京2020大会に向けたプロモーション動画」の活用、関連イベントへの出展等を計画していたが、大会延期を受けて一部事業のみ執行した。

(7) 新型コロナウイルスに関する広報事業

新型コロナウイルス感染症への対応として、県内経済を活性化するための取組や、新しい生活様式の実践・定着につながる取組等を、県民・企業・行政等が一体となって推進する「ちばと一緒に！」キャンペーンを実施し、特設ホームページの作成及び運営や、テレビ、ラジオ番組を活用した千葉の魅力PR等を行った。

2 広聴事業

予 算 額	予算執行額
45,976千円	45,620千円

(1) 個別広聴事業

「知事への手紙」 1,112件

「県政へのご意見・ご提案」 10,631件

「県民相談」 10,909件（うち「法律相談」 115件）

「県民テレホン相談」 12,168件

(2) 県政に関する世論調査

県の施策推進の基礎資料とするため、県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に、意識調査や県政への要望等について、郵送・オンライン調査法により2回実施した。

(3) インターネットアンケート調査

県政運営の基礎資料とするため、アンケート調査協力員に、県の事業や施策等に関する調査を2回実施した。

## 統計課

1 統計整備事業

予 算 額	予算執行額
27,813千円	26,350千円

各種統計資料を編集・発行するとともに、統計調査員確保対策事業等を実施した。

(1) 統計資料の編集・発行

令和2年千葉県統計年鑑 360部

グラフで見るわたしたちの千葉県 7,800部

## 2 国の委託統計調査事業

予 算 額	予算執行額
3,034,985千円	2,903,311千円

国の委託を受けて、令和2年国勢調査ほか12種類の統計調査等を実施した。主な調査は、次のとおりである。

### (1) 令和2年国勢調査

人口及び世帯の状況を調査した。

調査時期 令和2年10月1日午前零時現在

調査客体（速報値）

調査区 49,895調査区

世帯 2,766,999世帯

人口 6,287,034人

### (2) 令和3年経済センサス-活動調査準備

全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態調査実施のための準備をした。

（本調査）

調査時期 令和3年6月1日

調査客体 約25万事業所

### (3) 労働力調査

15歳以上の者の就業、不就業の状態を調査した。

調査時期 毎月末の1週間

調査客体 年間延べ21,280世帯

## 3 県独自の統計調査事業

予 算 額	予算執行額
3,583千円	2,898千円

千葉県工業生産動態統計調査ほか4種類の統計調査等を実施した。主なものは、次のとおりである。

### (1) 千葉県工業生産動態統計調査

県内の鉱工業生産の実態を調査し、千葉県鉱工業指数月報として公表した。

調査時期 毎月

調査客体 80事業所

### (2) 県民経済計算

県経済の規模や構造を明らかにするため、平成30年度県民経済計算を推計し、公表した。

### (3) 産業連関表

県経済構造の把握や経済波及効果の分析に利用するため、平成27年千葉県産業連関表を作成し、公表した。

## 水政課

### 1 水資源対策事業

安定した水資源の確保のため、総合的な水資源対策の一環として、国土交通省からの受託により、野田市・柏市（旧沼南町域を除く）・松戸市・流山市を対象に、地下水・地盤沈下に関する調査等の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,247千円	995千円

### 2 水の有効利用対策事業

水の貴重さ及び水資源の重要性に対する県民の関心を高め、理解を深めるため、小学生をはじめとした県民向けの啓発資料「水のはなし」を作成し、水政課ホームページに掲載する等の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
171千円	117千円

### 3 水道事業対策事業

将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給するため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,238,823千円	2,238,720千円

#### (1) 南房総広域水道用水供給事業施設整備費等補助

夷隅・安房郡市8市町で構成する南房総広域水道企業団が行った用水供給事業の施設整備費等に要する経費に対して助成した。

#### (2) 水道広域化推進プラン策定事業

水道事業体の経営基盤を強化し、将来にわたって県民に安定して水を届けるため、県内水道事業体の統合・広域連携の効果や進め方等を示す「水道広域化推進プラン」の策定に当たり、必要な調査・分析などを行った。

### 4 経営健全化対策事業

水道事業経営の健全化及び料金格差是正のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,481,349千円	2,480,968千円

#### (1) 市町村水道総合対策事業補助

八街市ほか16水道事業体の経常的な支出に要する経費に対して助成した。

#### (2) 南房総広域水道用水供給事業市町村補助

館山市ほか7市町が負担した南房総広域水道企業団への出資・繰出に対して助成した。

#### (3) 上水道事業出資金・繰出金

県企業局のほか県が参画している2企業団に対し、地方公営企業法に基づく出資・繰出を行った。

## 空港地域振興課

### 1 国際空港対策事業

成田空港の建設に伴う空港周辺地域振興、航空機騒音対策及びその他諸施策を実施した。

予 算 額	予算執行額
190,441千円	184,469千円

#### (1) 空港周辺地域振興事業

##### ア 「成田財特法」に基づく空港周辺地域整備

空港周辺地域の公共施設等の整備を促進するため制定された「成田国際空港周辺整備のための国の財政上の特別措置に関する法律（昭和45年法律第7号）」に基づく空港周辺地域整備計画の推進に努めた。

##### イ 成田空港周辺の地域づくりに向けた検討事業

民間事業者の参入しやすい地域づくりを目指し、規制緩和ニーズの把握や規制緩和活用希望事業者の掘り起こしを行うとともに、提案内容の具体化を図り、令和3年1月に内閣府地方創生推進事務局に対して国家戦略特区制度に基づく規制改革事項の提案を行った。

#### (2) 航空機騒音対策事業

##### ア 共同利用施設整備事業補助

学習・集会等の用に供する施設その他の一般住民の生活に必要な共同利用施設を設置した際、地方債等を借り入れた成田市ほか1市1町に対し、その元利償還金の償還に要する経費の一部を助成した。

##### イ 防音住宅空調機器更新事業補助

住宅防音工事として設置した空気調和機器で、設置後10年以上経過し、かつ、故障等の状態にあるものの更新工事に補助金を交付した山武市ほか1市2町に対し、その費用の一部を助成した。

##### ウ 住宅再防音工事事業補助

対象区域内で住宅再防音工事に補助金を交付した山武市に対し、その費用の一部を助成した。

##### エ 成田空港周辺地域共生財団出えん金

成田空港周辺地域において、きめ細やかな民家防音工事助成事業、航空機騒音等の調査・研究事業等生活環境の改善に資する事業を実施している（公財）成田空港周辺地域共生財団に対して再出えんを行った。

#### (3) 成田空港活用協議会負担金

成田空港を活用した県経済の活性化を図るため、官民が連携して設立した成田空港活用協議会の事業費等の一部を負担した。

#### (4) 空港関連用地対策事業

空港関連用地提供者等の移転先となる代替地の管理及び処分（10,704.00㎡）を実施した。

## 交通計画課

### 1 鉄道網整備事業

予 算 額	予算執行額
165,935千円	155,680千円

通勤、通学等の輸送需要に対応するため、さらには、

地域基盤の根幹をなす鉄道網の整備を推進するため、次の事業等を実施した。

#### (1) 東葉高速鉄道利子補給金

東葉高速鉄道株式会社の経営安定化を図り、沿線住民の通勤、通学手段である鉄道の運行を確保するため、同社に利子補給を行った。

#### (2) いすみ鉄道に対する支援

いすみ鉄道は沿線住民の日常の交通手段であるほか、近年は、房総半島に来訪者を呼び込む、重要な観光資源としての役割も担っており、地域の観光振興を支える鉄道として、安全輸送の徹底やサービスの向上をより一層図るため、関係市町と協調し、線路等のインフラ部分の維持・修繕費等に対し補助するとともに、鉄道運行に係る経費の一部についても補助を行った。

#### (3) 鉄道輸送対策事業費補助

鉄道事業者が実施する安全性向上に資する設備整備等を支援するため、国及び市町村と協調して鉄道事業者2社に対し補助を行った。

### 2 バス対策事業

予 算 額	予算執行額
362,353千円	360,883千円

人口減少等による利用者の減少や運転手不足など、

地域公共交通を取り巻く環境が厳しさを増す中、生活に必要なバス路線等の維持・確保を図るため、次の事業を実施した。

#### (1) バス運行対策費補助

生活交通路線として必要なバス路線のうち、広域的・幹線的な路線の運行維持を図るため、乗合バス事業者7社に対し補助を行った。

#### (2) 持続可能な地域公共交通の確保支援事業

地域公共交通を持続可能なものとしていくため、広域の地域公共交通に関する計画の策定や広域バス路線を含む地域公共交通の見直しのための実態調査、実証運行を行う市町村に対し補助を行った。

#### (3) 地域公共交通臨時支援事業

地域の公共交通事業者が行う車両消毒などの感染予防対策の取組を支援するため、乗合バス事業者等に対し臨時支援金を給付した。

### 3 交通バリアフリー対策事業

予 算 額	予算執行額
97,681千円	93,151千円

高齢者や障害者をはじめ、誰もが安全で快適に公共交通

機関を利用できるよう、鉄道駅やバスのバリアフリー化を図るため、次の事業を実施した。

#### (1) 鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助

市川市ほか3市が行う鉄道駅におけるエレベーター等のバリアフリー設備整備事業に対し補助を行った。

#### (2) ノンステップバス等整備事業補助

乗合バス事業者等5社が行うノンステップバス計12台の整備に対し補助を行った。

## 男女共同参画課

### 1 計画の策定及び推進

予 算 額	予算執行額
5,832千円	4,612千円

#### (1) 第5次千葉県男女共同参画計画の策定

男女が互いにその人権を尊重しつつ、ともに責任も分かち合い、男性も女性も個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を実現するため、第5次計画を策定した。

#### (2) 第4次千葉県男女共同参画計画の進行管理及び評価等

第4次計画の令和元年度事業の進行管理や評価を行うため、全事業の実施状況や重点的取組事業に対する評価と、それに対する評価専門部会の委員との意見交換等を3回実施した。また、第4次計画の適正な進行管理及び第5次計画の策定に向け、男女共同参画推進懇話会を3回実施し、委員からの意見聴取等を行った。

#### (3) 民間との協働による男女共同参画の推進

官民協働で男女共同参画の取組を促進するため、男女共同参画の趣旨に賛同する県域組織の67団体で構成される千葉県男女共同参画推進連携会議において、産業、地域、教育の3部会の会合を行ったほか、「家事シェア」をテーマに、全体会・女性活躍推進特別部会合同シンポジウムを開催した。

#### (4) 市町村との協働による男女共同参画の推進

女性だけでなく、男性、高齢者、若者、子ども等の視点からも男女共同参画を捉え、誰もが暮らしやすい地域づくりの取組を促進するため、男女共同参画社会づくりのための広報活動の一環として、県が作成したパネルを市町村に貸し出す巡回展示を実施した。

#### (5) 千葉県版おとう飯レシピコンテスト及び料理教室

男性の家事参画を目的とし、内閣府が実施している「おとう飯始めようキャンペーン」に賛同し、「千葉県版おとう飯」のレシピコンテスト及びオンライン料理教室(2回)を実施した。

## 2 男女共同参画センター

男女共同参画の推進拠点である男女共同参画センターにおいて、女性及び男性のための相談事業、男女共同参画への認識と理解を深めるための様々な講座やイベントの開催、情報提供等を行った。

予 算 額	予算執行額
33,333千円	30,135千円

また、防災分野における女性の参画を促進するため、防災女性リーダーを養成するための基調講座、県内各地域で地域特性に応じた内容となる講座を実施した。



# 防災危機管理部

## 防災政策課

### 1 防災対策事業

九十九里・外房地域における津波発生時の対応を迅速化

させるため、津波浸水域や到達時間等を予測する「千葉県津波浸水予測システム」を運用するとともに、東京湾沿岸地域における広範囲の浸水で想定される広域避難の対策を検討するため、基礎的なデータを整理する調査を実施した。

予 算 額	予算執行額
27,937千円	26,361千円

### 2 地域防災力向上支援事業

自助・共助の取組を充実させ、県全体の地域防災力の向

上を図るため、災害時における長期停電や断水、通信の途絶に備えたライフラインの確保や情報伝達体制の強化、避難所における間仕切りの設置等の感染症対策といった、市町村が地域の実情に応じ主体的に創意工夫をもって取り組む事業に対して補助を行った。

(実績：46市町村 1 一部事務組合 133事業 148,961千円)

予 算 額	予算執行額
255,559千円	154,080千円

### 3 防災研修センター運営事業

千葉県消防学校内の防災研修センターにおいて、企業や

自主防災組織等を対象に、自助、共助の取組を一層推進・強化するための防災研修を実施した。

予 算 額	予算執行額
37,320千円	33,231千円

### 4 防災センター管理運営事業

県民の防災に関する知識と技術、防災に関する意識の向

上を図るため西部防災センターの管理運営を行った。

予 算 額	予算執行額
100,457千円	94,377千円

### 5 災害救助対策事業

令和元年房総半島台風等の一連の災害の被災者を支援

するため、次の事業等を実施した。

予 算 額	予算執行額
3,698,123千円	3,341,520千円

#### (1) 災害救助事業

災害救助法に基づき被災市町村等が実施した、住宅の応急修理等の救助に要した費用を負担した。

また、その財源として活用した災害救助基金について、さらに今後の災害に備えるため、災害救助法に基づく必要額となるよう積立を行った。

(2) 災害援護資金貸付金

世帯主が負傷したり、住居や家財が大きな損害を受けた被災者に対して、生活の立て直しに必要な資金の貸付けを市町村が行うにあたり、その原資を負担した。

(3) 災害弔慰金・見舞金

災害により死亡した方の遺族や住居が全壊した世帯等に対し、弔慰金・見舞金を支給した。

## 危機管理課

1 防災対策及び危機管理体制の推進事業

予 算 額	予算執行額
314,401千円	221,651千円

(1) 防災訓練事業

予定していた各訓練は、新型コロナウイルス感染症対策として中止、又は規模を縮小して実施した。そのうち、九都県市合同防災訓練については、不特定多数の参加が見込まれる訓練の実施を見送る一方で、令和元年房総半島台風等における災害対応の検証結果を踏まえ、物資輸送の図上訓練及び実働訓練を実施した。

(2) 備蓄物資整備事業

令和元年房総半島台風等での経験を踏まえて品目を追加するなど、備蓄物資の増強を実施した。また、実際に払い出した分の補てんや賞味期限が到来した分の更新を行った。

(3) 危機管理推進事業

災害等の緊急事態への対応にあたり、市町村長が的確な指揮を執るなど危機管理対応に役立てるよう「千葉県防災・危機管理トップセミナー」を令和2年11月に開催し、被災市町村長等による講演等を行った。

(4) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた消防・救急体制構築事業

東京オリンピック・パラリンピック大会開催期間中のテロや災害等の発生に備え、消防・救急に係る警戒体制の構築に要する資機材の購入費用に対し、補助を行った。(銚子市ほか19市町・一部事務組合)

2 防災行政無線等管理運営事業

予 算 額	予算執行額
1,146,673千円	1,025,663千円

(1) 防災行政無線管理運営事業

防災行政無線システム機器の正常な動作の維持と故障の未然防止のため、保守点検業務を委託するとともに、気象情報等の即時通報体制を確保するため、休日・夜間における防災行政無線統制局の管理運用業務を委託により実施した。

## (2) 防災情報システム運営事業

### ア 防災情報システムの管理運営

災害時に被害状況や避難情報等の防災情報を収集・処理するとともに、防災ポータルサイト、防災メール、Lアラートを通じて県民へ防災情報を提供する防災情報システムの運用及び正常な動作を維持するため、保守点検業務を委託により実施した。

### イ 震度情報ネットワークシステムの管理運営

県内各市町村に設置した計測震度計の震度情報を収集し、防災関係機関に配信する震度情報ネットワークシステムの正常な動作を維持するため、運用及び保守点検業務を委託により実施した。

## (3) 消防救急無線設備管理事業

平成25年度から運用開始した消防救急無線の施設・設備の維持管理について、千葉県市町村総合事務組合から委託を受け、保守点検業務を実施した。

# 消防課

## 1 石油コンビナート等防災対策の推進

石油コンビナート等災害防止法に基づき、石油コンビナ

ート等防災本部を運営し、石油コンビナート区域の防災対策を推進している。

災害時に適切な防災活動を実施するため、九都県市合同防災訓練の一環として、石油コンビナート等特別防災区域における総合訓練を10月に開催（袖ヶ浦市）した。

その他、南海トラフ地震に対応した予知対応型訓練を9月に、大容量泡放射システムを活用した運用訓練を11月に実施した。

予 算 額	予算執行額
4,796千円	4,459千円

## 2 予防行政の推進

### (1) 一般予防事業

「千葉県住宅防火対策推進協議会」を開催し、住宅防火対策を推進した。

### (2) 危険物取扱者・消防設備士関係事業

消防法に基づき、危険物取扱者保安講習（45回）を（一社）千葉県危険物安全協会連合会に、消防設備士義務講習（13回）を（一社）千葉県消防設備協会に、免状の作成等業務を（一財）消防試験研究センターに委託して実施した。

また、県が管轄する危険物施設に対する、立入検査等を行った。

予 算 額	予算執行額
59,921千円	54,905千円

### 3 市町村消防の指導・支援及び人材の育成

#### (1) 消防指導事業(各種行事の開催等)

予 算 額	予算執行額
573,540千円	512,085千円

消防団員の消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、地域防災体制の確立を図ることを目的に、「千葉県消防操法大会」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。また、消防職・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図ることを目的に、「千葉県消防大会」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。

#### (2) 消防防災施設強化事業

消防防災施設の強化を図るため、市町村が行う消防防災施設整備事業に対し補助金を交付した。

(銚子市ほか41市町・一部事務組合)

#### (3) 消防団参画促進事業

幅広い分野における団員の確保が急務となっているため、市町村、学生消防隊、企業と連携した事業を行い、消防団活動や入団への理解の促進を図るとともに、女性の消防団活動への理解及び入団を促進するため、フリーペーパーへ体験型記事の掲載を行った。

#### (4) 消防学校教育訓練事業

消防学校において、市町村消防職員・団員等の教育訓練等を実施し、消防人の育成を図った。

## 産業保安課

### 1 工業技術指導事業(電気関係経費)

予 算 額	予算執行額
14,696千円	13,983千円

電気工事士法に基づく免状交付事務を適正に行った

ほか、電気工事業の業務の適正化に関する法律に基づく登録及び立入検査等を行うことにより、保安の確保を図った。

### 2 高圧ガス及び液化石油ガス事業

予 算 額	予算執行額
15,611千円	12,604千円

#### (1) 高圧ガス保安事業

高圧ガス保安法及び液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づき、製造・貯蔵等の許可及び届出の審査を行うとともに、事業所等に対する保安検査・立入検査等により、災害・事故の防止、保安の確保を図った。

#### (2) 保安対策事業

例年実施している高圧ガス輸送車の移動中における事故を想定した高圧ガス輸送車等防災訓練及び毒性ガス漏えい時の空気呼吸器装着方法の習得を目的とした空気呼吸器装着訓練を実施

した。

高圧ガス事業者の保安意識の高揚と県民への啓発を図るため、高圧ガス保安大会を実施した。

高圧ガス事業所の管理者や安全管理責任者を対象としたセミナーを実施し、事業所の自主保安体制の確立を図った。

災害防止機器等の普及に係る液化石油ガス販売事業者等への指導及び一般消費者への啓発活動を実施するとともに、液化石油ガスの保安に関する啓発のため、小中学生を対象とした液化石油ガス事故防止ポスターの募集及び表彰を行った。

### 3 火薬類取締及び武器等製造取締事業

予 算 額	予算執行額
1,408千円	934千円

火薬類取締法及び武器等製造法に基づく許認可事務を

行うとともに、災害を防止し、公共の安全を確保するため、警察、千葉県火薬類保安協会と密接な連携を取りながら次の保安業務を行い、施設の適切な維持管理の指導等、事故防止の徹底を図った。

火薬類、猟銃等の製造・販売事業者に対して警察と合同で立入検査を実施するとともに、煙火の消費状況について立入検査を実施した。

火薬庫及び煙火の製造施設に対して保安検査を実施した。

火薬類取扱従事者に対する保安意識の高揚、法令遵守の徹底及び技術の向上を図るため、火薬類保安教育講習会に講師を派遣した。

花火大会の主催者を対象に、花火大会主催者説明会を開催した。

# 健康福祉部

## 健康福祉政策課

### 1 人権啓発促進事業

人権尊重意識の普及高揚を図るために啓発活動等を実施するとともに、社会福祉施設である隣保館の運営等に対して補助した。

予 算 額	予算執行額
101,139千円	89,325千円

人権問題講演会の開催等啓発活動等の実施	21,645千円
隣保館の運営、施設整備に対する補助	67,679千円

### 2 健康危機管理対策事業

感染症、食中毒等により生じる県民の生命、健康を脅かす被害発生の未然防止、発生事案に迅速かつ適切に対応するため、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
261,322千円	212,891千円

#### (1) 健康危機管理対策事業

5,291千円

健康被害の拡大防止を図ることを目的として、各健康福祉センターに設置した地域健康危機管理推進会議において講習会等を実施した。また、災害時に県民の健康管理等を担う保健所の機能を担保するため、必要な資機材の整備を行った。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る専門部会等の開催

2,928千円

新型コロナウイルス感染症対策について、医療機関の関係者や感染症の専門家などの専門的立場から意見を聞くため、千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会等を開催した。

#### (3) 特措法協力要請に係る電話相談窓口事業

5,610千円

新型コロナウイルス等対策特別措置法の協力要請等に関する県民・事業者等からの電話相談窓口を開設し、外部人材を活用する体制で運営した。

#### (4) 新型コロナウイルス相談センター運営事業

159,763千円

新型コロナウイルス感染症に関することや、感染症の予防についての相談等に対応するとともに、受診可能な医療機関の案内を行う電話相談窓口を設置した。

### 3 医療体制整備事業

県立医療機関の整備、医師の確保及び医療体制の確立を図るため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
21,990,846千円	21,044,175千円

- ( 1 ) 病院事業会計負担金 14,152,937千円  
 県立病院の高度・特殊医療や救急医療等の充実を図るため、病院局に対し必要な経費を負担した。
- ( 2 ) 病院事業会計への長期貸付金 3,700,000千円  
 年度末時点で資金不足となることが見込まれていた病院事業会計に対する支援として、長期貸付を行った。
- ( 3 ) 自治医科大学関係事業 131,714千円  
 医師確保対策として、自治医科大学の運営費に対する助成等を行った。
- ( 4 ) 地域医療介護総合確保基金造成 2,250,217千円  
 医療・介護人材の確保や地域医療の格差解消、地域包括ケア・在宅医療の推進など、医療介護分野における様々な課題に対応していくため、地域医療介護総合確保基金に積立を行った。
- ( 5 ) 地域医療介護総合確保基金事業 77,294千円  
 地域医療介護総合確保基金を活用し、医療と介護で作る地域連携推進事業、地域在宅医療体制構築支援事業、千葉県地域医療構想寄附研究部門整備事業等を行った。
- ( 6 ) 在宅医療実態調査事業 9,830千円  
 千葉県保健医療計画の中間見直しに向け、在宅医療に関する事項の評価及び変更の検討に活用するための調査を実施した。
- ( 7 ) 医療審議会等開催経費 2,958千円  
 千葉県医療審議会及び二次保健医療圏ごとに地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を開催し、千葉県保健医療計画及び地域医療構想の推進に係る検討を行った。
- ( 8 ) 保健医療提供体制構築推進事業 922千円  
 千葉県保健医療計画の一部改定部分の周知を図るため、冊子の印刷を行った。
- ( 9 ) 東千葉メディカルセンター助成事業 718,300千円  
 山武長生夷隅保健医療圏の中核病院として平成26年4月に開院した東千葉メディカルセンターの整備に対する支援を行った。

### 4 保健所運営事業

地域における公衆衛生の向上及び増進を図る中心機関である保健所の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
571,494千円	541,228千円

## 5 衛生研究所運営事業

本県における公衆衛生に関する試験研究の中心機関である衛生研究所の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
201,011千円	160,309千円

# 健康福祉指導課

## 1 厚生労働統計調査事業

統計法に基づく基幹統計として医療施設動態調査や患者調査等を、一般統計として病院報告、地域保健・健康増進事業報告等の各調査を国の委託を受けて実施した。

予 算 額	予算執行額
21,713千円	10,177千円

また、基幹統計である人口動態調査については、人口動態調査令に基づき、各市町村に届出のあった出生、死亡、死産、婚姻及び離婚票を取りまとめ審査し、国に報告した。

### 人 口 動 態 取 扱 件 数 ( 令 和 2 年 概 数 )

出 生	死 亡	死 産	婚 姻	離 婚	計
40,168件	62,101件	835件	24,994件	9,187件	137,285件

## 2 民生委員事業

民生委員活動に係る諸経費を助成し、民生委員活動の充実強化を図った。

予 算 額	予算執行額
414,827千円	409,515千円

## 3 社会福祉団体育成事業

社会福祉団体の活動促進、育成指導のため活動費等を助成した。

予 算 額	予算執行額
2,027,229千円	2,022,506千円

また、福祉人材の確保を図るため、千葉県福祉人材センターにおいて、求職者に対する職業紹介や総合的な啓発・広報事業等を行った。

## 4 千葉県社会福祉センター整備事業

社会福祉活動の推進や災害時のボランティア活動の拠点としての機能を強化するため、新たな千葉県社会福祉センターについて、建替えのための建設工事に着手した。

予 算 額	予算執行額
12,558千円	11,952千円



## 5 地域生活推進支援事業

### (1) 中核地域生活支援センター事業

児童・高齢者・障害者といった対象者種別にとらわれ

予 算 額	予算執行額
486,136千円	477,965千円

ず、福祉全般にわたる相談に24時間・365日体制で応じ、速やかに適切な機関への連絡調整を行う中核地域生活支援センター事業を実施した。

### (2) 福祉タクシー導入促進事業

高齢者や障害者など、交通弱者の交通手段の確保充実を図るため、福祉タクシー車両導入に必要な経費に対して助成を行った。

### (3) 千葉県災害福祉支援チーム体制整備事業

大規模災害発生時、避難所等において要配慮者に対し福祉支援を行うため、社会福祉士や介護福祉士などの福祉専門職で構成される「千葉県災害福祉支援チーム」派遣体制の整備に関する検討を行い、関係福祉団体15団体とチームの派遣に関する基本協定を締結した。

また、チーム員については、候補者の募集をし、届出があった者を対象に登録時研修を行い、151人を登録した。

## 6 介護人材確保対策事業

### (1) 介護人材就業促進対策

介護の職場への新規就業の促進や潜在有資格者の

予 算 額	予算執行額
227,939千円	147,637千円

再就業に向けた支援を行うほか、介護職員のキャリアアップ等に向けた支援等を行った。

### (2) 介護の未来案内人事業

県内介護施設等に従事する若手介護職員を「介護の未来案内人」として委嘱し、県内高等学校等への派遣やSNSの活用などを通じて、介護の魅力を発信した。

### (3) 介護に関する入門的研修事業

介護未経験者に対し、研修や職場体験、介護事業者へのマッチング支援を実施することにより、介護分野への参入のきっかけを作り、多様な人材の参入促進を図った。

### (4) 外国人介護職就業促進事業

介護分野への就業を目指す留学生を支援する「千葉県留学生受入プログラム」を実施するとともに、外国人職員と外国人を受入れる施設等を支援する「千葉県外国人介護人材支援センター」において相談支援を行うなど、外国人介護人材の受け入れを積極的に実施した。

また、介護施設が負担する外国人技能実習生の日本語学習にかかる経費を補助した。

## 7 福祉サービス第三者評価・情報公表支援事業

福祉サービスの向上と利用者の良質なサービスの選択を支援するため、福祉・介護サービスを対象とした第三者評価・情報公表事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
9,174千円	8,864千円

(1) 福祉サービス第三者評価

認証した第三者評価機関数 19法人  
評価受審事業所数 113事業所

(2) 介護サービス情報公表

情報公表済み事業所数 7,716事業所

8 老人福祉事業

訪問介護員の資質向上等を図るための各種研修事業の実施や千葉県ホームヘルパー協議会に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
4,124千円	4,118千円

9 低所得対策事業

(1) 生活福祉資金貸付事業推進費補助金

感染症の影響により収入が減少した方を対象とした生活福祉資金の特例貸付等の原資及び事務費について、実施主体である県社会福祉協議会に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
37,556,496千円	35,977,007千円

10 離職者等生活・就労等支援対策事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施する生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
149,774千円	149,217千円

(2) 住居確保給付金

住宅を喪失している又はそのおそれがある離職者等が安心して再就職活動を行えるよう、住居確保給付金として住宅費の給付（最長12箇月間）を行った。

(3) 子どもの学習・生活支援事業

生活保護世帯や就学援助世帯の小中学生等に対し、学びの場の提供や生活習慣の改善に関する助言等を実施した。

11 生活保護事業

生活に困窮する県民に対して最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するための各種の扶助事業を行った。

予 算 額	予算執行額
5,777,323千円	5,444,067千円

## (1) 生活保護の現況(令和2年度平均)

千葉市を除く

郡市別	被保護世帯	被保護人員	保護率	扶 助 別 人 員					
				生活	住宅	教育	医療	介護	その他
郡	1,732世帯	2,083人	10.59%	1,720人	1,247人	53人	1,773人	472人	24人
市	50,827世帯	64,249人	12.58%	55,862人	54,975人	3,132人	53,027人	11,937人	1,316人
計	52,559世帯	66,332人	12.52%	57,582人	56,222人	3,185人	54,800人	12,409人	1,340人

(‰(パーミル) = 1000分の1を1とする単位)

## (2) 保護費の支給状況(郡分県費支出分)

(単位:千円)

保護費総額	扶 助 費						施設事務費	委託事務費
	生活	住宅	教育	医療	介護	その他		
3,451,503	977,866	397,681	5,355	1,868,777	126,643	14,861	60,053	267

## 12 遺家族等の援護事業

## (1) 戦傷病者戦没者遺族等援護法及び恩給法等に基づく処理状況

予 算 額	予算執行額
61,777千円	56,371千円

区 分	処 理 件 数
恩 給 年 金 等	0件
各 種 給 付 金 等	26件

## (2) 引揚者に対する援護

永住帰国した中国残留邦人等の自立促進を図るため、次の支援を行った。

支 援 の 内 容	実 績
日 本 語 指 導 等	新型コロナウイルス感染症の影響により休講
各 種 相 談	自立研修センターでの相談件数358件
支 援 ・ 相 談 員 の 派 遣	19回派遣
自 立 支 援 通 訊 の 派 遣	390回派遣(孤児世帯)
交通費等の支給(地域生活支援プログラム)	交通費4名

## (3) 慰霊行事

行 事 名	実 施 日	参 列 者 数
千 鳥 ヶ 淵 戦 没 者 墓 苑 拝 礼 式	実施中止	-
千 葉 県 忠 霊 塔 拝 礼 式	8月15日	遺 族 8人
全 国 戦 没 者 追 悼 式	8月15日	" 15人
千 葉 県 戦 没 者 追 悼 式	10月29日	" 167人
千 葉 県 南 方 諸 地 域 戦 没 者 追 悼 式	実施中止	-

### 13 原爆被爆者対策事業

原爆被爆者の高齢化が進み健康の保持と医療の充実が望まれることから、健康診断を実施するとともに各種手当の支給等により日常生活の安定に努めた。

予 算 額	予算執行額
907,464千円	882,936千円

#### (1) 被爆者健康手帳交付状況

前 年 度 末 手 帳 交 付 者 数	増 加		減 少		年 度 末 手 帳 交 付 者 数
	新 規	転 入	転 出	死 亡	
2,005人	0人	16人	5人	116人	1,900人

#### (2) 健康診断実施状況(受診者延べ数)

一般検査	肝機能検査	がん検査	精密検査
244人	203人	311人	83人

#### (3) 手当支給状況(延べ件数)

医療特別	特別	健康管理	保健	介護	葬祭料	交通	健康
985	264	16,991	1,121	71	98	74	18,181

## 健康づくり支援課

### 1 健康ちば21推進事業

県の健康増進計画である「健康ちば21」に沿って種々の健康づくり事業を推進しており、健康づくりに関する県民

予 算 額	予算執行額
8,297千円	8,179千円

の意識を高め、運動・休養・栄養・禁煙等に関する知識の普及を図り、さらに、健康づくりに関心が低い者を含め県民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、市町村と協力・連携し、健康づくりに対する動機付けと継続に繋がる環境を整備するインセンティブ事業を実施した。

### 2 歯科保健事業

歯の健康を保つことは、充実した食生活や楽しい会話など生活の質の向上を図る上で大切であり、全身の健康に影響を与えることから、80歳になっても20本以上の歯を保つこと(8020(ハチマルニイマル))を目標に、歯科保健事業の推進を図った。

予 算 額	予算執行額
57,763千円	54,313千円

#### (1) 普及啓発

2,137千円

歯と口の健康週間及びいい歯の日の実施などにより、県民一人ひとりが歯の健康づくりに積極的に取り組めるよう歯科保健に関する知識の普及啓発を行い、県民の歯科保健意識の向上を図った。

- (2) 口腔保健推進事業 3,211千円  
生涯にわたる歯科保健活動を推進するため、障害児(者)への摂食嚥下指導、障害者施設等におけるフッ化物洗口普及啓発を行った。
- (3) 有病者口腔健康管理地域連携事業 1,385千円  
がん患者をはじめとする有病者の口腔衛生状態を改善、管理することで口腔トラブルの予防と軽減を図り、治療成績の向上や有病者の入院日数の削減を目的とした医科歯科介護等の地域の連携体制を推進する会議や研修等を実施した。
- (4) 在宅歯科診療設備整備事業 28,719千円  
歯科診療所への通院が困難な高齢者等に対する在宅歯科診療の普及を推進するため、在宅歯科診療を実施する県内歯科診療所(48箇所)に対し、在宅歯科診療設備の整備に係る補助を実施した。
- (5) 地域包括ケア歯科医療連携室整備事業 4,861千円  
地域包括ケア歯科医療連携室を運営し、在宅歯科診療を行う医療機関の支援を行うとともに、県民などからの電話相談等に対応した。
- (6) 歯科衛生士復職支援研修事業 2,000千円  
未就業の歯科衛生士の復職を支援し、人材の育成を図った。
- (7) 歯科口腔機能管理等研修事業 2,000千円  
歯科専門職による、医療・介護関係職種を対象とした口腔機能管理(摂食嚥下機能等)に係る研修を実施し、医療機関等での口腔機能管理の実践を推進した。
- (8) 口腔がん等普及啓発事業 5,000千円  
県民への口腔がんの普及啓発や歯科医師・歯科衛生士に対する研修を行った。
- (9) 口腔機能維持向上普及啓発事業 5,000千円  
高齢者の口腔機能の低下防止を図るため、8029運動を通して、県民向けの啓発イベントなど、健康寿命延伸につながる口腔機能維持の普及啓発を行った。

### 3 千葉県口腔保健支援センター事業

- (1) 歯科口腔保健に係る県民への普及啓発

県ホームページ、リーフレット等による情報提供

予 算 額	予算執行額
5,806千円	5,460千円

- (2) 市町村の歯科口腔保健担当者等に対する情報提供や研修会等

市町村等歯科保健担当者からの相談に対する専門的助言や資質向上のための研修会を開催した。

### 4 地域・職域連携推進事業

健康の保持増進には、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供が必要であることから、地域保健と職域保健の連携を

予 算 額	予算執行額
5,521千円	2,040千円

推進する。生活習慣病予防・がん対策・たばこ対策、メンタルヘルス対策などを中心とする各種保健事業の

共同実施、保健事業の実施に要する社会資源を相互に有効活用するなど、保健サービス提供体制を整備するため、県レベル及び保健所圏域（13箇所）に設置した地域・職域連携推進協議会を開催した。

また、県レベルの協議会では、健康増進計画である「健康ちば21（第2次）」の推進及び実績の評価に関する協議並びに検討等を実施した。

## 5 たばこ対策事業

たばこは、肺がんを始め、生活習慣病等様々な健康被害の原因とされており、たばこと健康に関する知識の啓発、未成年の喫煙防止、禁煙希望者への支援等たばこ対策を総合的に推進した。

また、受動喫煙対策については、改正健康増進法が令和2年4月に全面施行となったことから、法律に基づく規制について広く周知啓発を行った。

予 算 額	予算執行額
6,140千円	4,814千円

## 6 健康増進事業

県民の健康の保持及び増進を図るため、市町村（千葉市を除く）が行う健康教育、健康相談、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診及び肝炎ウイルス検診を含む健康診査、訪問指導等の健康増進事業に対する補助を行った。

予 算 額	予算執行額
417,178千円	335,724千円

## 7 自殺対策事業

第2次千葉県自殺対策推進計画に基づき、自殺の危機に対応する一次予防として、検索連動型広告等による普及啓発、二次予防として、SNSを利用した相談窓口の設置、自殺未遂者への支援等の事業を行った。

また、地域における自殺対策を支援するために、市町村及び民間団体が行う自殺対策事業に対する補助を行った。

予 算 額	予算執行額
90,963千円	78,957千円

## 8 生活習慣病予防支援人材育成事業

### (1) 人材育成研修 472千円

市町村国保等医療保険者及び民間事業者が、特定健診・特定保健指導を効果的に実施し、糖尿病等生活習慣病予備群・有病者を減少させることができるよう、当該事業に従事する医師、保健師、管理栄養士等を対象に研修を行った。

予 算 額	予算執行額
3,525千円	2,647千円

### (2) 糖尿病性腎症重症化予防対策推進事業 2,175千円

地域で保険者が医療機関等と連携して事業に取り組めるよう対策推進検討会を開催し、千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの周知・知識の普及啓発のための保健指導従事者向け研修会などを実施した。また、慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策についても、併せて取組を実施した。

## 9 がん対策事業

- (1) がん対策推進計画を推進する事業 566千円  
千葉県がん対策審議会及び各部会を開催し、平成30年

予 算 額	予算執行額
177,972千円	174,419千円

度から始まった「第3期千葉県がん対策推進計画」に掲げた施策の検討を行い、事業を推進した。

- (2) がん医療提供体制の整備事業 170,416千円

県民の誰もが、自らが選択し、安心して納得した質の高いがん医療を身近な地域で受けられるよう、本県のがん医療水準の向上と均てん化を図るため、がん診療連携拠点病院間のネットワークの強化や拠点病院が行う研修、患者・家族への相談支援、がん医療情報の収集・提供等に対する補助を行った。

また、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録事業及びアスベストによる健康被害に関する県民等の不安に対応するための事業を実施した。

さらに、がん患者やその家族からの、がん医療や療養生活に関する幅広い相談にワンストップで対応する窓口を設置するため、千葉県地域統括相談支援センター事業を実施した。

- (3) 緩和ケア推進強化事業 2,220千円

緩和ケア研修事業は、県内の拠点病院等が実施する「緩和ケア研修会」(集合研修)について、ホームページ等での周知を図った。

また、地域緩和ケア支援事業は、がん患者及びその家族、医療従事者等に対し、在宅緩和ケアに関する医療・介護資源の情報収集や、ホームページを活用した情報の提供等を行った。さらに、平成29年度に作成した「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」を活用した研修を実施した。

- (4) がん予防・早期発見を推進する事業 1,217千円

がんは予防と早期発見が重要であることから、がん検診の受診率向上のために市町村が委嘱する健康づくり推進員等に対し講習会を実施したほか、胃内視鏡検診体制の構築等のための検診従事医師等に対する研修を実施した。

また、がん検診の受診率向上、ヘッドネーションの取組の拡大等を図るため、パンフレットを作成し、市町村が実施する成人式等において配布した。

なお、正しい知識の普及啓発のために行うがん予防展・講演会、乳がん検診の受診促進のためのピンクリボンキャンペーンを例年行っているが、新型コロナウイルス感染拡大を受け中止した。

## 10 食からはじまる健康づくり事業

子どもの頃からの適切な食習慣づくりを推進するほか、飲食店に向けたヘルシーメニューの提供の推進等、健康な食の環境づくりに向けた県民運動を展開した。

予 算 額	予算執行額
4,879千円	2,795千円

- (1) ライフステージに応じた健康づくり推進事業 652千円

企業や地域ボランティア等との協働により、食生活の重要性を普及啓発し、生活習慣の発症予防を図るとともに、地域における食育の推進を図った。

(2) 人材育成

1,010千円

地域で活動している食生活改善推進員に対し、教育研修を開催し、資質の向上を図った。

また、食と健康推進講習会を県内複数の地域において開催し、県民の食生活の改善を図った。

11 調理師による県民の食生活の向上に関する条例関連事業

「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づき、調理師を対象にした講習会を開催し、県内で調理業務に従事する調理師等の資質向上を図ることにより、県民の食生活向上を推進した。

予 算 額	予算執行額
4,362千円	3,578千円

12 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業

障害者や高齢者等が住み慣れた地域で、いつまでも生き生きとした生活を送ることができる社会を目指し、保健・医療・福祉等の関係機関の連携による、地域リハビリテーション支援体制の整備を図った。

予 算 額	予算執行額
10,393千円	10,209千円

13 自宅療養者支援事業

新型コロナウイルス感染症で自宅療養されている方に対して、希望に応じて、7日分の食料品をパッケージにして原則1回配送する配食サービスを実施した。また、重症化の目安となる数値を測定できるパルスオキシメーターの貸出し等を行った。

予 算 額	予算執行額
303,820千円	93,663千円

14 医療機関等における感染拡大防止等支援事業

新型コロナウイルス感染症の事態長期化・次なる流行の波に対応するため、医療機関等において院内での感染拡大を防ぎながら医療等を提供することができるよう、感染拡大防止対策等に要する費用に対して補助を行った。また、支払業務の一部を委託した。

予 算 額	予算執行額
3,287,750千円	2,803,404千円

- ・ 交付決定歯科医療機関数 2,859件



## 疾病対策課

### 1 小児慢性特定疾病支援事業

健全育成の観点から、医療費の負担軽減を図るとともに、在宅療養上の適切な支援を行い、安定した療養生活の確保と患者家族の生活の質の向上を図った。

予 算 額	予算執行額
929,851千円	899,474千円

#### (1) 小児慢性特定疾病医療費支援事業

小児慢性特定疾病児童等16疾患群762疾病について医療費の助成を行った。

患者数 3,346人（令和3年3月末現在）

#### (2) 日常生活用具給付事業

小児慢性特定疾病児童に対して、特殊寝台、たん吸引器等日常生活用具を給付し、日常生活の便宜を図った。

#### (3) 移行期医療支援体制整備事業

小児期から成人期への移行期にある小児慢性疾患児等に対し、適切な医療を提供できるよう移行期医療支援センターを設置するとともに、円滑な移行が図られるよう研修会等を実施した。

### 2 感染症等対策事業

感染症の拡大防止を目的とした健康診断等の実施や検査体制整備等を行うとともに、肝炎患者の医療費や風しん抗体検査の検査費用助成、風しんワクチン接種補助に対する助成等を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、病床の確保、医療機関設備整備補助、PCR検査体制の確保等を行った。

予 算 額	予算執行額
69,696,699千円	49,960,253千円

#### (1) 結核対策事業

本県の結核患者は平成12年以降減少傾向を示しているが、引き続き「千葉県結核対策プラン」に基づき、入院患者や外来・在宅患者に対するDOTS（直接服薬確認療法）の実施や接触者健康診断の徹底等を図った。

令和2年管理検診及び接触者健康診断実施状況（千葉市、船橋市、柏市を除く）

区分	対象者数 A	受診者数 B	受診率 B ÷ A	要医療 者 数 C	要医療率 C ÷ B
管理検診	1,154人	975人	84.5%	0人	0.00%
患者の家族	515人	479人	93.0%	4人	0.84%
接触者等	2,351人	2,174人	92.5%	11人	0.51%

## (2) 感染症対策事業

感染症に対する正しい知識の普及啓発、感染症発生動向調査の充実及び食品・給食関係者等に対する勧奨検便の実施並びに予防接種の指導等、平常時対策を進めるとともに、感染症発生時には、健康診断による患者の早期発見と疫学調査を行い、流行の拡大防止に努めた。

令和2年一類・二類・三類感染症患者発生状況

細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	コレラ	腸管出血性大腸菌感染症
0人	4人	0人	1人	124人

## (3) 予防接種事業

感染予防や病気のまん延防止を目的としている予防接種について、県内市町村が実施している定期予防接種をはじめ、疾病の流行状況など感染症の動向を踏まえた予防接種事業全般の推進を行った。

## (4) エイズ対策事業

エイズ(後天性免疫不全症候群)の患者・感染者は、全国的にも、また本県においても依然として増え続けており、まん延を防止するために正しい知識の普及啓発に努めるとともに、相談・検査体制の充実及び中核拠点病院等による診療体制の確保を図るなど、感染予防と診療体制の整備に努めた。

エイズ患者・感染者数(昭和63年から令和2年末現在累計数)

男 性	女 性	合 計
1,202人	316人	1,518人

血液凝固因子製剤によるものを除く。

エイズ相談・検査件数(令和2年度)

相談件数	検査件数	委託検査
622件	170件	55件

## (5) その他感染症対策事業

### ア 肝炎対策事業

国内最大級の感染症である肝炎について、肝がんへの進行予防・肝炎治療の効果的促進のため、B型・C型ウイルス性肝炎に対するインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びに核酸アナログ製剤治療を要する患者に医療費助成を行い、経済的負担の軽減を図った。また、感染者が早期に検査を受け、適切な治療を受けることができるよう、健康福祉センター・委託医療機関での相談・検査体制の整備を図った。

肝炎治療医療費助成認定状況

インターフェロン治療	インターフェロンフリー治療	核酸アナログ治療	合計
4件	654件	3,217件	3,875件

### イ 風しん対策事業

抗体検査委託事業

風しんの流行状況を踏まえ、特に重篤な影響を及ぼす可能性のある妊婦への感染の拡大を防止し、先天性風しん症候群の発生予防を図るため、妊娠を希望する女性及びその配偶者（パートナー）抗体価の低い妊婦の配偶者（パートナー）に対する風しん抗体検査委託事業を実施した。

実施数 3,523 人

ワクチン接種補助事業

県及び千葉市、船橋市、柏市が実施する抗体検査において、抗体価が低いと判定された者に対する市町村のワクチン接種事業の費用の一部を負担した。

助成市町村 36市町村 1,988人分

## （6）新型コロナウイルス感染症対策事業

### ア 空床確保等補助事業

患者受入のため確保した病床のうち患者入れ替えなどに伴う空床分や、感染防止策などに伴う休止病床分に係る費用について補助した。

申請件数：484件

### イ 医療機関設備整備補助事業

一般医療とコロナ医療を両立させながらコロナに対する医療提供体制を最大限確保するため、医療機関等が行う設備整備に対して補助した。

申請件数：301件

### ウ PCR検査体制の確保

保健所や衛生研究所、地域・外来検査センター、医療機関において必要な検査を行える体制を確保した。

地域・外来検査センター 14箇所

医療機関における検査費用の公費負担 検査件数：211,248件

## 3 難病対策事業

### （1）難病医療費助成事業

原因が不明で治療方法が確立していない難病のうち

国の定めた333疾患について医療費の助成を行った。

患者数 39,589人（令和3年3月末現在）

予 算 額	予算執行額
6,855,673千円	6,743,697千円

### （2）難病対策事業

#### ア 難病相談事業

各保健所を拠点として、難病患者及びその家族に対し、医療及び療養生活に関わる相談・指導を行い、疾患等に関する不安の解消と潜在患者の早期発見に努めるとともに、寝たきり等により受療が困難な在宅患者に対し、訪問相談、訪問診療を実施し、在宅療養上の適切な支援を行った。

医療相談（個別・集団） 36回（延べ回数） 136人（延べ人数）

窓口相談延件数 1,897件



婦人相談員設置費	11,598千円
婦人保護事業措置委託	98,597千円

### 3 配偶者暴力相談支援センター事業

女性サポートセンター等において、専門相談員、カウンセラー、保育士、医師、及び看護師等を配置し、相談、一時保護を主としたDV被害者等への支援を行うため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
190,694千円	163,721千円

地域配偶者暴力相談センター事業	37,047千円
会計年度任用職員等人件費	76,337千円

### 4 要保護児童対策事業

児童虐待の未然防止と早期対応、社会的養護を要する児童の保護及び支援のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,793,430千円	9,312,292千円

#### (1) 保護措置事業 6,572,323千円

民間児童福祉施設等に児童を措置したことにより施設等が要する経費を負担した。

#### (2) 児童自立支援事業 23,155千円

児童養護施設等を退所した者の就職や進学を支援することにより、自立支援の充実を図った。

#### (3) 児童福祉施設等補助事業 375,965千円

施設入所児童の処遇向上等を図るため、児童養護施設等への各種助成事業を実施した。

#### (4) 民間児童福祉施設整備事業 467,445千円

民間児童福祉施設の整備促進を図るため、整備費等に助成した。

#### (5) 児童相談所等運営事業 1,672,317千円

県内6箇所の児童相談所で児童の養育についてのあらゆる相談を受け、必要に応じて児童の一時保護を行った。また、各県立児童福祉施設で児童養護や自立支援を行った。

### 5 ひとり親家庭等福祉対策事業

ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
787,184千円	760,598千円

母子・父子自立支援員設置費		50,273千円
ひとり親家庭等医療費等助成事業	32,326人	405,124千円
母子家庭等就労支援事業		18,945千円
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業		2,083千円

## 6 児童扶養手当支給事業

ひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として、次のとおり児童扶養手当の支給を行った。

予 算 額	予算執行額
641,942千円	598,273千円

・児童扶養手当支給事業 延べ14,815人 593,291千円

## 7 母子保健事業

市町村の協力のもとに、心身障害児の発生予防・早期発見及び乳幼児や児童の健全な育成を図ることを目的に、保健指導を主とした母子保健対策、医療給付、検査等の施策を推進した。

予 算 額	予算執行額
7,608,939千円	5,225,470千円

### (1) 医療助成事業 5,064,568千円

事業名	給付人員
子ども医療費助成事業	682,397人
特定不妊治療費助成事業	3,541人
未熟児養育医療給付	1,066人
自立支援医療（育成医療）給付	521人
結核児童療育医療給付	1人

### (2) 検査事業 90,858千円

事業名	検査人員	備 考
先天性代謝異常等検査	32,461人	対象疾患：先天性甲状腺機能低下症ほか19疾患

## 8 母子父子寡婦福祉資金貸付金事業

母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付を行った。

予 算 額	予算執行額
333,421千円	124,661千円

母子父子寡婦福祉資金の貸付実績

区 分	貸 付 件 数	貸 付 額
母 子 福 祉 資 金	149件	106,221千円
父 子 福 祉 資 金	10件	9,233千円
寡 婦 福 祉 資 金	4件	3,522千円
計	163件	118,976千円

# 子育て支援課

## 1 子ども・子育て支援事業

幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、次の子育て関係事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
32,698,986千円	31,249,671千円

- (1) 施設型給付費 20,881,430千円  
市町村が認定こども園・保育所・幼稚園の運営費に対して支弁する給付費の一部を負担した。
- (2) 地域型保育給付費 3,008,791千円  
市町村が小規模保育事業、家庭的保育事業等の運営費に対して支弁する給付費の一部を負担した。
- (3) 地域子ども・子育て支援事業 6,132,132千円  
市町村が地域の実情に応じて実施する放課後児童クラブ、病児保育、延長保育、一時預かり等の事業に要する経費に対し助成を行った。
- (4) 子ども・子育て支援整備事業 247,008千円  
市町村が子ども・子育て支援事業計画等で位置づけた、放課後児童クラブ及び病児保育施設の整備を行うための経費に対し補助を行った。
- (5) 認定こども園整備事業 730,591千円  
幼児教育と保育を一体的に提供する民間の認定こども園の施設整備を行うための経費に対し補助を行った。
- (6) 子育て応援！チーパス事業 19,782千円  
企業等の協賛により、子育て家庭が店舗等で各種サービスを受けられる子育て支援事業を行った。

## 2 保育対策事業

家庭において必要な保育を受けることが困難な児童の保育を積極的に推進し、待機児童の早期解消を図るため、次の保育所等に対する事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
5,164,949千円	4,891,745千円

- (1) 保育士配置改善事業 967,629千円  
保育所等に入所する児童の処遇向上を図るため、公定価格上の基準を上回って職員を配置した保育所等に対し、その雇用に伴う経費に対し助成を行った。
- (2) 保育所整備促進事業 165,248千円  
国の保育所等整備交付金又は子育て安心応援事業（保育所緊急整備事業）のうち定員増を伴う整備に対して、県独自の加算措置を行った。
- (3) 賃貸による保育所・小規模保育事業所緊急整備事業 453,347千円  
賃貸物件を活用した保育所・小規模保育事業所を新設、定員拡大のために改修する場合の費用について、国の助成に県独自の上乘せを行った。

### 3 保育士人材確保等事業

不足している保育士の確保を図るため、次の人材確保対策事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,982,037千円	2,694,377千円

#### (1) ちば保育士・保育所支援センター運営事業 20,777千円

保育士の専門性向上と質の高い人材を安定的に確保するため、潜在保育士の就職や保育所の潜在保育士活用支援等を行った。

#### (2) 保育士研修等事業 2,922千円

保育士の専門性の向上に係る研修、保育士養成施設の学生や潜在保育士を対象とした就職説明会・研修を行った。

#### (3) 保育士等キャリアアップ研修事業 105,661千円

保育士の定着及び保育の質の向上を図るため、一定の経験を積んだ保育士等を対象として、キャリアアップのための研修を行った。

#### (4) 千葉県保育士処遇改善事業 1,666,165千円

保育士の確保・定着対策を一層推進し、県内の保育環境の改善を図るため、市町村が行う民間保育所等の保育士の処遇（給与）改善に係る事業に対し補助を行った。

#### (5) 都市部における保育所等への賃借料支援事業 327,325千円

都市部での賃貸物件を活用した保育所等の整備促進を図るため、その賃料の一部に対し補助を行った。

### 4 児童手当支給事業

児童手当法に基づき市町村が支給している児童手当の一部を負担した。

予 算 額	予算執行額
13,565,000千円	13,564,117千円

・支給児童数 延べ 8,525,043人

・負担金額 13,564,117千円

## 高齢者福祉課

### 1 高齢者福祉の総合的推進

「千葉県高齢者保健福祉計画（平成30年度～令和2年度）」における各種施策の進捗管理及び評価を行うとともに

予 算 額	予算執行額
3,196千円	2,084千円

に、「千葉県高齢者保健福祉計画（令和3年度～令和5年度）」の策定のための審議を行った。

千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進事業

2,084千円



## 2 高齢者の社会参加の推進

高齢者の社会活動への参加を促進し、生きがいを持てる  
高齢社会を実現するため、高齢者の社会参加の環境整備を  
推進するほか、ふれあいの場づくり、健康の保持・増進を図る各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
465,445千円	419,842千円

生涯大学校管理運営等事業	5 学園	299,328千円
老人クラブ活動等社会活動促進事業	49市町村	81,312千円
千葉県老人クラブ連合会活動促進等事業	(公財)千葉県老人クラブ連合会	23,067千円
明るい長寿社会づくり推進機構事業	(福)千葉県社会福祉協議会	16,135千円

## 3 高齢者在宅福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けら  
れるよう、高齢者及び介護する家族を支援する各種事業を  
実施した。

予 算 額	予算執行額
201,851千円	197,652千円

福祉ふれあいプラザ管理運営事業		93,752千円
認知症支援事業		68,887千円
老人短期入所居室整備事業補助	6 法人	23,200千円

## 4 高齢者施設福祉の充実

家庭の事情等で自宅において介護が受けられない高齢  
者等の福祉の向上を図るため、高齢者福祉施設の整備拡充  
及び高齢者福祉施設入所者の処遇向上を図る各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,375,688千円	5,865,537千円

特別養護老人ホーム建設事業補助	19法人	3,469,500千円
軽費老人ホームサービス提供費補助	65法人	1,730,093千円
民間老人福祉施設職員設置費補助	59法人	240,009千円
民間社会福祉施設整備資金借入金補助	28法人	80,296千円

## 5 介護保険事業

介護保険制度が円滑に運営されるよう、次のとおり事業  
を行った。また、サービス提供事業者に対して、実地指導  
(13事業所)及び監査等(18事業所)を実施した。

予 算 額	予算執行額
67,449,549千円	67,338,823千円

### (1) 介護給付費県負担金

62,412,856千円

介護保険法に基づく介護給付費に対する負担金(54市町村)

(2) 地域支援事業交付金 3,461,608千円  
 介護保険法に基づく地域支援事業に対する交付金(54市町村)

6 地域医療介護総合確保基金事業

地域医療介護総合確保基金等により、市町村が推進する  
 小規模介護施設等の整備事業に対する助成等を実施した。

予 算 額	予算執行額
3,326,679千円	2,679,188千円

開設準備支援等事業	24市町村 15法人	1,436,636千円
介護基盤整備交付金事業	35市町村 3法人	1,132,321千円

7 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止への助成や、介護  
 施設職員等への慰労金支給等を実施した。

予 算 額	予算執行額
23,478,841千円	14,469,329千円

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業		13,381,019千円
高齢者・障害者入所施設職員へのPCR検査事業		627,766千円
介護事業所等のサービス継続に対する支援事業	96法人	314,829千円
介護施設等における感染拡大防止事業	5市町村 34法人	129,715千円

## 障害者福祉推進課

1 障害者更生援護事業

(1) 自立と社会参加の促進

障害者が積極的に社会活動や経済活動に参加し、地域  
 社会で生活できるよう各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,599,982千円	6,082,927千円

障害のある人に対する理解を広げ差別をなくすための事業	相談件数76件	66,283千円
千葉点字図書館運営費補助事業	1施設	63,976千円
聴覚障害者情報提供施設運営費補助事業	1施設	31,623千円
障害者IT支援事業	受講人数100人	12,000千円
身体障害者手帳等交付事業	延べ11,180人	12,316千円
障害者スポーツ・レクリエーションセンター運営事業	1施設	22,405千円
盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業	利用件数921件	13,091千円
手話通訳者・要約筆記者等養成事業	受講人数 149人	13,719千円

(2) 在宅福祉の充実

在宅の重度障害者に対して、その障害によって生ずる特別な負担の軽減を図るために手当を支給するなど、障害者の経済援助等の充実を図るため、各種事業を実施した。

特別障害者手当等給付事業	延べ 3,582人	81,331千円
在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当給付事業	延べ30,850人	132,156千円
重度心身障害者(児)医療給付改善事業	対象人員72,920人	3,605,010千円
更生医療給付費負担金	54市町村	1,916,683千円

(3) 障害者スポーツ競技団体支援事業

障害者スポーツ競技団体の活性化や競技人口等の増加を図るため、各種競技団体等が競技の普及のために実施する体験会等に対し助成を行った。

・障害者スポーツ競技団体支援事業	1団体	15,000千円
------------------	-----	----------

2 高次脳機能障害支援事業

高次脳機能障害及びその関連障害に関する支援体制の確立のため、専門的な相談支援、機能回復のための訓練、高次脳機能障害に関する普及啓発等に努めた。

予 算 額	予算執行額
22,000千円	22,000千円

3 児童保護措置事業

障害児及びその保護者等の療育や日常生活等の向上、在宅の不自由児に対する自立・社会参加の促進やボランティアの育成を図るため、各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
27,620千円	25,649千円

4 特別児童扶養手当支給事業

精神又は身体に重度又は中度の障害のある児童の父母等に特別児童扶養手当を支給する事業を実施し、児童の福祉の増進に努めた。

予 算 額	予算執行額
12,975千円	9,024千円

5 精神保健福祉事業

(1) 精神疾患患者医療事業

措置入院患者及び通院患者に対する医療費の公費負担をはじめ精神科病院入院者に係る精神医療審査、措置患者の現地審査、精神科病院の指導監督等を実施した。

精神疾患患者医療費	延べ1,411,258件	8,002,873千円
精神科救急医療システム整備事業	32病院	87,597千円
精神疾患患者医療費審査支払事務委託	延べ1,411,258件	94,429千円
摂食障害治療支援センター設置運営事業	1病院	3,000千円

(2) 地域・在宅福祉の充実

精神障害のある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるようにするためには、医療機関による退院支援や地域の福祉関係機関による地域生活支援の両面が必要であることから、保健、医療、福祉関係者による「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を推進した。

・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 15団体 22,740千円

## 障害福祉事業課

1 障害者更生援護事業

(1) 自立と社会参加の促進

障害者が積極的に社会活動や経済活動に参加し、地域社会で生活できるよう各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
33,138,210千円	28,619,935千円

市町村地域生活支援事業	54市町村	919,700千円
自立支援給付費負担金	54市町村	22,991,805千円
グループホーム運営費等補助	51市町村 97事業所	244,819千円
グループホーム等支援事業	51市町村	217,791千円
障害者グループホーム等支援事業	11法人	60,081千円
障害者生活ホーム運営事業	26市町村 2件	25,382千円
障害者就業・生活支援センター事業	13法人	103,966千円
地域活動支援センター等支援事業	延べ30市町村	18,237千円
重度訪問介護等の利用促進に係る市町村支援事業	18市町村	30,000千円
障害者の工賃アップのための事業	1法人	34,646千円
強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業	研修修了者14人	6,223千円

(2) 施設整備・福祉の充実

障害者の自立に必要な指導・訓練等を行うため、施設整備を図るとともに、市町村が行った障害者施設の支援に要した経費について負担する等の各種事業を実施した。

社会福祉施設等施設整備費補助事業	28件	719,710千円
強度行動障害者等県単加算事業	14市町村	46,137千円
袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業	8件	24,078千円

(3) 新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策への助成や、障害者施設職員等への慰労金支給等を実施した。

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業	2,749,218千円
高齢者・障害者入所施設職員へのPCR検査実施事業	79,333千円
障害福祉サービス等事業者に対するサービス継続支援事業	70,096千円
障害福祉サービス等の衛生管理体制確保支援事業	40,343千円

## 2 袖ヶ浦福祉センター運営事業

障害者支援施設（定員90名）及び福祉型障害児入所施設（定員40名）の管理運営を指定管理者である社会福祉法人	予 算 額	予算執行額
	742,604千円	696,522千円

千葉県社会福祉事業団が行い、知的障害者（児）の更生援護に努めた。

管理運営委託料	693,572千円
施設及び設備整備事業	2,858千円

## 3 千葉リハビリテーションセンター運営事業

医療型障害児入所施設（定員132名） 児童発達支援センター（定員30名） 障害者支援施設（定員56名）及びリハビリテーション医療施設（定員110名）の管理運営を指定管理者である社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団が行い、身体障害者（児）の更生援護に努めた。	予 算 額	予算執行額
	1,829,406千円	1,816,041千円

また、老朽化・狭隘化しているセンターの再整備に当たり、令和元年度に策定した基本計画を基に、基本設計業務に着手した。

また、老朽化・狭隘化しているセンターの再整備に当たり、令和元年度に策定した基本計画を基に、基本設計業務に着手した。

管理運営委託料	1,319,793千円
施設及び設備整備事業	468,655千円
千葉リハビリテーションセンター再整備事業	27,436千円

## 4 心身障害児援護事業

### (1) 地域・在宅福祉の充実

在宅の重症心身障害児（者）等の療育や日常生活等の向上を図るため、各種事業を実施した。	予 算 額	予算執行額
	7,849,401千円	7,744,693千円

在宅の重症心身障害児（者）等の療育や日常生活等の向上を図るため、各種事業を実施した。

障害児通所給付費	54市町村	5,566,191千円
発達障害者支援センター運営事業	1法人	48,400千円
重症心身障害児（者）短期入所特別支援事業	2市	3,055千円

### (2) 施設福祉の充実

施設に入所している心身障害児の治療・保護等を行うとともに、社会に適応できるよう育成するため、委託施設に措置費を支弁する等、各種事業を実施した。

障害児施設給付費	延べ 1,220人	439,017千円
----------	-----------	-----------

心身障害児施設委託措置費	延べ 2,457人	1,351,142千円
心身障害児(者)歯科保健巡回診療指導事業	延べ 982人	16,282千円

## 保険指導課

### 1 後期高齢者医療制度推進事業

市町村及び後期高齢者医療広域連合に対して、次のとおり助成を行った。

予 算 額	予算執行額
59,416,923千円	59,416,721千円

また、指導監督(18市町)を実施した。

#### (1) 後期高齢者医療給付費負担金

47,214,063千円

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく後期高齢者医療費の負担金(後期高齢者医療広域連合)

#### (2) 後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金

8,889,862千円

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく低所得者等の保険料軽減分に対する負担金(54市町村)

#### (3) 後期高齢者医療高額医療費負担金

3,312,261千円

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者医療費のうち一定額以上の医療費に対する負担金(後期高齢者医療広域連合)

### 2 国民健康保険指導事業

#### (1) 国民健康保険事業の助成及び指導

市町村に対して、次のとおり助成を行った。

予 算 額	予算執行額
46,167,467千円	46,099,656千円

また、定期指導(18保険者)及び特別指導(7保険者)を実施した。

特別会計繰出金

26,621,611千円

国保財政の安定化を図るための繰出金

国民健康保険高額医療費負担金

4,167,273千円

高額な医療費の発生による国保財政への急激な影響の緩和を図るための負担金

国民健康保険基盤安定事業負担金

11,958,572千円

低所得者の保険料(税)軽減分に対する負担金(54市町村)

国民健康保険保険者支援制度負担金

2,520,009千円

基盤安定制度の拡充による財政支援と保険料負担の軽減を図るための負担金(54市町村)

国民健康保険特定健康診査等負担金

743,059千円

市町村国保が行う特定健診・特定保健指導に係る費用に対する負担金

#### (2) 保険医療機関等の指導

保険医、保険薬剤師及び保険医療機関等に対して、個別指導(162機関)及び集団指導(1,879

機関)を実施した。

### 3 特別会計国民健康保険事業

国民健康保険財政の安定化を図るため、保険給付等に  
必要な費用を市町村等へ交付した。

予 算 額	予算執行額
515,586,568千円	502,190,003千円

国民健康保険保険給付費等交付金

391,426,484千円

保険給付等に要する費用を市町村へ交付

介護納付金

27,221,196千円

介護保険の財源として被保険者から徴収した介護保険料を社会保険診療報酬支払基金へ納付

前期高齢者納付金

135,898千円

前期高齢者医療費の財源として被保険者から保険料を徴収し社会保険診療報酬支払基金へ納付

後期高齢者支援金

77,524,278千円

後期高齢者医療費の財源として被保険者から保険料を徴収し社会保険診療報酬支払基金へ納付

病床転換支援金

465千円

医療病床から介護施設等への転換を図るための保険者負担

国民健康保険事業事務費

60,155千円

人件費、運営協議会費等

特別高額医療費共同事業拠出金

714,448千円

著しく高額な医療費について、全国で費用負担を調整するための拠出金を国民健康保険中央会  
へ納付

## 医療整備課

### 1 医療事業

医療機関の整備と救急医療体制の確立等を図るため、  
次の施策を実施した。

予 算 額	予算執行額
41,182,763千円	30,718,031千円

#### (1) 医療機関の施設整備等に対する助成

医療機関等の施設・設備の整備に対して助成を行った。

医療施設防災機能強化事業

81,310千円

医療施設等耐震整備事業

83,173千円

地域中核医療機関整備促進事業(地域医療介護総合確保基金事業)

190,191千円

#### (2) 周産期医療対策

周産期医療体制の充実を図るため、周産期母子医療センターの運営費に対して助成した。

また、緊急・ハイリスク時の円滑な母体搬送を実施するため、搬送コーディネーターを配置した。  
さらに、周産期医療の需要増加に応えるため、周産期母子医療センターの設備整備費を助成した。

周産期医療施設運営費補助事業	520,491千円
周産期医療対策事業	20,916千円
周産期医療施設設備整備事業	31,283千円

### (3) 救急医療体制の確立

#### ア 初期救急医療体制

救急隊と医療機関の連携強化と救急患者の搬送時間の短縮を図るため、救急コーディネーターを配置したほか、搬送先が決まらない救急患者を必ず受け入れることに合意した医療機関に対して助成した。

また、救急医療の充実を図るため、電話相談事業を実施した。

救急医療コーディネート事業	8,824千円
搬送困難事例受入医療機関支援事業	152,568千円
小児救急電話相談事業（地域医療介護総合確保基金事業）	84,000千円
救急安心電話相談事業（地域医療介護総合確保基金事業）	26,153千円

#### イ 二次救急医療体制

初期救急医療機関から振り分けられ、入院等が必要となった急病患者に対処する二次救急医療を確保するとともに、救命救急センターの補完的役割を担う救急基幹センターに助成した。

また、小児救急医療体制の整備のため、市町村及び医療機関に対し助成した。

救急基幹センター運営事業（地域医療介護総合確保基金事業）	31,003千円
小児救急医療拠点病院運営事業（地域医療介護総合確保基金事業）	90,107千円
小児救急医療支援事業（地域医療介護総合確保基金事業）	31,900千円

#### ウ 三次救急医療体制

複雑高度な救急医療を必要とする重篤救急患者の受入機関としての救命救急センターに対して助成したほか、重症救急患者の救命率の向上と後遺症の軽減を図るため、ドクターヘリの運営に対して助成した。

救命救急センター運営事業	317,697千円
救命救急センター設備整備費補助	235,703千円
ドクターヘリ運営事業	501,962千円

#### エ 広域災害・救急医療情報システム対策

広域災害・救急医療情報システムにより、県民及び消防・医療機関に対し、救急医療情報及び周産期・小児救急医療情報・広域災害時の支援情報などの提供を行った。

・広域災害・救急医療情報システム事業	45,741千円
--------------------	----------

### (4) 医師確保対策

#### ア 医学生に対する修学資金の貸付

大学在学中の医学生に対し修学資金の貸付けを行った。



・医師修学資金貸付事業（地域医療介護総合確保基金事業） 601,396千円

#### イ ちば若手医師キャリア形成支援事業

県内の大学病院等と連携し、修学資金受給者の地域医療への貢献と自らの望むキャリア形成の両立を支援する取組に対し助成した。

専門医認定支援事業 1,814千円

若手医師キャリア形成支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 1,881千円

#### ウ 産科医等の確保や女性医師等の就労支援に対する助成

医師の就労環境の改善及び安定確保を図るため、産科医等の処遇改善、出産・育児等による女性医師等の離職防止・復職支援などに取り組む医療施設に対し助成した。

産科医等確保支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 48,213千円

女性医師等就労支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 32,835千円

新生児医療担当医確保支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 700千円

#### エ 医師キャリアアップ就職支援センター事業

委託により、県内医療機関での臨床研修に関する情報提供や相談業務等を実施するとともに、センター設備を活用した医療技術研修に対し助成した。

・医師キャリアアップ就職支援センター事業（地域医療介護総合確保基金事業） 51,000千円

#### オ 医師少数区域等医師派遣促進事業

医師の地域偏在改善や地域医療の基盤を支える医療機関の医師不足を解消するため、県内の医師少数区域等に所在する医療機関に医師を派遣する医療機関に対し助成した。

・医師少数区域等医師派遣促進事業（地域医療介護総合確保基金事業） 137,500千円

#### カ 歯科衛生士就職準備金貸付事業

訪問歯科診療を支える歯科衛生士を確保し、地域偏在等を解消するため、歯科衛生士養成施設を卒業後、県内の歯科診療所等に就職する学生へ就職準備金を貸し付けた。

・歯科衛生士就職準備金貸付事業 7,283千円

#### （５）自治体病院支援対策

地域に必要な医療を確保するため、県内の自治体病院の経営状態や医師不足による診療体制の縮小などの状況を調査し、各病院の状況に応じた支援方針の検討や、経営改善策の検討の支援等を行った。

#### （６）新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症への対応のため、感染拡大防止に向けた医療機関への助成、医療従事者等への慰労金の支給、県の医療提供体制を補完する臨時医療施設の開設・運営等を行った。

臨時医療施設開設事業 501,286千円

対策本部・クラスター発生施設等への医療従事者派遣 27,616千円

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金支給事業 18,110,852千円

疑い患者受入れのための救急・周産期・小児医療機関における院内感染防止対策事業

3,128,388千円

2 保健師等指導管理事業

保健師助産師看護師法に基づく資格試験の実施及び  
看護職員の養成並びに確保対策を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,428,376千円	1,318,813千円

(1) 看護師等の充足対策

ア 看護師等養成所の運営に対する助成

看護教育の充実強化を図るため、医療法人等が設置する養成所の運営費に対して助成した。

- ・看護師等養成所運営費補助（地域医療介護総合確保基金事業） 331,458千円

イ 保健師等修学資金の貸付

県内における看護職員の確保を図るため、県内外養成機関に在学する学生に対して修学資金の貸付けを行った。

- ・保健師等修学資金貸付事業（地域医療介護総合確保基金事業） 390,404千円

ウ 病院内保育施設の運営に対する助成

看護職員の離職防止を図るとともに、潜在看護師の再就業を促進するため、病院内保育施設の運営に要する費用について助成した。

- ・病院内保育所運営費補助（地域医療介護総合確保基金事業） 309,227千円

エ 潜在看護師の再就業促進等

未就業看護職員の就業促進を図ること等を目的に、ナースセンター事業を（公社）千葉県看護協会に委託し、効果的な事業の推進を図った。

- ・ナースセンター事業（地域医療介護総合確保基金事業） 36,561千円

オ 看護職員資質向上のための研修事業

新人看護職員等の看護の質向上及び早期離職防止を図ること等を目的に、新人看護職員向けの合同研修や指導者等を対象とした研修、研修を実施した病院等への補助などを行った。

- ・看護職員研修事業（地域医療介護総合確保基金事業） 51,633千円

(2) 看護専門学校運営事業

看護師として必要な知識や技術に関する教育を行う、鶴舞看護専門学校及び野田看護専門学校の運営を行った。

鶴舞看護専門学校運営事業	60,956千円
野田看護専門学校運営事業	90,842千円

3 保健医療大学運営事業

保健師、助産師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士及び作業療法士として必要な知識及び技術に関する教育を行う県立保健医療大学の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
511,039千円	444,250千円

## 薬務課

### 1 新型コロナウイルス対策事業

適切な診療体制の確保を図るため、感染防止に必要な個人防護具等を県が購入し、医療機関への優先的な配布を行った。

予 算 額	予算執行額
2,966,525千円	1,769,144千円

また、薬局が感染拡大防止対策等に要した費用の補助を行った。

### 2 新型インフルエンザ対策事業

国の要請に基づき、抗インフルエンザウイルス薬の購入及び備蓄を行った。

予 算 額	予算執行額
402,226千円	389,698千円

抗インフルエンザウイルス薬の備蓄状況（令和3年3月末日現在）

医 薬 品 名	備 蓄 量
タミフル	232,100人分
タミフルドライシロップ	158,200人分
リレンザ	214,600人分
イナビル	211,900人分
ラピアクタ	56,500人分
計	873,300人分

### 3 薬事関係対策事業

#### (1) 薬事監視

予 算 額	予算執行額
106,425千円	57,016千円

適正な医薬品等の供給を図るため、薬事監視指導及び医薬品検査体制を強化し、不良医薬品等の生産、流通の防止に努めるとともに、医薬品等を起因とする事故の防止を図った。

薬事監視状況

- ・対象施設数 20,434件      立入検査件数 3,187件

#### (2) 薬事相談

医薬品等の正しい知識の不足から発生する事故及び危被害を防止するため、薬事アドバイザーが県民からの相談に対応し、医薬品等に関する正しい知識の普及に努めた。

- ・相談件数 538件

#### (3) 災害用医薬品等備蓄対策事業

災害発生時等に備え、健康福祉センター等に備蓄している医薬品等のうち期限切れ分等を更新した。

#### (4) 医療情報提供事業

薬局から報告のあった薬局機能に関する情報を千葉県ホームページ上で公開した。  
また、県民への広報啓発等により、医薬品適正使用の推進と後発医薬品利用促進を図った。

### 4 麻薬取締対策事業

#### (1) 麻薬取締対策

予 算 額	予算執行額
28,543千円	23,097千円

麻薬取扱施設における麻薬の施用、保管管理等取扱いの  
適正化を図るため、立入検査を実施し、不正事犯発生の防止に努めた。

また、麻薬中毒観察指導対象者19名に対して延べ2回の観察指導を実施した。

#### 麻薬立入検査状況

・対象業務所数 4,141件 立入検査件数 368件

#### (2) 薬物乱用防止対策

覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用の防止を図るため、薬物乱用対策推進本部を中心に関係機関と連携し、薬物乱用防止についての正しい知識の普及、啓発に努めた。

また、薬物乱用防止指導員(460名)の協力を得て、街頭啓発活動等を幅広く展開し、併せて、ちば県民だより、千葉テレビ及びbayfm等により、麻薬・覚醒剤・大麻・危険ドラッグ等の恐ろしさを広く県民にPRした。

#### (3) 危険ドラッグ対策

危険ドラッグについては、麻薬及び向精神薬取締法や医薬品医療機器等法に基づく規制に加えて、千葉県薬物の濫用の防止に関する条例第11条の規定に基づき、知事指定薬物を指定し、規制しており、令和2年度は17物質を知事指定薬物に指定した。

#### (4) 毒物劇物監視

毒物劇物の製造販売、運搬、使用取扱い等に起因する事故等の防止のため、毒物劇物営業者をはじめ、業務上取扱者に対し、適正な保管管理や運搬等について監視指導を実施した。

#### 毒物劇物監視指導状況

・対象施設数 1,689件 立入検査件数 340件

### 5 医薬品生産企業対策事業

#### (1) 献血推進

予 算 額	予算執行額
16,779千円	9,355千円

医療に要するすべての血液製剤を献血によって確保  
するため、計画的な献血の推進が重要となっている。

このため、千葉県献血推進計画を策定し、関係機関との連携の下に、地域に密着した啓発活動や若年層を中心とした啓発事業を実施し、献血者の確保に努めた。

## (2) 造血幹細胞移植推進事業

白血病等血液難病の治療法として行われている骨髄移植等を推進するため、造血幹細胞移植事業についての周知を図り、骨髄提供者（ドナー）の登録及び企業・団体におけるドナー支援制度の整備の推進に努めるとともに、市町村が行うドナー支援事業に対して助成を行った。

## 6 水質管理事業

衛生的かつ安全な飲料水を確保するため、水道施設の立入検査を実施し、水質管理の徹底に努めた。

予 算 額	予算執行額
27,631千円	24,460千円

水道施設の立入検査等実施状況

・対象施設数 443件 立入検査件数 125件

## 衛生指導課

### 1 軽症者等のための宿泊施設確保事業

中等症以上の新型コロナウイルス感染症患者の病床を確保するため、軽症者及び無症状病原体保有者のための療養先として、民間ホテルを確保し、宿泊療養施設として運営した。

予 算 額	予算執行額
5,452,075千円	3,179,118千円

県が直接運営した施設に加えて、独自に保健所を設置する3市（政令市・中核市）とも共同して施設を運営し、令和2年度は累計7,233人の療養者を受け入れた。（令和2年4月20日～令和3年3月31日）

### 2 食品衛生監視事業

食品の安全確保の重要性が高まっており、これに対処するため、食品営業者に対し監視指導の強化を図った。

予 算 額	予算執行額
9,703千円	8,514千円

各種食品製造業、大規模小売店舗、食品卸売市場及び集団給食施設等の監視指導

夏期及び年末における食品安全推進月間の設置

広域的な監視指導

・食品関係営業施設数 95,451件 監視件数 20,237件

### 3 食品衛生指導事業

食品衛生法、製菓衛生師法、ふぐの取扱い等に関する条例等に基づき、講習会・試験等を実施し、食品事業者の知識及

予 算 額	予算執行額
45,838千円	36,641千円

び技術の習得を図った。また、食品衛生推進員や自主衛生管理手法の導入等により、食品事業者の自主的な活動を促進した。

さらに、食品衛生関係業務の内、台帳管理や監視等の業務について、WEBシステムによる集中管理を行うことで業務の効率化を図った。

食品衛生関連講習会業務委託

食品衛生法の改正に伴う新制度普及支援

製菓衛生師試験

食品衛生システムの管理

### 4 食品衛生検査事業

食品中の化学物質等による健康被害を防止するため、添加物、細菌検査、残留農薬、遺伝子組換え食品等について、

予 算 額	予算執行額
78,058千円	57,492千円

県産物、輸入食品を中心とした県内流通食品の検査を実施した。

また、食品中の放射性物質検査のため、検出器を整備し、食品の検査を行い、食品の安全性確保に努めた。

さらに、カンピロバクター、ノロウイルス等の食中毒予防に対する監視指導及び啓発を行った。

#### (1) 食品等の収去等検査の強化

・収去等検体数 1,167件 違反検体数 0件

#### (2) 食品の放射性物質検査の強化

・検体数 110件 違反検体数 0件

#### (3) 食中毒予防体制の強化

千葉県食品衛生夏期対策 6月1日から9月30日まで

食中毒注意報発令 6月1日から9月30日まで

食中毒警報発令 8月7日から9月30日まで

### 5 食肉衛生事業

#### (1) と畜衛生事業

抗生物質等を含む飼料及び動物用医薬品を使用する

予 算 額	予算執行額
88,494千円	73,076千円

飼養管理形態が一般化し、これらの面からも食肉の安全性の確保が要求されていることから、と畜検査の強化と技術の向上により食肉の衛生確保に努めた。

また、食用として処理される牛（平成29年4月1日からは24か月齢以上で原因不明の神経症状又は全身症状を呈する牛）を対象として、BSEスクリーニング検査体制を整備した。

・主なと畜検査数 牛22,542頭、豚900,439頭

(2) 食鳥肉安全確保対策事業

食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、平成2年に食鳥肉の公的検査制度等が創設され、これに基づき、食鳥検査等を通して食鳥肉の衛生確保に努めた。

・食鳥検査数 1,279,295羽

6 動物愛護管理事業

(1) 動物愛護思想の普及・啓発

動物愛護週間行事 中止

犬の正しい飼い方・しつけ方教室 20回 94名

動物愛護教室 2回 60名

親子体験教室 中止

愛犬・愛猫教室 20回 27名

犬と猫の出会いの場事業(動物愛護センターホームページにて実施)

	譲渡希望数		飼養希望数		決定数	
	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数
犬	35	35	40	40	24	24
猫	357	357	237	237	132	132

譲渡頭数 犬 480頭 猫 960頭

(2) 動物による危害防止対策

管理者のいない犬及びけい留されていない飼い犬を捕獲・抑留し、危害防止対策に努めた。  
また、収容した犬については、返還及び譲渡に努めた。

動物の正しい飼い方推進月間の実施 中止

動物による危害防止対策強化月間の実施 11月1日から11月30日まで

犬の収容状況及び処分状況

収容状況		収容後の状況	
捕獲	845頭	返還	367頭
引取り	77頭	譲渡	480頭
負傷犬収容	4頭	殺処分	116頭

7 環境衛生営業指導事業

環境衛生関係施設における衛生水準の維持向上を図るため、監視指導の強化と(公財)千葉県生活衛生営業指導セ

予算額	予算執行額
59,117千円	54,196千円

ンターを拠点とした営業指導を実施した。

( 1 ) 環境衛生関係施設監視指導

	施 設 数	監 視 件 数
興 行 場	108施設	53件
旅 館 業	1,945施設	728件
公 衆 浴 場	650施設	260件
理 容 所	3,378施設	224件
美 容 所	6,670施設	321件
クリーニング所	1,921施設	100件
化製場・死亡獣畜取扱場	7施設	2件
法第8条準用施設	6施設	2件
畜舎・家きん舎	198施設	28件
プ ー ル	327施設	123件
特 定 建 築 物	1,036施設	141件
建築物管理登録	418施設	47件
計	16,664施設	2,029件

( 2 ) 生活衛生関係営業に関する指導育成

生活衛生関係営業の経営の健全化及び振興を図るため、助成及び経営指導講習会等を実施した。

千葉県生活衛生営業指導センター指導助成費補助	補助額	27,168千円
日本政策金融公庫融資相談	推 薦	61件
公衆浴場経営基盤安定化事業補助	補助額	4,886千円
千葉県生活衛生営業振興対策事業補助	補助額	4,000千円



# 環境生活部

## 環境政策課

### 1 環境保全対策調整事業

#### (1) 千葉県環境基本計画の普及・啓発

平成31年3月に策定した第三次千葉県環境基本計画について、広く普及・啓発をするためのセミナーを行った。

予 算 額	予算執行額
12,682千円	10,005千円

#### (2) 千葉県環境影響評価委員会の開催

環境影響評価法及び千葉県環境影響評価条例に基づき、大規模な開発行為が周辺環境に重大な影響を及ぼすことがないよう、その技術的な事項について調査審議し、環境の保全を図った。

### 2 環境保全対策推進事業

#### (1) 公害防止管理者等指導育成事業

公害防止管理者等の育成、意識の高揚及び技術の向上を図った。

予 算 額	予算執行額
5,905千円	1,577千円

#### (2) 環境白書の発行

千葉県環境基本条例に基づき、令和2年版千葉県環境白書を作成・公表し、関係機関に配付した。

### 3 環境研究センター研究事業

環境研究センターの公害測定機器等の更新を行った。

予 算 額	予算執行額
25,499千円	25,309千円

## 大気保全課

### 1 環境保全対策調整事業

#### (1) 化学物質情報提供事業

P R T R法に基づき、事業者が県を經由して国へ報告

する有害な化学物質の大気への排出量等について、入力作業等を行うとともに、国からデータの提供を受け、集計結果をホームページで公表した。

予 算 額	予算執行額
282千円	189千円

## 2 大気指導事業

### (1) 大気汚染物質発生源対策事業

予 算 額	予算執行額
42,353千円	33,094千円

窒素酸化物、硫黄酸化物のほか、浮遊粒子状物質及び

光化学オキシダントの原因物質のひとつである揮発性有機化合物（VOC）などについて、大気汚染防止法、環境保全協定等により排出抑制指導を行った。

### (2) ばい煙等排出基準確認立入検査事業

大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、環境保全協定等に基づき、ばい煙発生施設、一般粉じん発生施設及びVOC排出施設等を設置している工場・事業場について立入検査（調査）を実施し、排出基準等の遵守状況を確認するとともに、必要な事業者指導を行った。

工場・事業場の立入検査結果

立入検査工場 ・事業場数	立 入 検 査 施 設 数	行 政 措 置	
		改 善 命 令	改 善 勧 告
591	1,810	0	0

### (3) アスベスト対策事業

アスベスト環境濃度の実態を把握するため、10地点において環境モニタリング調査を行った。

また、アスベストの大気中への飛散を防止するため、建築物の解体等作業について立入検査を行った。

建築物の解体等作業現場立入検査数	130
------------------	-----

## 3 大気監視事業

大気汚染防止法第22条に規定する大気環境の常時監視及び主要工場における環境保全協定等の遵守状況の監視を大気情報管理システムによりオンラインで実施するとともに、同法第23条に規定する光化学オキシダントに係る緊急時対策を実施した。

予 算 額	予算執行額
254,380千円	227,590千円

また、大気環境中のダイオキシン類の環境基準達成状況を確認するため、11地点において調査を実施した。

大気環境常時監視測定局に設置している自動測定機については、耐用年数の超過や検定の期限等を迎える23台の機器を更新し、4台の炭化水素自動測定機及び3台の微小粒子状物質（PM2.5）自動測定機を新たに購入した。

## 4 騒音悪臭対策事業

### (1) 航空機騒音監視事業

予 算 額	予算執行額
28,466千円	27,072千円

航空機騒音の実態を把握し、環境基準の達成状況を確認するため、成田空港、羽田空港及び下総飛行場周辺において常時監視を実施した。

(2) 騒音・振動・悪臭対策事業

市町村に対する技術的助言・機器の貸し出しや担当者向け講習会を行うなど、市町村を支援した。

5 自動車交通公害対策事業

(1) 自動車交通公害監視指導事業

「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質

予 算 額	予算執行額
37,448千円	34,350千円

の排出の抑制に関する条例」及び「千葉県環境保全条例」の的確な運用を図るため、事業所等への立入検査・指導を行った。

(2) 自動車騒音の常時監視事業

県内30地点において自動車の騒音測定、10地点において交通量・車速度調査を行い、自動車騒音に係る環境基準の面的評価を行った。

6 環境研究センター調査研究事業

(1) 大気環境調査研究事業

大気汚染、騒音等や微小粒子状物質(PM2.5)、ダイオキシン類に係る環境保全のための調査研究を行った。

予 算 額	予算執行額
39,082千円	35,596千円

(2) 放射性物質調査研究事業

原子力規制庁からの委託による空間放射線量の測定等とともに、福島第一原発事故により拡散した放射性物質の状況の変化を把握するための調査を行った。

## 水質保全課

1 水質指導規制事業

(1) 水質指導事業

ア 東京湾の水質汚濁の防止を図るため、第8次総量

予 算 額	予算執行額
20,889千円	13,596千円

削減計画の周知を行うとともに、啓発事業を実施した。

イ 環境保全協定に基づく立入調査を行い、協定の遵守状況を確認した。その他、水域を問わず、各種開発行為について事前審査及び指導を実施し、水質汚濁の未然防止を図った。

(2) 特定事業場排水監視指導事業

ア 水質汚濁防止法に基づく特定事業場の排水基準遵守状況を監視するため、立入検査を実施した。

## 特定事業場の立入検査結果

立入検査実施 延べ事業場数 A	排水検査実施 延べ事業場数 B	延べ違反 事業場数	行政措置		
			改善命令	勧告	その他
589	501	64	0	49	15

注 Bは、立入検査を実施したAのうち、排水のあった事業場で排水を採水、排水検査を実施した事業場数。

イ ダイオキシソ類対策特別措置法に基づく特定事業場の排水基準遵守状況を監視するため、立入検査を実施した。総数51事業場に対し延べ14事業場に立ち入り、うち施設からの排水を公共用水域へ排出している11事業場において検査を実施した結果、基準を超過した事業場はなかった。

## 2 水質監視事業

### (1) 公共用水域水質監視事業

予 算 額	予算執行額
140,240千円	136,957千円

河川等の水質汚濁の状況を常時監視するため、令和2年

度公共用水域水質測定計画に基づき、49河川79地点、3湖沼9地点、4海域37地点の合計125地点について水質測定を実施した。

また、地下水の水質保全を図るため、令和2年度地下水水質測定計画に基づき、合計196地点について水質測定を実施した。

#### 前5箇年平均値（平成27年～令和元年度）に対する水質の変動状況

水 域	総地点数 A	変動状況					
		改 善		横 ば い		悪 化	
		地点数 B	B / A (%)	地点数 C	C / A (%)	地点数 D	D / A (%)
河 川	79	26	32.9	31	39.2	22	27.8
湖 沼	9	0	0	7	77.8	2	22.2
海 域	37	18	48.6	18	48.6	1	2.7
計	125	44	35.2	56	44.8	25	20.0

注1 BOD又はCODの年平均値による。

2 前5箇年平均値と比較し10%以上低下した場合を「改善」、10%以上上昇した場合を「悪化」、その他を「横ばい」とした。

3 四捨五入の関係で、合計の一致しない箇所がある。

### (2) 海水浴場水質監視事業

国の定めた「海水浴場水質保全対策要綱」に基づき、水質調査を実施した。

### (3) 放射性物質モニタリング調査事業

東日本大震災による放射性物質の影響について、安全性を確認するため県内の海水浴場等について海水中の放射性物質濃度を測定した。

また、比較的放射線量が高い地域を流域に持つ、印旛沼流域、手賀沼流域及び東京湾内等の放射

性物質の状況を確認するため、水質及び底質について、放射性物質濃度を測定した。

### 3 湖沼水質浄化対策事業

#### (1) 手賀沼水環境保全協議会負担金

予 算 額	予算執行額
122,429千円	111,618千円

県及び流域7市等で構成する「手賀沼水環境保全協議会」が実施する手賀沼の水質浄化対策や啓発等の事業に要する経費を負担するとともに、事務局の運営を行った。

#### (2) 湖沼水質保全計画策定事業

次期「湖沼水質保全計画」の策定に向けて、手賀沼流域河川における降雨時の水質等の調査や、新たな対策メニューの検討を実施した。

#### (3) 湖沼における外来水生植物対策事業

手賀沼ではナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物の駆除に着手し、印旛沼では繁茂状況調査等の現況把握を行い、効果的な駆除等に向けた対策を行うための調査を実施した。

### 4 地盤沈下対策事業

#### (1) 地盤変動調査精密水準測量事業

予 算 額	予算執行額
179,686千円	162,090千円

地盤の変動を経年的に把握するため、地下水のくみ上げ規制地域及び天然ガス採取地域を中心として水準測量調査を実施した。

令和元年沈下量別地盤沈下面積

単位：km<sup>2</sup>

地盤変動量 調査面積	地盤沈下が 見られない 面積	沈下量(cm)別地盤沈下面積			
		2cm未満	2cm以上 4cm未満	4cm以上	計
3,174.1	992.7	2,163.2	18.2	0	2,181.4
(3,306.3)	(905.5)	(2,331.5)	(69.3)	(0)	(2,400.8)

注 ( )内は平成30年

#### (2) 地下水位・地盤沈下観測井管理事業

地盤沈下及び地下水の枯渇を未然に防止するため、観測井により地下水位等の観測を行うとともに観測機器の保守管理を実施した。

#### (3) 地盤沈下防止対策推進事業

かん水採取企業との次期協定の目標値設定の基礎資料とするため、かん水採取による地盤沈下への影響を調査した。

## 5 地下水・土壌汚染対策事業

### (1) 地下水汚染防止対策事業

トリクロロエチレン等による地下水汚染防止対策を

予 算 額	予算執行額
45,026千円	39,900千円

促進するため、市町村が実施（14市町41地区）した汚染除去対策などの地下水汚染防止対策事業に対し助成した。

### (2) 地下水における硝酸・亜硝酸性窒素の汚染状況調査・負荷削減対策事業

環境基準超過率の高い硝酸・亜硝酸性窒素について、地下水の汚染状況を把握するために水質調査等を行った。

### (3) 養老川に係る水質保全対策事業

市原市妙香地先の廃棄物埋立跡地に起因する水質汚染及び土壌・地下水汚染について、地元市と協力して、汚染拡大防止対策等を実施した。

## 6 生活排水対策事業

### (1) 生活排水対策浄化槽推進事業

河川や湖沼などの水質浄化を図るため、市町村が実施

予 算 額	予算執行額
244,897千円	204,839千円

する合併処理浄化槽設置促進事業に対し助成した。

#### 令和2年度生活排水対策浄化槽推進事業補助実績

区分	補助実績	
	基数	金額
設置補助（通常型）	406	46,757千円
設置補助（高度処理型）	404	66,543千円
転換補助	（設置補助810基の内数）604	79,014千円

### (2) 浄化槽総合管理推進事業

浄化槽の適正な設置・維持管理の徹底及び法定検査の受検促進を図るため、浄化槽台帳の整備、浄化槽使用者等への啓発、立入検査及び指導等を実施した。

・立入検査件数 546件

・指導件数 256件

## 7 環境研究センター費

水質及び地質に係る公害の防止及び環境の保全のための調査研究を行った。

予 算 額	予算執行額
26,413千円	25,796千円

## 自然保護課

### 1 自然環境保全事業

本県の豊かな自然を保全するため、次の施策を行った。

予 算 額	予算執行額
183,205千円	178,784千円

#### (1) 自然環境保全地域等の指定及び保全

自然環境保全地域について、動植物の変遷調査を実施した。

また、自然環境保全地域等の適正な管理を図るため、千葉県自然公園指導員を配置し、監視・指導を行った。

#### (2) 生物多様性保全関連事業

本県の豊かな生物多様性を保全するため、絶滅危惧種の保護・回復、生物多様性の普及啓発、大学や企業などの多様な主体との連携、基礎情報の収集・提供等の事業を行った。

#### (3) 外来種特別対策事業

県内に生息している特定外来生物のうち、緊急的な対応が必要と考えられる、アカゲザル、アライグマ、キョン及びカミツキガメについて防除を進めるとともに、各防除実施計画を改定した。

また、緊急対応として、ヒアリの水際対策について環境省と連携し、確認地点の防除、調査を実施した。

#### (4) 三番瀬自然環境調査

三番瀬の中長期の変動を含めた自然環境を把握するため、三番瀬の鳥類飛来数調査を実施した。

#### (5) 行徳湿地保全事業

湿地環境を保全するための維持管理及びその機能を評価するための水質調査や鳥類調査を継続して行った。

### 2 鳥獣保護及び狩猟適正化事業

野生鳥獣の保護、野生鳥獣による被害防止及び適正な狩猟の確保を図るため、次の施策を行った。

予 算 額	予算執行額
1,134,960千円	1,020,140千円

#### (1) 鳥獣保護区等の指定及び管理

鳥獣保護区等を次のとおり指定するとともに、周知するため、制札、標示板を設置した。

区 分		令 和 2 年 度		全 体	
		箇所	面積 ( ha )	箇所	面積 ( ha )
鳥 獣 保 護 区	国 指 定	-	-	1	41
	県 指 定	3 ( 3 )	2,969 ( 2,969 )	59	42,585.0
休 獵 区		-	-	-	-
特定猟具 使用禁止 区 域	銃 器	16 ( 16 )	9,399 ( 9,399 )	227	192,620.9
	銃 器 ・ わ な	-	-	1	363
指定猟法禁止区域 ( 鉛散弾 )		-	-	1	245
計		19 ( 19 )	12,368 ( 12,368 )	289	235,854.9

注：( ) 書きは、既存区域の見直しに係るもの。

## ( 2 ) 野生鳥獣総合対策事業

野生鳥獣による農林産物や生活環境等への被害を防止するため、有害鳥獣捕獲の許可を行うとともに、安全な捕獲に資するよう、銃器を使用する捕獲員に対する安全研修を実施した。

なお、各地域の指導者となる市町村職員や農協職員等に対しては野生獣の管理方策等に係る研修を実施した。

また、野生獣による農林産物等の被害が依然として深刻であるため、サル、イノシシ、ニホンジカ、キョン、ハクビシン、アライグマを対象として、有害鳥獣捕獲事業を実施した32市町に対し助成を行った。さらに、県が主体となって、指定管理鳥獣であるイノシシ・ニホンジカの捕獲を行う指定管理鳥獣捕獲等事業を3地域で実施した。加えて、国の捕獲の抜本的な強化の取り組みの一環として、指定管理鳥獣捕獲等事業において、捕獲期間の延長等により、捕獲の強化を図った。

## ( 3 ) 狩猟免許の交付及び狩猟者登録

適正な狩猟を確保するため、狩猟免許試験、狩猟免許の更新、狩猟者登録の事務を行った。

狩猟免許交付数 ( 新規 )	119件
狩猟免許の更新数	1,811件
狩猟者の登録数	2,928件

## ( 4 ) 千葉県射撃場環境モニタリング事業

平成16年度に完了した県射撃場鉛撤去工事後の継続的な環境影響調査として、表流水及び観測井戸の水質調査を実施した。



### 3 自然公園等管理事業

本県には、南房総・水郷筑波の2つの国定公園と8つの県立自然公園があり、この優れた風景地を保護するとともに、適切な利用を図るため、次の事業を行った。

予 算 額	予算執行額
117,313千円	111,666千円

#### (1) 自然公園の保護

自然公園内における各種行為の規制を行うとともに、千葉県自然公園指導員を配置し、監視・指導を行った。

#### (2) 利用施設の運営

自然とのふれあいの場、快適な野外レクリエーションの場として、勝浦海中公園施設や、大房岬・館山・白子・片貝・上永井の自然公園施設、いすみ環境と文化のさとセンターの施設管理を指定管理者等に委託し、利用促進を図った。

#### (3) 国定公園施設等再整備事業

国の自然環境整備交付金を活用し、国定公園区域内の遊歩道、トイレ等について、千葉県自然環境整備計画に基づき、改修等を行った。

### 4 自然歩道管理事業

四季を通じて豊かな自然等にふれあいながら歩くため整備した首都圏自然歩道は、県内に29コースあり、総延長は約300 kmである。

予 算 額	予算執行額
30,362千円	26,877千円

安全で快適な利用を促進するため、老朽化した標識等の施設整備を行った。

## 循環型社会推進課

### 1 環境保全対策調整事業

千葉県地球温暖化対策実行計画に基づき、地球温暖化防止活動推進センターの運営を行うとともに、省エネルギーの促進等に係る家庭向けや事業者向けの普及啓発事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,836千円	6,417千円

また、気候変動影響について、県民が理解を深め適切に対応できるようセミナーを開催した。

## 2 環境保全対策推進事業

### (1) 環境学習・環境保全活動促進事業

予 算 額	予算執行額
54,304千円	39,780千円

地域における環境学習・環境保全活動を促進するため、環境学習指導者養成研修の開催や、環境保全活動の実践に取り組む県立学校への支援を行うとともに、6月の千葉県環境月間におけるポスターの作成や表彰等を実施した。

また、自然環境の保全・再生のための助成事業を行う目的で「ちば環境再生基金」を設置している一般財団法人千葉県環境財団に対し、補助金の交付を行った。

### (2) 次世代自動車普及啓発事業

自動車による環境負荷低減及び地球温暖化対策を促進するため、次世代自動車の仕組みや特徴を県ホームページで発信し、県民への普及啓発を行った。

### (3) 海岸漂着物対策推進事業

海岸漂着物等の回収・処理事業のほか、発生抑制対策として、海岸漂着物の実態を把握するための組成調査を実施するとともに、海洋ごみ問題への理解・関心を深めるため、小学生向けの教材の作成を行った。

## 3 住宅用省エネルギー設備等導入促進事業

家庭における再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策等を促進するため、市町村と連携し、住宅用太陽光発電設備や省エネルギー設備等の設置費用に対し補助金の交付を行った。

予 算 額	予算執行額
300,000千円	298,077千円

## 4 資源循環推進事業

### (1) 3R推進事業

予 算 額	予算執行額
8,094千円	7,570千円

令和2年7月から始まったレジ袋有料化を契機に、レジ袋削減に向けた県民意識の醸成を図るため、エコバッグの配布等、事業者と連携したキャンペーンを実施した。また、循環型社会づくりの推進に向けて、食品ロスの削減やマイボトル・マイカップの利用を始めとする身近な3R行動の普及啓発を行った。

### (2) バイオマス活用推進事業

バイオマスの利活用を推進するため、千葉県バイオマス活用推進計画に基づき、各種イベントにおいて普及啓発を行った。

### (3) 食品ロス削減対策推進事業

食品ロスの削減に関するインスタグラムを開設し、県からの情報発信を行うとともに、食品ロスをテーマとしたフォトコンテストを開催し、若者を含む幅広い層の意識向上を図った。

## 5 一般廃棄物対策事業

### (1) 九都県市廃棄物問題検討委員会のための経費

廃棄物の減量化・再資源化を目的とした、3R普及促

予 算 額	予算執行額
297,836千円	184,239千円

進事業(啓発用動画のトレインチャンネル、デジタルサイネージへの掲出)、持続可能な資源利用促進事業(チャレンジ省資源宣言)等を行った。

### (2) 一般廃棄物処理施設水質・残灰分析

市町村等の一般廃棄物処理施設における維持管理状況を確認するため、施設から採取した焼却残灰や地下水等の分析を行った。

## 6 産業廃棄物対策事業

第9次千葉県廃棄物処理計画に基づく事業の進捗管理を行うとともに、令和3年度から令和7年度までを計画

予 算 額	予算執行額
12,404千円	11,909千円

期間とする第10次千葉県廃棄物処理計画を策定した。また、第10次千葉県廃棄物処理計画について審議するため、環境審議会廃棄物・リサイクル部会を開催した。

## 7 環境研究センター事業

環境学習の動画制作・配信、啓発資料の発行を行うと

予 算 額	予算執行額
6,530千円	6,188千円

ともに、廃棄物の適正管理や最終処分場等に関する調査研究を行った。

# 廃棄物指導課

## 1 産業廃棄物対策事業

### (1) 産業廃棄物処理許可業者に対する立入検査や欠格

要件の調査等を実施し、不適正処理等が発見された業者に対し、指導及び処分を行った。

- ・延べ立入事業者数 377事業者
- ・指導件数(指導票) 106件
- ・改善勧告 2件
- ・改善命令 0件
- ・許可取消 20件(うち、欠格要件該当等16件)

### (2) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)収集運搬業等の業及び産業廃棄物処理施設等設置の許可事務を行った。

予 算 額	予算執行額
434,964千円	296,139千円

ア 産業廃棄物処理業に係る許可業者数（千葉県許可分）

令和3年3月31日現在

業区分	産廃許可業者数	特管産廃許可業者数
収集運搬業者	10,328	841
処分業者	293	33
（うち中間処理業）	286	32
（うち最終処分業）	9	1
合計	10,405	854

（注）収集運搬業、中間処理業及び最終処分業の複数の許可を有する業者がいるため合計は一致しない。

イ 令和2年度産業廃棄物処理業許可取扱件数

		新規許可申請件数	更新許可申請件数	変更許可申請件数	合計
収集運搬	産 廃	863	1,475	136	2,474
	特 管	50	116	14	180
	合 計	913	1,591	150	2,654
中間処理	産 廃	2	56	9	67
	特 管	0	8	0	8
	合 計	2	64	9	75
最終処分	産 廃	0	0	0	0
	特 管	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0
総許可 件数	産 廃	865	1,531	145	2,541
	特 管	50	124	14	188
	合 計	915	1,655	159	2,729

ウ 令和2年度産業廃棄物処理業変更届受付件数

		社名変更	住所変更	代表者変更	車両変更	その他	合計
変更届 受付件数	産 廃	40	268	366	3,940	2,173	6,787
	特 管	6	24	50	757	351	1,188
	合 計	46	292	416	4,697	2,524	7,975

(3) 監視パトロール等を実施し、産業廃棄物の不法投棄や不適正処理に対する指導等を行った。

(数値は出先機関(市原市含む)から千葉市、船橋市、柏市を除いて計上したもの。)

種 別	前年からの 継続件数	評価 変更	新規 発生 件数	立入調査 件数 (延べ数)	指 導 内 容				改善 件数	翌年へ の継続 件数
					命令	勧告	指導票	その他		
不法投棄	578	0	148	2,040	0	0	43	177	177	549
不適正処理	453	0	195	4,679	1	3	146	199	187	461
うち野焼き	35	0	76	164	0	0	26	40	79	32
合 計	1,031	0	343	6,719	1	3	189	376	364	1,010

(4) 産業廃棄物不法投棄等の早期発見・早期対応を図るため、廃棄物不法投棄監視員制度を設けている市町村及び不法投棄防止対策を実施した市町村に対して、経費の一部を助成した。

また、住民団体の監視活動に対して市町村が助成している経費の一部を助成した。

(5) 産業廃棄物不適正処理箇所の行為者等に対し、廃棄物の撤去等の指導を実施した。また、過去に大規模不法投棄された現場のうち、専門家の意見を踏まえて、住民の生活環境への支障が懸念される16箇所のうち、8箇所の調査を行った。

(6) 「千葉県廃棄物の処理の適正化等に関する条例」に基づく小規模産業廃棄物処理施設設置の許可事務を行った。

許 可 区 分	許可受付件数
小規模処理施設設置許可	3
小規模処理施設変更許可	0
小規模処理施設譲受け又は借受け許可	0

(7) PCB廃棄物処理特別措置法により処分が義務付けられているPCB廃棄物について、事業者に対する掘り起こし調査を実施した。

## 2 残土対策事業

(1) 「千葉県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき、特定事業の許可事務を行った。

予 算 額	予算執行額
421,437千円	50,041千円

許 可 区 分	許可受付件数
特定事業の許可	18
特定事業の変更許可	7
特定事業の譲受け許可	0

(2) 成田市地蔵原新田地先において、特定事業場排水路設置等事業を行政代執行により実施するとともに、撤去物の処分を行った。

### 3 再生土埋立等対策事業

「千葉県再生土の埋立て等の適正化に関する条例」に基づき、特定埋立等の届出事務を行った。

予 算 額	予算執行額
3,423千円	2,494千円

### 4 自動車リサイクル推進事業

(1) 「使用済自動車の再資源化等に関する法律」「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」

予 算 額	予算執行額
20,539千円	18,705千円

に基づき、引取業者及びフロン類回収業者の登録並びに解体業者及び破砕業者の許可並びに第一種フロン類充填回収業者の登録事務を行った。

自動車リサイクルに係る登録・許可申請取扱件数

令和3年3月31日現在

種 別	登録・許可取扱件数	うち新規登録・許可取扱件数
引 取 業 者	125	35
フロン類回収業者	78	17
解 体 業 者	79	14
破 砕 業 者	12	2
計	294	68

第一種フロン類充填回収業者の登録申請取扱件数

令和3年3月31日現在

登録取扱件数	うち新規登録取扱件数
594	248

(2) 県民の生活環境を保全し、平穏な生活を確保するため、「千葉県特定自動車部品のヤード内保管等の適正化に関する条例」に基づき、立入りを行った。

立入り数(延べ数)	立入り数(実数)
537回	472箇所

## くらし安全推進課

### 1 生活安全推進事業

(1) 防犯ボックス設置等事業

防犯ボックスを核として、地域住民と県・県警・市が

予 算 額	予算執行額
230,246千円	213,410千円

一体となった新たな防犯体制の確立を目指し、県のモデル事業として、県内3箇所(この内1箇所は令和2年度末に閉所)で防犯ボックスを引き続き運営するとともに、市町村が運営する防犯ボックスへの補助制度により、木更津市ほか10市町に対し助成を行った。

(2) 地域の防犯力アップ補助事業

安全で安心なまちづくりを促進するため、自主防犯団体のパトロール用資機材の整備費等に対し、「地域の防犯力アップ事業補助金」を千葉市ほか22市町に交付した。

(3) 地域防犯力の向上に関する交流大会等事業

ア 若い世代の参加を含めた自主防犯団体の構成員確保や自主防犯団体の活性化などの様々な課題について話し合う「地域防犯力の向上に関する交流大会」を例年開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、自主防犯団体を対象に「自主防犯活動に関するアンケート調査」を行い、これらの団体の活動実態や課題の把握に努めた。

イ 学生など若者の自主防犯団体への参加等を促進するため、新たに1団体（高校1校）に対し、パトロールに必要な物品の貸出しを行った。

(4) 市町村防犯カメラ等設置事業補助

街頭犯罪の防犯対策として、市町村等が公道等（不特定多数の人が往来する公共の場所）に設置する防犯カメラ等に対する補助を、千葉市ほか27市町に行った。

(5) 「電話de詐欺」被害防止広報・啓発事業

電話de詐欺への対策として、「STOP！電話de詐欺」を合言葉としたテレビ、ラジオのCM等の放送に加え、家族の絆で詐欺を未然に防ぐため、孫から祖父母などへの「ハガキ」で注意喚起の呼びかけを行う取組などを実施するとともに、被害多発エリアにおいて集中的に啓発キャンペーンを行った。

(6) 被害者等支援活動の促進事業

ア 被害者等の相談窓口を担当する職員の知識及び技能を習得させるため、県及び市町村相談関係機関職員研修会を開催した。また、犯罪被害者の直接支援活動への従事など、地域における犯罪被害者等支援を担う人材を養成するため、「犯罪被害者支援員養成講座」を開催した。

イ 犯罪被害者支援に対する県民の理解を深めるため、犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に合わせ、特別番組（千葉県民のつどい）の千葉テレビでの放送や「生命（いのち）のメッセージ展」を実施した。

(7) 性犯罪・性暴力被害者支援事業

性犯罪・性暴力被害者の方が安心して相談できるきめ細かな支援を提供するため、被害者支援団体や警察・医療機関等との連携による総合的な支援体制を構築し、平成29年10月から「千葉性暴力被害支援センターちさと」と「千葉犯罪被害者支援センター」をワンストップ支援センターとして位置付け、支援を行っている。

(8) 「千葉県犯罪被害者等支援条例」の制定

犯罪被害者やその家族が早期に犯罪被害から立ち直り、再び平穏な生活を送れるよう、県等が支援を推進し、もって、社会全体でこれらの人々を支え、県民が安心して暮らせる地域社会の実現を目的として、令和3年2月定例県議会において「千葉県犯罪被害者等支援条例」が議員提案により制定された。

### (9) 暴力団排除推進事業

ア 千葉県暴力団排除条例に基づく県の事務事業からの暴力団排除措置を的確に講じるため、関係部署からの相談に対する助言・協議、警察本部長への意見照会事務及び千葉県暴力団排除推進会議の円滑な運営に努めた。

イ 暴力団員からの不当要求被害の対象となりやすい個人事業主が多く加入する商店会連合会に対し、会則への暴力団排除条項の導入や暴力団排除関係団体等が一堂に会する暴力団排除宣言式の開催などの支援を行い、官民一体となった暴力団排除の取組を推進した。

ウ 少年を暴力団から守るため、県内の中学校・高校において暴排講話を実施し、参加生徒を対象に啓発クリアファイル及び暴排リーフレットを配布した。また、少年育成に携わる教職員に対し、「高等学校生徒指導推進研究協議会」の場において、少年の健全育成を目的とした、暴力団の本質・危険性等の講義を実施した。

## 2 消費者行政推進事業

消費者の自立支援及び消費者被害の未然防止や拡大防止を図るため、消費生活相談、消費者教育・啓発、消費者への情報提供等を実施した。

予 算 額	予算執行額
84,273千円	75,642千円

### (1) 消費者センター運営事業

消費生活に関する相談・商品テスト及び消費生活に必要な知識の普及・啓発・教育・展示・各種講座等を実施した。

・消費生活に関する相談件数 11,143件

### (2) 消費者教育啓発事業

ア 一般消費者を対象に、暮らしに役立つ知識を学べる講座を開催するなど、消費者教育及び消費者啓発を行った。

イ 教員向け公開講座を開催し、情報提供等を行った。

### (3) 金融広報事業

金融に関する講演会や情報提供資料の作成・配布を通じて、一般消費者に向けた金融広報活動を実施した。

### (4) 多重債務問題対策強化事業

借金を抱え生活困窮となっている多重債務者等に対応するため、無料相談会や、多重債務者発生の未然防止のため、大学生を対象とした啓発キャンペーン等を開催した。

## 3 消費生活協同組合等事業者指導事業

消費生活協同組合への立入検査等による育成指導及び不当取引等に対する事業者への指導・処分を実施した。

予 算 額	予算執行額
7,250千円	5,638千円



(1) 消費生活協同組合指導事業

消費生活協同組合に対する指導・検査を実施した。

(2) 事業者指導事業

特定商取引法・不当景品類及び不当表示防止法等に基づき、事業者に対する指導・処分を実施した。

4 貸金業指導事業

貸金業者の登録、監督、指導及び立入検査並びに貸金業に係る相談等を実施した。

予 算 額	予算執行額
4,239千円	4,006千円

貸金業者の登録件数 19件

貸金業者の立入検査件数 10件

債務者等からの相談件数 89件（苦情0件、相談89件）

5 消費者行政推進交付金事業

消費者行政強化交付金等を活用し、消費生活相談体制の充実、消費生活に関する講座等の実施、市町村事業の助成等を行い、県及び市町村の消費者行政の強化・推進を図った。

予 算 額	予算執行額
109,920千円	94,410千円

6 交通安全推進事業

(1) 共同現地診断

交通事故多発地点を関係機関・団体と共同して現地診

予 算 額	予算執行額
52,034千円	46,962千円

断を48箇所を実施し、事故要因の診断、検討を行うことにより交通安全施設の整備・改善を図った。

(2) 交通安全県民運動

ア 県民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習慣づけるため、春・夏・秋・冬の交通安全運動等を展開した。

イ 毎月10日の「交通安全の日」を活用し、啓発物（反射材）やチラシ等を作成・配布することにより、市町村や各機関・団体等が地域ごとに連携した施策を一斉かつ継続的に展開して、県民に交通安全意識の浸透を図った。

(3) 飲酒運転根絶環境づくり事業

飲酒運転の根絶対策として、県内において設立された「飲酒運転根絶協議会」に対する支援を行うなど、飲食店等各関係機関と連携した飲酒運転根絶の環境づくりを推進した。

また、千葉県交通安全対策推進委員会において、飲酒運転根絶部会を設置し飲酒運転根絶に向けた課題を整理し、有効な対策等の検討を開始した。

(4) 交通安全推進隊育成支援事業

地域の自主的な交通安全活動を支援するため、横断旗等の整備、ボランティア保険の加入等を

行った。

(5) 自転車交通安全教育事業

自転車による交通事故の多い中学生・高校生を主な対象として、スタントマンによるリアルな交通事故再現を取り入れたスケアード・ストレイト自転車交通安全教室を7会場で開催した。

また、県教育委員会と作成した「自転車安全利用に係る教育用リーフレット」を県内の小学校3年生及び中学校1年生の児童・生徒に配布した。

(6) 自転車安全利用推進事業

自転車の安全利用対策を推進するため、各種キャンペーンの実施、交通安全推進委員会における自転車安全利用部会の開催、庁内自転車における保険加入の推進を図った。

また、高齢者の自転車用ヘルメットの着用を促すため、委託により出前講座を41回実施した。

(7) ゼブラ・ストップ活動啓発事業

横断歩道等における歩行者等の優先義務を徹底し、横断歩道上における歩行者等の保護を強化する「ゼブラ・ストップ活動」を広く周知するため、県内の電車のドア横に啓発用ステッカーを貼付したほか、ポスター・チラシを市町村、警察署、関係団体等に配布した。

(8) 交通安全計画作成事業

交通安全対策基本法に基づき、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする「第11次千葉県交通安全計画」を作成した。

7 交通事故被害者対策事業

(1) 交通事故相談所

予 算 額	予算執行額
51,983千円	51,527千円

交通事故による被害者等の救済を図るため、本所(県庁内)、東葛飾支所(東葛飾合同庁舎内)及び安房支所(安房合同庁舎内)において相談業務を実施するとともに、相談者の便宜を図るため、県下34市町において巡回相談を実施した。

交通事故相談実施状況

来 所 相 談	巡 回 相 談	電 話 相 談	文 書 相 談	計
172件	346件	1,496件	39件	2,053件

## 県民生活・文化課

1 文化行政推進事業

(1) ちば文化振興計画の推進

予 算 額	予算執行額
423,863千円	197,589千円

県民自らが、主体的に文化芸術活動ができる仕組みづくりや、優れた文化芸術を鑑賞できる機会を充実するなど、文化に触れ親しむ環境づくりに取り

組んだ。

(2) 千葉・県民芸術祭

日頃の文化創造活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、芸術文化団体と共同で実施する「千葉・県民芸術祭」の諸行事について、新型コロナウイルス感染症の影響により中止する事業もあったが、実施方法を変更する等して一部の事業を実施した。

(3) (公財) 千葉交響楽団関連事業

(公財) 千葉交響楽団を活用し、児童・生徒や県民を対象にした公演等を実施した。

(4) 千葉県少年少女オーケストラ育成事業

(公財) 千葉県文化振興財団の行う千葉県少年少女オーケストラ育成事業に対し補助した。

(5) 若者の文化芸術活動育成支援事業

次代を担う若者が主体となって実施する文化芸術活動に対し助成した。

(6) 東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムを契機とした千葉の文化力向上事業

東京オリンピック・パラリンピックの延期及び新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業を中止又は令和3年度に延期することとしたが、オンライン等でのワークショップや絵画・写真公募展は、感染拡大防止策を講じた上で実施した。

(7) 県民の日事業

県民の日を記念して、より多くの県民が千葉の魅力を再発見し、ふるさと千葉への愛着を深めることができるよう、県民参加型のイベントや県内各地の文化、歴史等を体験できる事業を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により全ての事業を中止した。

2 千葉県立文化会館管理運営事業

(1) 管理運営事業

千葉県文化会館、千葉県東総文化会館の管理・運営を

予 算 額	予算執行額
936,377千円	859,296千円

(公財) 千葉県文化振興財団に、千葉県南総文化ホールの管理・運営を(株)ケイミックスパブリックビジネスに、青葉の森公園芸術文化ホールの管理・運営をJ&T共同体に委託し、文化活動等の場として施設の提供を行うなど、本県の文化振興を図った。

(2) 施設整備事業

「青葉の森公園芸術文化ホール中央監視装置更新工事」等の改修工事等を実施し、施設の整備を行った。

(3) 千葉県文化会館大規模改修事業

建築後50年以上経過し、建物の老朽化が進んでいる千葉県文化会館について、大規模改修に係る実施設計に着手した。

### 3 県民活動環境整備事業

#### (1) 県民活動推進計画の推進

県民活動への理解や参加の促進、地域の様々な主体と

予 算 額	予算執行額
3,383千円	2,314千円

市民活動団体等の連携・協働の促進、市民活動団体等の活動基盤強化等の支援などに取り組んだ。

#### (2) 千葉県県民活動推進懇談会

千葉県県民活動推進計画の施策の推進に当たり、市民活動団体等、関係する各分野からの意見を広く求めるため、懇談会を開催した。

#### (3) 地域の様々な主体と市民活動団体との連携促進事業

市民活動団体と、行政や学校等の多様な主体が連携し、地域の課題解決力を高めるための事業を実施するとともに、市町村に対し、県の施策について理解を深める会議等を開催した。

#### (4) 協働によるコミュニティづくりの普及・促進

市民活動団体等の協働による取組を支援するために、有識者による講演や優良事例の発表、意見交換、ワークショップ等を行い、協働によるコミュニティづくりの普及・促進を図った。

#### (5) ちばコラボ大賞

市民活動団体と様々な主体が連携して地域社会の課題解決に取り組む他のモデルとなるような優れた事例の表彰等を実施した。

#### (6) 市民活動団体マネジメント事業

市民活動団体が安定して継続的に団体を運営できるよう基礎的知識を学ぶ講座等を実施した。

### 4 県民活動普及啓発事業

#### (1) 県民活動広報事業

県民活動に対する県民の理解や認識を深め、活動の活

予 算 額	予算執行額
102,329千円	100,192千円

性化を図るため、メールマガジン(32回)の発行や「ちば県民活動PR月間(11月23日~12月23日)」の実施、出前講座の開催などの普及啓発事業を実施した。

#### (2) ボランティア活動支援体制整備

県民活動への参加をサポートするため、「県民活動情報オフィス」を運営するとともに、ボランティア活動への理解と参加促進を目的とする事業を実施した。

#### (3) 東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの育成・運営

リスクマネジメントマニュアルの検討やユニフォームの購入など、東京オリンピック・パラリンピックの翌年度開催に向けた準備を行ったほか、都市ボランティア活動の機運維持のため、オンラインで交流会や勉強会を実施した。

## 5 青少年健全育成事業

### (1) 青少年相談員設置事業

青少年健全育成の担い手として県が委嘱している青少年相談員の活動を促進するため、活動費の助成や研修等を実施した。

予 算 額	予算執行額
55,215千円	51,007千円

### (2) 青少年育成推進事業

中学生の主張千葉県大会を開催した。また、青少年育成に関する研修等に対してニーズの合った講師を派遣する青少年指導者育成事業を実施した。

### (3) 青少年の社会環境づくり事業

千葉県青少年健全育成条例に基づき、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある有害環境の浄化に努めるとともに、条例の周知・啓発を実施した。

### (4) 青少年補導センター事業

青少年の非行を未然に防ぐため、街頭補導活動や相談活動等を実践する青少年補導センターの活動費に助成した。

### (5) 子ども・若者育成支援推進事業

ニートやひきこもり、不登校など社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者に対し、適切な支援を実施する体制の整備を行うため、「千葉県子ども・若者支援協議会」を開催するとともに、「千葉県子ども・若者総合相談センター（ライトハウスちば）」の運営を行った。

### (6) 青少年ネット被害防止対策事業

ネットいじめ、非行行為、犯罪被害等の防止を図るため、青少年の利用頻度の高いサイトを監視するネットパトロールを実施するとともに、学校等に出向きインターネットの適正利用について講演を実施し、啓発を行った。

## 開催準備課

## 1 東京オリンピック・パラリンピック推進事業

### (1) 東京オリンピック・パラリンピックCHIBA 推進会議事業

官民連携の「東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議」に係る諸活動を行うとともに、これまでの県や市町村、経済界などの取組による実績を取りまとめ、報告を行った。

予 算 額	予算執行額
850,459千円	210,431千円

### (2) 聖火リレー準備・運営事業

東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーについて、組織委員会に協力し、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた準備を進めた。

(3) 上総一ノ宮駅東口整備事業補助

サーフィン競技開催時に観客が利用するJR上総一ノ宮駅において、一宮町が実施する駅東口の整備事業に対し、補助金を交付した。

(4) 東京2020大会開催に併せたイベント実施事業

大会時に競技会場周辺においても競技観戦ができるライブサイトの設置及び市町村のPRコーナー等を併設したイベントの実施に向けて、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた準備を進めた。

(5) 東京2020大会広報・記録事業

東京2020エンブレム・マスコットを使用した本県独自のデザインによるポスターの制作等を行った。

(6) 東京2020大会開催に向けた情報発信の強化事業

東京2020マスコットのモニュメント制作を行った。

## 事前キャンプ・大会競技支援課

### 1 東京オリンピック・パラリンピック推進事業

(1) 事前キャンプ受入事業

事前キャンプの決定した国、競技団体の受入に向けた準備を行った。

予算額	予算執行額
1,034,090千円	899,103千円

(2) ホストタウン・事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策基金積立

東京オリンピック・パラリンピックの前後に、県内で行われる事前キャンプ等において、選手等に対するPCR検査等の感染症対策を行うため、国の交付金を活用して、新たに千葉県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金を造成した。

(3) 千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業

東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ等の誘致や、県内におけるスポーツツーリズムの推進を図るため、競技施設・宿泊施設の情報提供など各種支援をワンストップで行う「千葉県スポーツコンシェルジュ」の運営を行った。

(4) 東京2020大会に向けた県内開催競技等支援事業

本県で開催されるオリンピック4競技及びパラリンピック4競技について、県民の競技に対する理解を深めるとともに、県内の公立中学校でJOCオリンピック教室等を実施した。

# 商工労働部

## 経済政策課

### 1 経済活性化関連事業

産学官の連携協力による県内経済活性化の取組を促進させるため、中小企業者や有識者等と、県内中小企業の振興策について意見交換を行うとともに、平成30年2月に策定した「第4次ちば中小企業元気戦略」に掲げた中小企業支援策の推進を図った。

予 算 額	予算執行額
900千円	747千円

さらに、県内の経済団体等と連携して、国・県・市町村・関係団体等の有益な経済・産業情報等を、メールマガジン「千葉県産業情報ヘッドライン」やフェイスブック「ちば中小企業元気ナビ」により配信したほか、長年にわたり地域に貢献を続けてきた中小企業・商店街や地道に努力された従業員の表彰を行った。

### 2 商工団体等指導助成費

県内の商工会、商工会議所、商工会連合会及び商工会議所連合会が行う、小規模事業者の経営改善を図るための事業の支援を行うとともに、千葉県中小企業団体中央会が行う中小企業の組織化、中小企業団体の育成及び指導に関する事業の支援を行った。

予 算 額	予算執行額
2,373,827千円	2,340,326千円

### 3 貿易振興事業

本県中小企業による海外展開や貿易の促進のため、(独)日本貿易振興機構千葉貿易情報センターにアドバイザーを配置し、貿易投資相談を行うとともに、海外販路拡大セミナーの開催、専門家派遣などを実施し、企業のニーズに応じた支援を行った。

予 算 額	予算執行額
33,090千円	31,730千円

### 4 日本コンベンションセンター国際展示場（幕張メッセ国際展示場）等の管理運営

本県の産業振興・文化の発展・国際化の進展を目的として設置された幕張メッセ国際展示場等の管理運営を行った。

予 算 額	予算執行額
4,905,046千円	4,580,972千円

令和2年度は「FOODEX JAPAN」「スーパーマーケット・トレードショー」など198件のイベントが開催され、約59万人の来場者があった。

国際展示場管理運営事業（特別会計）	2,317,133千円
国際展示場駐車場事業	595,089千円
国際展示場用地取得事業	1,668,750千円

## 5 千葉県中小企業復旧支援事業

令和元年度台風15号、19号及び豪雨により被害を受けた事業者に対して補助金を支給した。

予 算 額	予算執行額
3,200,000千円	1,859,513千円

## 6 新型コロナウイルス感染症対応関連事業

令和2年4月から5月の緊急事態宣言を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、売上高が減少した事業者に対して千葉県中小企業再建支援金を支給した。

予 算 額	予算執行額
246,340,000千円	66,776,264千円

また、令和2年12月以降の県の営業時間短縮等の要請に応じた飲食店に対して千葉県感染拡大防止対策協力金を支給した。

千葉県中小企業再建支援金	24,454,716千円
千葉県感染拡大防止対策協力金	42,321,548千円

# 経営支援課

## 1 総合金融対策事業

中小企業の資金調達の円滑化を図るため、貸付原資の預託を通じて融資利率の低減を図る中小企業振興資金事業や信用保証業務を行う千葉県信用保証協会への損失てん補等を実施した。

予 算 額	予算執行額
380,930,108千円	330,801,981千円

### (1) 中小企業振興資金事業

中小企業の経営基盤の安定に必要な事業資金を円滑に提供するため、金融機関等と協力して、県内の中小企業に対して融資を行った。



中小企業振興資金等貸付実績

資 金 名		預託額	融資枠	年度中融資実績		年度末融資残高	
				件数	金額	件数	金額
中小企業振興資金		千円	千円	件	千円	件	千円
	事業資金			2,584	42,981,330	17,296	169,495,792
	小規模事業資金			1,863	12,524,928	10,441	32,806,230
	創業資金			510	2,581,780	1,645	5,509,144
	挑戦資金			2	11,400	38	365,597
	経営力強化資金			6	299,220	53	1,185,405
	セーフティネット資金			1,212	27,898,707	2,550	42,405,606
	新型コロナウイルス感染症対応特別資金			41,018	773,517,926	40,082	719,537,164
	再生資金			1	3,700	4	10,117
	事業承継資金			0	0	1	11,956
	観光施設資金			0	0	6	167,028
	環境保全資金			0	0	31	232,267
	障害者雇用推進資金			0	0	4	23,998
	事業承継特別資金			0	0	0	0
	事業継続強化資金			0	0	0	0
長期資金計			47,196	859,818,991	72,151	971,750,304	
サポート短期資金			5,670	37,705,607	3,263	19,392,271	
計	329,907,800	989,723,400	52,866	897,524,598	75,414	991,142,575	
企業立地促進資金	92,200	276,600	0	0	2	326,292	
総 合 計	330,000,000	990,000,000	52,866	897,524,598	75,416	991,468,867	

(2) 中小企業融資損失てん補金

千葉県信用保証協会の経営基盤を安定させ、県内中小企業の金融の円滑化を図るため、千葉県信用保証協会が行った代位弁済に対して、千葉県中小企業融資損失てん補条例に基づき損失てん補を行った。

・件数：612件、支出額：704,070千円

(3) 「千葉ふるさと投資」活用支援事業

本県の地域資源を活用した独創的な技術やアイデアによる新たな事業展開を促進していくため、クラウドファンディングを活用した資金調達により新事業を行う中小企業に対して、初期費用の一部助成などを実施した。

・支出額：1,284千円

#### (4) 創業資金信用保証料補助金

県内の創業へのチャレンジを一層促進するため、中小企業振興資金「創業資金」の利用に伴う信用保証料の一部を補助した。

・支出額：18,843千円

#### (5) 経営安定資金（特定災害）利子補給

被災した中小企業が設備等を復旧する際などに、金融機関から融資を受けた、中小企業振興資金（セーフティネット資金）について、利子の一部を補助した。

・支出額：72,232千円

### 2 経営基盤強化支援事業

（公財）千葉県産業振興センターに対し設備資金貸付事業（無利子貸付）に係る運営費補助を行った。

予 算 額	予算執行額
7,596千円	7,371千円

### 3 新型コロナウイルス感染症対応特別資金利子補給事業

中小企業等の資金繰りを支援するため、新型コロナウイルス感染症対応特別資金の利用者に対し、実質無利子となるよう利子を補助した。

予 算 額	予算執行額
4,660,000千円	2,745,220千円

### 4 中小企業経営支援事業

中小企業へのきめ細かな支援を総合的に提供するため、千葉県チャレンジ企業支援センターが行う各種事業に対して助成するとともに、起業・創業の機運の醸成を図るため、起業家交流会、ビジネスプラン・コンペティションを実施した。

予 算 額	予算執行額
440,208千円	405,461千円

#### (1) チャレンジ企業支援センター事業

（公財）千葉県産業振興センターに設置した「チャレンジ企業支援センター」において、中小企業が抱える様々な経営課題の解決をワンストップで支援するため、各種相談や専門家の派遣及び各種セミナーの開催を行った。

・支出額：341,650千円

#### (2) ちば起業家応援事業

人口減少時代の経済活性化の観点から、女性・若者・シニアなどの優秀な起業家を育成していくため、ビジネスプラン・コンペティションを実施するとともに、起業家の発掘からセミナー、人脈形成、経営支援に至るまで一貫した支援を行った。

・支出額：16,000千円

#### (3) ちば中小企業次世代承継推進事業

中小企業経営者に対する事業承継の更なるニーズの掘り起こし、気づきを促すことを目的に、具

体的な事業承継計画の策定を支援するため、中小企業への事業承継ブロックコーディネーターの派遣を実施した。

・支出額：12,365千円

#### (4) 事業承継支援緊急対策事業

新型コロナウイルス感染症の影響により廃業を考える高齢経営者の事業承継ニーズの掘り起こしを緊急的に進めるため、専門家による中小企業への直接訪問を実施し、経営者自らの気づきを促し、より専門的な支援機関へとつないだ。

・支出額：27,419千円

### 5 商店街支援事業

地域商業の活性化を図るため、商店街や商工団体等の行う各種事業に対する支援等を実施した。

予 算 額	予算執行額
56,780千円	35,344千円

#### (1) 千葉県地域商業活性化事業

地域商業の担い手である商工団体、商店街団体が行う新たな意欲ある取組に対して支援するとともに、地域商業の課題解決に向け専門家を派遣した。

・支出額：16,624千円

#### (2) 訪日観光客商店街おもてなし事業

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、日本を訪れる外国人観光客などを迎え入れるため、商店街が行う多言語による情報発信の取組を支援した。

・支出額：1,117千円

#### (3) 商店街復旧支援事業

令和元年台風第15号、第19号及び第21号（10月25日の大雨）による災害復旧のため、県内の商工団体や商店街団体が行う事業について支援した。

・支出額：13,441千円

### 6 小規模企業者等設備導入資金貸付事業（特別会計）

小規模企業者等設備導入資金貸付事業で、前年度に支払いを受けたものについて国及び一般会計に返還した。

予 算 額	予算執行額
243,625千円	241,556千円

また、貸付原資として（独）中小企業基盤整備機構から借り入れた資金及び一般会計から繰り入れた資金について、貸付先から償還のあった元金及び貸付利子を返済した。

# 産業振興課

## 1 新事業・新産業創出の支援

産学官連携や企業間連携によって、社会的課題や市場ニーズに対応した新技術や新製品の開発を促進するため、県内企業、大学、研究機関等のネットワークの強化を図ると

ともに、それらが連携して行う技術・製品開発の支援を行った。また、中小企業における知的財産の戦略的活用を促進するため、知的財産の創造・保護・活用のための総合的な相談を実施するとともに、制度等の普及啓発を図るセミナーの開催を行った。

予 算 額	予算執行額
36,607千円	34,170千円

## 2 研究開発への支援

県内のバイオ産業の振興を図るため、その中核的な役割を担う「かずさDNA研究所」の研究活動及び産業支援活動に対する支援を行うとともに、全県的な産学官連携組織

「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議」において、事業の創出に向けたオープンイノベーション交流会を開催した。また、バイオ関連企業の誘致及び育成のため、賃貸型の研究開発施設「かずさインキュベーションセンター」の管理運営や入居企業への支援を行った。

予 算 額	予算執行額
1,069,997千円	1,069,997千円

## 3 創業から販路開拓まで一貫した中小・ベンチャー企業への支援

### (1) 産業技術力の強化・新たな製品開発の支援

実用化技術研究や受託研究の推進によって、県内中小企業の製品開発や製造技術改善への支援を行った。ま

た、産業支援技術研究所にCNC三次元測定機、荷重切替式試料研磨機等を設置して支援機能の充実を図った。さらに、中小企業の中堅・若手職員を対象とした高度な技術研修を行ったほか、新たな製品開発を進める中小・ベンチャー企業を育成・支援するため、産業支援施設である東葛テクノプラザにおいて、入居企業等に対し研究支援や経営相談を実施するとともに、企業と大学との交流事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,849,563千円	522,394千円

### (2) 販路・市場開拓への支援

#### ア ものづくり中小企業の販路開拓支援

千葉県内の中小企業が有する優れた製品や独創的な製品を「千葉ものづくり認定製品」として認定し、広く情報発信するとともに、営業・販売や受発注取引を促進するため、近隣の他都県等と連携した合同商談会を開催するなど、新たな取引ネットワークの形成を図った。

## イ ものづくり中小企業の成長分野への参入支援

ものづくり中小企業の医工連携を推進するため、東葛テクノプラザや研究機能を有する医療機関に、医療機器や関連法令に精通した専門人材を配置し、製品開発に関するサポートを行うとともに、上市に向けた製品開発の補助を実施した。

## ウ ものづくり中小企業の生産性向上等への支援

中小企業のスマート化（IoT、AI等の活用）による生産性の向上や事業の高付加価値化を図るため、IoT、AI等に関する普及啓発や実習講座の実施、相談窓口の設置や専門家の派遣等により、県内中小企業のスマート化へ向けた支援を行った。

### （3）「ベンチャークラブちば」によるリーディングカンパニーの育成支援事業

県内経済団体・金融機関・投資会社等と連携して運営するベンチャー支援組織「ベンチャークラブちば」へ助成を行い、ベンチャー企業への支援体制向上を図った。また、オンラインでのビジネスプラン発表会を開催し、ベンチャー企業と投資家等とのマッチングの場を提供した。

### （4）下請取引振興事業

下請中小企業の受注量確保と取引拡大を図るため、千葉県産業振興センターへ助成を行い、受発注開拓員等による訪問支援と併せ、緊急経営指導員を配置し、訪問による受注・発注業間の下請取引のあっせんや経営改善に向けた指導を行ったほか、県内中小企業の取引拡大を図るため、商談会等を開催した。

### （5）千葉のポテンシャルを活かした地域産業活性化事業

県内各地にある地域資源を活用した新商品・サービスの事業化等に取り組む中小企業やブランド化に取り組む地域などを対象に、地域資源活用アドバイザー等による相談・支援や、専門家による高度な課題解決に向けた支援を実施したほか、デザイン戦略を活用したブランド力の強化や地域資源の活用を促すため、セミナー等を開催した。

### （6）新しい生活様式に向けた設備投資補助事業

新型コロナウイルス対策として、新しい生活様式に対応した中小企業等の前向きな投資を後押しするため、国の「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に対する上乗せ補助を実施した。

あわせて、各種補助金を活用しようとする企業に対するワンストップ窓口を設置し、補助制度の説明会と申請書作成のサポートを実施した。

## 4 石油貯蔵施設立地対策事業

石油貯蔵施設の周辺地域における住民の福祉の向上を図るため、石油貯蔵施設立地対策等交付金制度により公共施設の整備事業を行う市町等に対して交付金を交付した。

予 算 額	予算執行額
316,393千円	294,336千円

## 5 新エネルギー等の活用による地域振興

### (1) 地域主導型新エネルギー活用プロジェクト支援事業

再生可能エネルギー等の活用による地域振興を図るため、企業・商工団体等が市町村と連携して行う取組に支援を行った。

予 算 額	予算執行額
3,708千円	2,458千円

### (2) 千葉県水素エネルギー関連産業振興プラットフォーム運営事業

水素エネルギー関連産業の振興の具体的な取組に向けた検討を行うため、企業や市町村などで構成する会議を開催し、先進的な取組事例の情報共有を行った。

### (3) 海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業

本県沖合での洋上風力発電の導入に向けて、地元の合意形成などの調整を図った。

こうしたなか、「銚子市沖」については、再エネ海域利用法に基づく促進区域に指定され、国による事業者の公募が開始された。また、「いすみ市沖」については、関係者間で一定の合意が得られたため、促進区域の候補となる有望な区域として、国への情報提供を実施した。

## 6 資源対策事業

### (1) 鉱業振興対策事業

鉱業法に基づく鉱業権の設定に対する国からの意見照会の調整、県有鉱区の維持管理に努めた。

予 算 額	予算執行額
1,937千円	947千円

### (2) 土石砂利対策事業

砂利採取法、採石法及び千葉県土採取条例に基づく登録及び土石砂利採取計画の認可の審査を行うとともに、災害防止を図るため、採取場への立入検査等により法令や採取計画の遵守の確認を行い、事業者に対する指導監督等を行ったほか、土石砂利の無認可採取等に対するパトロールを実施した。

## 7 計量検定所の事業

計量法に基づく特定計量器の製造・修理・販売事業者に係る届出の受理、計量証明事業の登録及び指導、特定計量器の検定・検査及び基準器検査を実施し、適正な計量の確保を図った。

予 算 額	予算執行額
25,806千円	20,948千円

# 企業立地課

## 1 企業誘致対策事業

県内への企業立地を促進するため、市町村等との密接な連携のもと、企業誘致プロモーション動画の作成や相談会、企業訪問など、本県の立地優位性の発信に努めるとともに企業への助成制度等を活用しながら積極的に企業誘致に取り組んだ。

予 算 額	予算執行額
558,084千円	507,955千円

### (1) 立地企業補助金

自治体間の企業誘致競争が激化する中で、県内への企業立地を促進するため立地企業に対する助成や、産業用地及び空き公共施設の整備に取り組む市町村に対する支援を行った。

- ・立地企業補助金交付件数：24件

### (2) 戦略的企業誘致推進事業

企業誘致プロモーション動画の作成や相談会、企業訪問など、県関係団体、市町村、民間等と連携し官民一体となった企業誘致活動を行った。

- ・訪問活動：632件、立地件数：69件

また、県庁ホームページ「企業立地ナビゲーション～アシストちば～」などにより、県情報を総合的に発信するとともに、全庁的な協力を得て、企業立地に関する相談に迅速に対応した。

### (3) 外資系企業誘致事業

アンケートやホームページ等を活用して対日進出有望外国企業を発掘し、企業誘致活動を行った。

- ・県内立地件数：8件

### (4) 外資系企業賃料補助事業

外資系企業向けの進出拠点施設「外資系企業スタートアップセンター(FASUC)」へ海外企業を誘致するとともに立地後の支援を実施した。

### (5) ちば投資サポートセンター事業

外資系企業の県内への立地を促進するため、(独)日本貿易振興機構千葉貿易情報センター内の「ちば投資サポートセンター」に対日投資アドバイザーを配置し、対日進出を検討している海外企業等へ情報・アドバイスを一元的に提供した。

- ・アドバイス件数：49件、E-mailマガジン発信件数：1,445件(ともに延べ件数)

### (6) 空き公共施設等を活用した企業誘致促進事業

企業発掘アンケートの実施や、市町村・企業ともに使いやすいプラットフォームの提供、空き公共施設の活用に関心のある企業と施設を保有する市町村のマッチング支援に努め、企業と市町村との接点を積極的に作ることで企業進出を促進し、地域経済の活性化に取り組んだ。

- ・企業と市町村のマッチング件数：111件      企業等の進出件数：9件

## 2 かずさアカデミアパーク推進事業

かずさアカデミアパークへの企業誘致を推進するとともに、地域における多様な交流機能を担う「かずさアカデミアホール」の運営等を行った。

予 算 額	予算執行額
1,340,812千円	1,330,445千円

### (1) かずさアカデミアホール事業

産業、学術、文化等の多様な交流の場である「かずさアカデミアホール」の運営管理を行った。

### (2) 公的施設等用地確保事業

かずさパークやかずさDNA研究所等の公的施設等用地の管理を行った。

### (3) 関連施設整備等事業

かずさアカデミアパークへの立地促進や環境・景観の維持・向上を図るため、県、地元市及び関係事業者等で構成する各協議会の運営等を行った。

## 3 工業団地整備事業（特別会計）

東京湾アクアラインの料金引下げ及び圏央道の整備進展を活かした企業誘致を推進し、地域経済を活性化するために造成した茂原にいほる工業団地について、令和2年度は地方債の利息の支払いを行い、また、袖ヶ浦椎の森工業団地については、環境影響調査などを行った。

予 算 額	予算執行額
16,064千円	15,061千円

# 観光企画課

## 1 物産振興事業

### (1) 地場産業振興事業

伝統的工芸品産業を地場産業として発展させるため、千葉県伝統的工芸品指定事業を実施するとともに、伝統的工芸品のさらなる魅力を広く発信するため、番組の制作、放送などを行った。

予 算 額	予算執行額
5,764千円	4,312千円

## 2 観光振興事業

地域特性を生かした魅力ある観光地づくりを進め観光の振興を図るため、オール千葉でのおもてなし機運の醸成に取り組むとともに、本県への誘客のための各種支援事業や受入体制整備に対する助成事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,933,196千円	962,472千円



(1) オール千葉おもてなし推進事業

千葉県を訪れる多くの方々が「また千葉県に行きたい」と心から思えるよう、オール千葉での「おもてなし」の機運を醸成するための取組を行った。

(2) 観光地魅力アップ整備事業

県内観光地の利便性を高め魅力向上を図るため、多くの観光客が利用する観光公衆トイレや駐車場、観光案内板等の設置・改修について、その経費の一部を助成した。

(3) 外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、外国人観光客向けの無料公衆無線LAN環境を整備するため、市町村や宿泊施設事業者等が実施する事業に対し助成した。

(4) 期間限定アンテナショップ事業

首都圏在住在勤者に向け、千葉の特産品販売、観光PR等の魅力発信及びマーケティングを目的に、都内において期間限定でアンテナショップを出店した。

(5) 観光地域づくり育成支援事業

観光により人と消費を呼び込み、地域経済の活性化に結び付けるため、地域資源を活用し、持続可能な観光地域づくりに取り組む市町村等に対し、助成した。

(6) Welcome to CHIBA観光キャンペーン事業(みんなで元気に! ちばの「おもてなし」提供事業)

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要を回復するため、国が行う「Go To Travel」等と協調し、宿泊施設の利用者に対し、地域の特産品を活用した料理や土産物、その地域ならではの体験など、地域と宿泊施設が協力して行う“本県ならではのおもてなし”を提供する取組に係る経費の一部を助成した。

## 観光誘致促進課

### 1 観光振興事業

県内観光の振興を目的に、本県への誘客のための各種宣伝紹介事業や外国人観光客の受入体制整備等を行った。

予 算 額	予算執行額
2,683,285千円	1,002,408千円

(1) 観光プロモーション事業

観光プロモーション活動の全県的な組織「ちばプロモーション協議会」や市町村との連携、各種メディアの活用等により、グルメを切り口とした観光プロモーションを実施するとともに、新たな観光需要を掘り起こすことを目的として、鉄道事業者等と連携したフリー切符の販売を実施し、観光の周遊促進や観光客の誘致を図った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ旅行需要を回復するため、宿泊優待キャンペーンを実施するとともに、より多くの団体バスツアーが造成されるよう支援を行った。

(2) 外国人観光客の受入体制整備事業

外国人観光客が県内を不便なく観光できるよう、本県の観光資源を紹介する外国語（英語、中国語（簡体字））パンフレットの作成等を行った。

(3) 海外向け誘客事業

ア 外国人観光客向けプロモーション事業

国際的な往来再開後の外国人観光客の誘致を図るため、海外の旅行会社とオンライン商談会を実施した。（台湾・マレーシア）

イ 訪日教育旅行誘致事業

過去に教育旅行受入等により構築してきた台湾の教育旅行関係者との関係を維持するため、県の訪日教育旅行に関する最新の資料等を送付し、オンラインを通じて訪日教育旅行再開にむけて意見交換会を実施した。

ウ 外国語サイトによる情報発信事業

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人旅行者の利便性の向上を図るため、スマートフォンなどでの問合せにAIが会話形式で応答するAIチャットボットを導入するとともに、必要な情報を集約した英語版の特設サイトを構築した。

## 雇用労働課

### 1 労働対策事業

労使関係の安定を促進し、健全な労使関係の確立を図るための諸施策を総合的、効果的に実施した。

予 算 額	予算執行額
10,318千円	10,207千円

#### (1) 労働相談事業

労使関係、労働福祉、その他労働問題全般の相談に応じるため、県庁本庁舎2階に千葉県労働相談センターを設置し、5名の労働相談員を配置して、相談業務を実施した。

- 一般労働相談 2,164件
- 特別労働相談 50件
  - ・弁護士による特別労働相談 34件
  - ・働く人のメンタルヘルス特別労働相談 16件

### 2 労働教育事業

労働問題に関する正しい知識を普及し、安定した労使関係の確立を図るため、労働教育講座等を実施した。

予 算 額	予算執行額
801千円	800千円

- ・労働大学講座 当日視聴 延べ352名  
オンデマンド 2,187回（各講座2分割配信の再生回数合計）
- ・ワークルール講座 県内高等学校3年生全員へのパンフレット（計49,140部）を配布した。

### 3 「働き方改革」推進事業

企業の働き方改革への意識を醸成するとともに、県内企業の働き方改革の取組を支援するため、働き方改革アドバイザーの派遣等を実施した。

予 算 額	予算執行額
24,500千円	23,991千円

- ・働き方改革アドバイザーの派遣企業数 25社（延べ88回）

### 4 雇用維持サポート相談事業

雇用の維持に取り組む中小企業等を支援するため、社会保険労務士による雇用調整助成金等の申請サポートを実施し、県内企業からの相談に応じた。

予 算 額	予算執行額
4,010千円	3,977千円

- ・相談件数 99件

### 5 ジョブカフェちば事業

非正規雇用の増加、高い離職率といった若者を取り巻く厳しい就業環境に対応するため、「ジョブカフェちば」において、各種就職支援セミナー、個別相談、若者と企業の交流イベントなどの総合的な就労支援を行った。

予 算 額	予算執行額
142,964千円	138,428千円

- ・延べ利用者数 12,229名
- ・進路決定者数 1,904名

### 6 千葉県ジョブサポートセンター事業

求職者の生活の安定、主に中高年齢者や子育て中の女性の再就職の促進及び就職後の職場定着を図るため、就業に係る一貫した支援を行う施設の設置・運営を行った。

予 算 額	予算執行額
57,924千円	57,922千円

- ・延べ利用者数 10,512名
- ・就職決定者数 439名

### 7 中小企業人材採用・魅力発信サポート事業

（一社）千葉県商工会議所連合会が実施する、県内中小企業を対象とする人材採用力の強化に向けた研修や、大学等

予 算 額	予算執行額
20,000千円	20,000千円

との就職情報交換会の開催などの相互交流事業を支援した。

- ・参加企業数 延べ646社
- ・参加教育機関 延べ105校

## 8 プロフェッショナル人材戦略拠点事業

プロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、企業に対し  
新商品開発や新たな販路の開拓など、「攻めの経営」への  
転換意欲を喚起するとともに、その実現のために必要とな  
るプロフェッショナル人材の採用支援を実施した。

予 算 額	予算執行額
41,025千円	39,942千円

- ・相談件数 398件
- ・成約件数 97件

## 9 プロフェッショナル人材確保事業補助金

県内の中小企業がプロフェッショナル人材を県外から  
雇用するに当たり、試用就業期間中の給与等の一部を補助  
した。

予 算 額	予算執行額
10,000千円	6,775千円

- ・企業への補助 10社
- ・対象労働者数 10名

## 10 地域しごとマッチング支援事業

県外からの転職希望者や若年者等に対して、県内中小企  
業の求人情報を提供するマッチングサイト運営や、県内条  
件不利地域内にある企業が効果的な求人広告を提供でき  
るよう支援を行った。

予 算 額	予算執行額
18,860千円	18,859千円

- ・求人登録数 207件

## 11 千葉県就職氷河期世代支援加速化事業

就職氷河期世代を中心とする就職希望者の就職・再就職  
を積極的に支援するため、就職希望者を対象とした各種支  
援プログラムの実施や就職後の定着支援などを実施する  
とともに、市町村が行う就労支援の取組に対し助成を行った。

予 算 額	予算執行額
12,246千円	11,530千円

- ・ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業 新規利用者数 130名  
就職決定者数 15名
- ・千葉県地域就職氷河期世代支援加速化補助金 交付決定市町村 2市

## 産業人材課

### 1 公共職業訓練事業

本年度の普通職業訓練における入校及び修了者の実績は次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
509,712千円	414,174千円

校名	訓 練 科	入校者数	修了者数	就職者数
市原	自 動 車 整 備 科 (1年)	19		
	"                  (2年)	(23)	18	15
	電 気 工 事 科	14	12	11
	溶 接 非 破 壊 検 査 科	3	2	2
	塗 装 科	5	5	5
	ビルメンテナンス科 R2. 4月入校	9	9	7
	"                  R2.10月入校	10	9	7
	小 計	60	55	47
船橋	機 械 技 術 科 (1年)	17		
	メカニカルエンジニア科(2年)	(15)	14	13
	シ ス テ ム 設 計 科 (1年)	19		
	"                  (2年)	(20)	6	6
	冷 凍 空 調 設 備 科	20	18	16
	金属加工科(デュアル) R1.10月入校	(4)	1	0
	"                  R2. 4月入校	8	5	5
"                  R2.10月入校	7	4	2	
	小 計	71	48	42
我孫子	N C 機 械 加 工 科	1	1	1
	造 園 科	13	12	10
	造 園 科 R2.1月入校	(11)	10	9
	造 園 科 R2.4、10月入校	20	16	14
	造 園 科 R3.1月入校	11		
	事 務 実 務 科	4	1	1
	小 計	49	40	35
旭	自 動 車 整 備 科 (1年)	13		
	"                  (2年)	(16)	14	14
	N C 機 械 加 工 科 (デュアル)	4	3	3
	小 計	17	17	17

校名	訓練科	入校者数	修了者数	就職者数
東金	空間デザイン科(1年)	11		
	ディスプレイ科(2年)	(12)	12	9
	建築科	16	14	12
	左官技術科(デュアル)	7	5	5
	左官技術科 R2.1月入校	(2)	2	2
	" R2.10月入校	2	1	1
	" R3.1月入校	1		
	小計	37	34	29
障害者	DTP・Webデザインコース	10	7	3
	福祉住環境・CADコース	4	2	1
	PCビジネスコース	8	5	4
	職域開拓コース	9	4	4
	基礎実務コース	5	2	1
	短期実務コース R2.4月入校	0	0	0
	" R2.10月入校	0	0	0
	小計	36	20	13
	合計	270	214	183

注)( )内は、令和元年度入校生

就職者数は、令和3年6月末現在で修了者数のうち就職した者(就職退校者は含まない)

## 2 デュアルシステム訓練事業

若年者を対象に、県立高等技術専門校で知識・実技を学んだ後に、企業現場で就労実習を行う実践的な職業訓練を実施することで、県内中小企業等における人材の定着を支援した。

予算額	予算執行額
3,756千円	2,646千円

## 3 市原高等技術専門校整備事業

県有施設の計画的な長寿命化を図るため、市原高等技術専門校の管理棟大規模改修及工事、管理棟仮設建築物賃貸借及び総合実習棟実施設計委託等を行った。

予算額	予算執行額
293,439千円	137,230千円

## 4 事業内職業訓練事業

民間における職業訓練の振興を図るため、認定職業訓練を行う10団体に対して運営費、設備費の補助を行った。

予算額	予算執行額
33,530千円	31,853千円

## 5 技能検定事業

技能労働者の有する技能を一定の基準によって検定する技能検定試験を委任している千葉県職業能力開発協会に対して補助等を行い、技能検定試験を実施した。

予 算 額	予算執行額
117,357千円	107,764千円

## 6 委託訓練事業

### (1) 離職者等再就職訓練事業

大学や専修学校、企業等が持つ教育訓練資源を最大限に活用した多様な委託訓練により、離職者等の円滑な再就職を支援した。

予 算 額	予算執行額
838,755千円	689,977千円

コ ー ス	コース数	修了者数	就職者数
・介護福祉士(2年課程)	11	29	27
・保育士(2年課程)	11	56	53
・美容師(2年課程)	5	7	6
・一般コース(パソコン等)	179	2,042	1,356
合 計	206	2,134	1,442

(注) 令和元年度に開講し、令和2年度に訓練が修了したものを含む。

### (2) 障害者の多様なニーズに対応した委託訓練事業

企業、社会福祉法人、NPO法人、民間教育訓練機関等、多様な委託先を活用し、就職に必要な知識・技能の習得を図ることで障害者の雇用を促進した。

予 算 額	予算執行額
44,783千円	38,325千円

## 7 障害者就業支援キャリアセンター事業

「障害者就業支援キャリアセンター」を設置し、障害者の就労・職場定着等の支援を行うとともに、障害者雇用を目指す企業等の総合的な支援を行った。

予 算 額	予算執行額
31,741千円	31,616千円

## 8 企業支援員(障害者雇用アドバイザー)事業

企業支援員(障害者雇用アドバイザー)16名を配置し、障害者の職域開拓、就業環境づくりを行った。

予 算 額	予算執行額
47,907千円	43,473千円

## 9 障害者雇用サポート事業

障害者の就労を支援するため、基礎訓練と現場実習を組み合わせた研修を実施するとともに、障害者就労アドバイザーが雇用を検討している企業に出向き、社内勉強会を開催する等、障害者の雇用に向けたサポートを行った。

予 算 額	予算執行額
35,987千円	33,092千円

# 農林水産部

## 農林水産政策課

### 1 千葉県農林水産物販売緊急対策協議会負担金

新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛の影響などにより消費が落ち込んだ県産農林水産物の需要回復を図るため、「千葉県農林水産物販売緊急対策協議会」を立ち上げ、品目横断的な販路開拓等の取組を実施した。

予 算 額	予算執行額
40,000千円	26,944千円

## 団体指導課

### 1 農林団体指導事業

県内の農業協同組合及び森林組合の業務・経営内容を検査し、経営改善等の指導を行い、組合経営の健全化に努めた。

予 算 額	予算執行額
22,256千円	19,096千円

### 2 農業共済団体指導事業

県内の農業共済組合の業務・経営内容を検査し、組合の適正な運営を期するための指導監督を行った。

予 算 額	予算執行額
200千円	86千円

### 3 農林金融対策事業

農林業経営の近代化・災害からの復旧・農業生産方式の改善等のため、農林業者の借入金に対する利子補給等を実施し、農林業者の経営安定と農業生産力の向上に努めた。

予 算 額	予算執行額
306,104千円	297,214千円



事業名	交付先	利子補給(補助)額
農業近代化資金利子補給事業	千葉みらい農業協同組合 ほか24金融機関	99,598千円
県単災害対策利子補給事業	銚子市 ほか20市町	4,127千円
農業経営基盤強化資金利子補給事業	銚子市 ほか27市町村	3,331千円
農業経営負担軽減支援資金利子補給事業	かとり農業協同組合 ほか2農業協同組合	486千円

#### 4 土地改良区検査事業

県内の土地改良区の組織や会計経理等进行检查し、運営の健全化に努めた。

予算額	予算執行額
3,266千円	1,639千円

#### 5 水産業総合対策事業

##### (1) 利子補給事業等

漁業経営の近代化・災害からの復旧等のため、漁業者

の借入金に対する利子補給等を実施するとともに、共済掛金の助成を行い、漁業共済への加入促進を図り、漁業者の経営安定に努めた。

予算額	予算執行額
518,403千円	512,944千円

事業名	交付先	利子補給(補助)額
漁業近代化資金利子補給事業	千葉県信用漁業協同組合連合会	23,242千円
中小漁業融資保証制度安定対策事業	全国漁業信用基金協会千葉支所	7,200千円
漁業経営保全対策共済加入助成事業	千葉県漁業共済組合	32,270千円

##### (2) 漁業系統団体貸付事業

事業振興のための資金として次のとおり貸し付けた。

貸付先	貸付額	貸付利率(年利)
千葉県漁業共済組合	70,000千円	0.5%
千葉県漁業協同組合連合会	370,000千円	0.5%
千葉県内水面漁業協同組合連合会	10,000千円	0.5%

#### 6 水産団体指導事業

県内の水産業協同組合の業務・経営内容进行检查し、経営改善等の指導を行い、組合経営の健全化に努めるとともに、組合の経営基盤を強化するための指導を行った。

予算額	予算執行額
6,687千円	5,552千円

## 生産振興課

### 1 「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業

園芸産地の生産力を強化するため、ハウス等園芸生産施設及び省力化機械等の整備、老朽化した温室等園芸生産施設の改修、施設園芸におけるスマート農業の導入等に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
287,000千円	263,492千円

### 2 千葉県園芸産地パワーアップ事業

園芸産地の競争力を強化するため、生産・流通コストの削減等に資する産地基幹施設等の整備に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
879,023千円	287,311千円

### 3 飼料用米等拡大支援事業

水田の有効活用を推進するため、飼料用米をはじめとした新規需要米等の作付や麦・大豆等への集団転作の取組等に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
253,600千円	251,519千円

### 4 農業用ハウス強靱化緊急対策事業

台風・大雪等の災害による被害を防止するため、農家が行う補強対策等の取組に対し助成するとともに、被害防止マニュアルの作成や被害防止講習会の開催を行った。

予 算 額	予算執行額
33,233千円	28,375千円

### 5 特産果樹産地再生事業

台風により被災した安房地域の特産果樹産地において、

若い担い手への園地集約につなげるため、園地の現状調査や自然災害強い栽培モデルほ場の設置、樹木再生の調査等を行った。

予 算 額	予算執行額
4,200千円	3,456千円

## 流通販売課

### 1 県産農林水産物魅力発信事業

県産農林水産物の販売促進を図るため、百貨店・量販店

等と連携して千葉県フェアを開催し、県産農林水産物の魅力をPRした。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部のフェア等については開催できなかった。

予 算 額	予算執行額
14,174千円	7,608千円

## 2 水稲新品種「粒すけ」PR事業

令和2年度に本格デビューした水稲新品種「粒すけ」について、特に千葉県民のファミリー層をターゲットとし、デビューイベントの開催やWEB・SNS広告、ラジオ企画等を実施し、「粒すけ」の認知度向上と需要の喚起を図った。

予 算 額	予算執行額
32,500千円	32,483千円

## 3 「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業

県産農林水産物の輸出拡大を図るため、海外での販売促進活動等を行う生産者団体等の取組への支援や、千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会への活動支援等を実施した。また、タイ、マレーシア、シンガポールにおいて県産農林水産物PRのためのフェア等を開催した。

予 算 額	予算執行額
35,177千円	14,712千円

## 4 ちば6次産業化ネットワーク活動事業

千葉県6次産業化サポートセンターを設置し、プランナー派遣による六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定支援や人材育成研修会等を開催した。

予 算 額	予算執行額
112,097千円	8,588千円

## 5 輸出先国の市場変化に対応した食品等の製造施設等整備の緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により棄損した輸出商流の維持・確保、海外ニーズの変化や仕向け先の転換に対応するため、輸出を行う食品事業者（5事業者）に対して、施設や機器の整備を支援した。

予 算 額	予算執行額
82,896千円	82,896千円

## 6 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業

輸出先のニーズに対応したHACCP等の基準を満たすため、食品製造事業者等の施設の新設、機器の整備を支援した。

予 算 額	予算執行額
130,106千円	130,018千円

## 担い手支援課

### 1 農業次世代人材投資事業

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、50歳

未満で就農する者を対象に、就農に向けた研修段階及び就農直後の経営の不安定な時期に資金を交付した。

予 算 額	予算執行額
443,495千円	388,469千円

### 2 ちば新農業人サポート事業

農業の担い手を確保するため、新規就農相談センターの設置・運営、就農相談会の開催や各種研修などの就農支援を行った。

予 算 額	予算執行額
14,360千円	11,353千円

### 3 ちばの次世代農業経営体育成事業

個人経営が多い農業経営体について、経営者能力の向上

と法人化による経営体質の強化を図り、雇用の増加など地域経済の活性化につなげていくため、専門家の派遣や相談会の開催のほか、集落営農組織等の法人化に必要な経費について助成を行った。

予 算 額	予算執行額
9,200千円	6,906千円

### 4 地域における担い手支援対策事業

地域農業を支える担い手を育成するため、集落全体で

営農に取り組む地域や生きがいを持って農業生産に取り組む高齢者・女性・小規模農家に対する支援を行った。

集落営農加速化事業

農山漁村の担い手のパートナーシップ推進事業

予 算 額	予算執行額
6,273千円	1,804千円

### 5 農業雇用条件改善推進事業

就労者が安心して従事できるよう就業規則の制定など

就業条件の改善に向けた農業者の取組に要する経費に対して助成を行った。

予 算 額	予算執行額
10,000千円	5,200千円

### 6 農福連携推進事業

農福連携の取組推進に向けて、農業者へ農福連携を理解

してもらうためのセミナー等の啓発活動や、障害者が可能な作業を抽出するための実証試験を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,000千円	1,510千円

## 7 農業改良普及事業

農業改良助長法(昭和23年法律第165号)に基づき、優れた農業経営体の育成や地域の特性に即した農業の振興のため、効率的に普及活動が展開できるよう次のとおり主な事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
13,062千円	8,518千円

### (1) 普及指導員等研修事業

国主催研修(延べ48人)

県主催研修(延べ428人)

### (2) 普及指導センター機材整備事業

## 8 農林総合研究センター研究機能強化事業

産地間競争が激しくなる中、「農林水産王国・千葉」の復活に向け、生産者から要望の強い「水稻」や「ナシ」などの新品種開発やセンシング技術とICTを活用した栽培支援技術の開発などを行った。

予 算 額	予算執行額
18,082千円	15,419千円

千葉県の新時代を切り開くオリジナル品種の開発・定着促進事業

次世代環境・生育センシング技術とICTを活用した栽培支援技術の開発及び利用技術の確立

## 9 農業大学校大規模改修事業

担い手育成の中核機関である農業大学校について、県有建物長寿命化計画に基づき、大規模改修を行うにあたり、出荷調製施設の実施設計を行った。

予 算 額	予算執行額
19,360千円	8,710千円

# 農地・農村振興課

## 1 農業委員会等対策事業

農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図るため、市町村農業委員会及び県農業委員会ネットワーク機構の運営に必要な経費を補助し、事業の円滑な推進に努めた。

予 算 額	予算執行額
256,343千円	240,555千円

## 2 イノシシ等有害獣被害防止対策事業

野生イノシシ・サル・シカ等による農作物等の被害を防止するため、防護柵の設置や箱わなの整備に対し助成した。また、地域ぐるみで被害防止対策に取り組むことが有効であることから、集落単位で行う被害対

予 算 額	予算執行額
273,194千円	219,282千円

策への活動支援や地域リーダーの育成を行うとともに、有害獣対策指導員を配置し、被害状況やイノシシ出現状況の調査、電気柵の点検等を行った。

さらに、イノシシの棲み家となっている耕作放棄地に生い茂る草木の刈払いに対して助成を行った。

・実施市町村 千葉市ほか14市町 防護柵設置距離 182 k m

### 3 中山間地域等直接支払交付金事業

中山間地域等において、農業の持つ多面的機能を維持・増進するための活動を継続的に行う農業者へ交付金を交付した。

予 算 額	予算執行額
85,766千円	85,235千円

・実施市町村 館山市ほか12市町

・対象面積 867 h a

### 4 農地集積加速化促進事業

国の補助金により積み立てた基金を活用し、担い手への農用地の利用集積を促進するため、農地中間管理機構が行う農地集積に係る取組や、機構へ農地を貸し付けた個人等に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
302,292千円	219,743千円

### 5 農業農村整備事業

農業農村整備事業として、県営中山間地域総合整備事業ほか1事業4地区を実施するとともに、市町村や土地改良区等が実施する農業集落排水事業ほか2事業37地区に対し事業に係る補助金等を交付した。

予 算 額	予算執行額
753,250千円	639,685千円

事業名	予 算 額 (千円)	予算執行額 (千円)	事業内容
県営中山間地域総合整備事業	72,680	61,832	御宿町(御宿地区) 区画整理 一式
農地環境整備事業	49,594	33,040	南房総市(豊岡深名地区)ほか2地区 区画整理 一式ほか
農業集落排水事業	235,686	235,686	千葉市(本郷地区)ほか8地区 処理場 N = 1箇所ほか
農業基盤整備促進事業	329,560	260,737	千葉県根木名川土地改良区(根木名川地区)ほか16地区 用水路 L = 57.5mほか
農地耕作条件改善事業	65,730	48,390	柏市(柏3期地区)ほか10地区 湧水処理 3.62 k mほか

## 6 多面的機能支払交付金事業

農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や水路・農道などの地域資源を維持するために行う共同活動に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
1,452,124千円	1,451,490千円

農地維持支払	45市町村	547活動組織	33,033 h a
資源向上支払（共同）	41市町村	403活動組織	25,194 h a
資源向上支払（長寿命化）	31市町村	232活動組織	15,268 h a

## 7 農地統制調査事務事業

優良農地を確保して農業生産力を維持し、農業経営の安定を図るとともに、農業及び農業以外の目的のための土地利用関係を調整して農業上の土地利用がより良い環境で合理的に行われるよう、農地法第4条、第5条による農地等の権利移動及び転用許可の適正な処理を行った。

予 算 額	予算執行額
1,530千円	985千円

# 安全農業推進課

## 1 ジャンボタニシ緊急防除対策事業

総合的な防除対策を検討・実践・検証する取組に対し、助成した。また、田植同時農薬散布機、ドローン、水位センサーによる防除対策の省力化の実証を行った。

予 算 額	予算執行額
43,459千円	42,107千円

## 2 環境保全型農業直接支援対策事業

地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献していくため、農地土壌への炭素貯留に効果の高いカバークropp（緑肥）や有機農業などに取り組む農業者等に対し交付金を交付した。

予 算 額	予算執行額
37,873千円	31,538千円

- ・ 交付実績 64件
- ・ 取組面積 458 h a（カバークropp64 h a、有機農業278 h a、堆肥の施用115 h a、冬期湛水2 h a）

## 3 千葉県GAP推進事業

GAPの理解促進を図るため、研修会を開催した。また、GAP推進に必要な指導員等の育成や民間認証の取得支援を行うとともに、国のガイドラインに準拠した千葉県独自の「ちばGAP」制度を円滑に運営した。

予 算 額	予算執行額
8,862千円	7,996千円

- ・ G A P 認証数（累計） 141件
- ・ G A P 指導員数（累計） 190名

## 耕地課

### 1 県営用排水改良事業

水利用の安定と合理化を図り、また、畑作地帯の安定した農業経営を可能にするため、基幹農業用排水施設の整備を実施した。

- ・ 実施地区 北総中央 期地区ほか21地区
- ・ 業務内容 排水路工ほか

予 算 額	予算執行額
3,809,319千円	2,180,368千円

### 2 経営体育成基盤整備事業

農業生産の向上と農業構造の改善のため、水田の基盤整備等を実施した。

- ・ 実施地区 武田川下流地区ほか17地区
- ・ 業務内容 水田整備工ほか

予 算 額	予算執行額
4,769,311千円	2,957,417千円

### 3 地域農業水利施設ストックマネジメント事業

農業用排水施設の機能保全対策を推進するための対策工事を実施した。

- ・ 実施地区 夏目地区ほか4地区
- ・ 業務内容 排水路工ほか

予 算 額	予算執行額
278,999千円	160,750千円

### 4 農道整備事業

広域的な農業地域に、その地域の基幹となる作物の生産から加工・流通までの各段階を有機的、一体的に整備し、生産・集荷体制の組織化と管理体制の整備を促進するため、基幹農道の整備等を実施した。

- ・ 実施地区 安房2期地区ほか11地区
- ・ 業務内容 道路工ほか

予 算 額	予算執行額
1,828,794千円	1,080,290千円



## 5 農地防災事業

自然災害による被害を未然に防止するために農業用施設の整備等を行った。

- ・実施地区 香北第3地区ほか20地区
- ・業務内容 用水路工ほか

予 算 額	予算執行額
3,797,829千円	2,084,770千円

## 6 土地改良施設維持管理適正化事業

土地改良区等の土地改良施設管理者の管理意識の高揚を図るとともに、施設の機能の保持と耐用年数の延長に資する整備補修、設備改善に対し助成した。

- ・実施地区 市原市市原西部土地改良区ほか64地区

予 算 額	予算執行額
285,970千円	269,749千円

## 7 農業水利施設保全合理化事業

県及び土地改良区等が管理する農業用用水路等の農業水利施設の整備及び機能診断、機能保全計画の策定を行った。

- ・実施地区 西広地区ほか14地区

予 算 額	予算執行額
278,710千円	207,007千円

## 8 国営造成施設県管理事業

国営土地改良施設で千葉県に管理委託された施設のうち、公共・公益性が高い施設について、維持管理を行った。

- ・実施地区 大利根地区

予 算 額	予算執行額
25,144千円	25,144千円

## 9 基幹水利施設管理事業

国営土地改良施設で千葉県に管理委託された施設のうち、公共性が高く適正な管理が特に必要と認められる基幹水利施設の管理を行った。

- ・実施地区 両総地区ほか3地区
- ・業務内容 機場運転操作ほか

予 算 額	予算執行額
1,121,043千円	1,050,508千円

## 10 国営造成施設管理体制整備促進事業

農業水利施設の有する多面的機能の発揮等を目的とし、地域における適切な取組を促進する観点から、県が事業主体となり地域と連携し、土地改良区の管理体制の整備を行った。

- ・実施地区 印旛沼地区ほか1地区

予 算 額	予算執行額
51,450千円	51,450千円

### 11 県単土地改良基礎調査事業

県営土地改良事業を計画的に推進することを目的とし、事業計画の精度向上に資する調査・設計及び事業計画の策定作業等を実施した。

- ・実施調査 国営付帯基礎調査ほか9調査

予 算 額	予算執行額
100,000千円	99,495千円

### 12 県単用排水改良事業

水利用の安定と合理化を図り、また、畑作地帯の安定した農業経営を可能にするため、国営・県営用排水改良事業で実施した施設のうち、維持管理を必要とする施設に対し改修を行った。

- ・実施地区 小糸川地区
- ・業務内容 用水路補修工

予 算 額	予算執行額
9,000千円	2,475千円

### 13 県単農地防災事業

地すべり等の自然災害による被害を未然に防止するために農業用施設の整備、調査等を行った。

- ・実施地区 鋸南町地区ほか5地区
- ・業務内容 地すべり防止工ほか

予 算 額	予算執行額
339,189千円	263,971千円

### 14 震災対策農業水利施設整備事業

農業用水利施設の耐震性の点検・調査を行った。

- ・実施地区 千葉第十七地区ほか8地区
- ・業務内容 ため池・橋梁の耐震性調査ほか

予 算 額	予算執行額
108,014千円	74,690千円

### 15 直轄事業負担金

国営事業及び水資源機構営事業、森林総合研究所営事業で実施した事業費に係る県及び地元負担分の償還を行った。

- ・実施地区 北総中央地区ほか8地区
- ・業務内容 国営かんがい排水事業ほか

予 算 額	予算執行額
3,221,656千円	3,219,293千円

償還対象事業名	予算額 (千円)	予算執行額 (千円)	根拠法令
国営かんがい排水事業 北総中央地区	434,401	434,401	土地改良法第90条第1項
国営かんがい排水事業 両総地区	794,476	794,476	同上
国営流域水質保全機能増進事業 印旛沼二期地区	593,034	593,034	同上
国営施設機能保全事業 大利根地区	75,118	75,117	同上
成田用水施設改築事業 成田用水地区	283,334	281,455	独立行政法人水資源機構 法第26条第1項
水資源機構営事業 東総用水地区	174,420	174,419	独立行政法人水資源機構 法第24条第1項
水資源機構営事業 印旛沼開発施設緊急改築	298,170	298,169	独立行政法人水資源機構 法第26条第1項
森林総合研究所営 農用地総合整備事業 安房南部地区	567,803	567,802	国立研究開発法人森林総合 研究所法附則第11条 第3項
川治ダム	900	420	河川法第60条第1項

## 16 団体営農業用施設等災害復旧事業

市町村、土地改良区等が行う農業用施設等災害復旧事業に係る間接補助を行った。

予算額	予算執行額
1,261,500千円	708,116千円

- ・実施地区 501/219地区ほか159地区
- ・業務内容 農地・農業用施設の災害復旧工事

## 畜産課

### 1 肉豚生産安定対策事業

養豚経営の収益性が悪化した場合に、標準的販売価格と標準的生産費の差額の一定割合を補てんすることにより、養豚経営の安定を図る「肉豚経営安定交付金制度」において、農家が負担する積立金の一部に対して助成を行った。

予算額	予算執行額
43,360千円	41,797千円

## 2 畜産競争力強化対策整備事業

高収益型畜産経営体制を構築するため、畜産クラスター

協議会を設置し、地域の中心的経営体となる畜産農家の施設整備に対し助成を行った。

予 算 額	予算執行額
3,114,067千円	687,588千円

## 3 畜産環境保全総合整備事業

家畜排せつ物法の管理基準に沿った適正な管理と、家畜

排せつ物の堆肥化による有効利用を促進するため、地域ごとの条件に応じて必要な家畜ふん尿適正処理施設等整備に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
12,400千円	12,158千円

## 4 耕作放棄地総合対策事業（飼料生産拡大整備支援事業）

耕作放棄地を再生利用し、飼料畑等と併せて飼料生産基盤の拡大を図るため、生産性向上に必要な機械整備に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
11,825千円	11,825千円

## 5 飼料自給率向上総合対策事業

飼料自給率の向上と飼料作物の生産性の向上を図るた

め、自給飼料増産技術の確立及び指導・普及啓発を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,313千円	5,535千円

## 6 肉用牛ブランド力向上対策事業

和牛産地としての基盤強化のため、高能力な繁殖雌牛の

導入や乳牛等への和牛の受精卵移植、若齢雌牛のゲノミック評価による増頭への取組に対する助成を行うとともに、生産者に対する育種価等の情報提供を行った。また、令和4年に開催される全国和牛能力共進会にむけて、出品条件に合致し、審査を行い優秀と認められた候補牛の導入補助を行った。

予 算 額	予算執行額
18,343千円	17,374千円

## 7 ちばの酪農増産支援事業

収益性の高い酪農業への転換を図るため、繁殖成績が悪

い乳牛を新たな乳牛に更新し、前年度比で1頭当たりの平均乳量が向上した酪農家に対し助成を行うとともに、後継牛の自家育成に取り組む酪農家に対し、哺育・育成施設の整備費用に係る助成を行った。

予 算 額	予算執行額
14,737千円	14,195千円

## 8 県産畜産物販売力強化事業

県産豚肉は、他県の銘柄豚肉と明確な差別化を図る第一

歩として、「消費者の安全・安心」への取組とそのPRを支援することで知名度向上を図った。県産牛肉は、キャッチコピーや統一名称を効果的に利用することで知名度向上を図った。

予 算 額	予算執行額
5,760千円	4,371千円

9 ちばの酪農ワークスタイル変革推進事業

機械等の導入により新たな生産方式へ転換した場合や、

酪農ヘルパーを利用し、労働条件の改善を行った場合、その取組に対して支援を行った。

予 算 額	予算執行額
7,182千円	7,181千円

10 CSFワクチン接種事業

中部地域及び関東近県の飼養豚及び野生イノシシで発

生のあった豚熱(CSF)の発生防止のため、県内すべての豚飼養農場を対象にCSFワクチンを接種した。

予 算 額	予算執行額
232,661千円	213,605千円

11 家畜伝染病発生危機特別対策事業

昨年度の高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、人件

費、資材購入に係る経費、焼埋却に要する経費等を計上し、防疫措置を実施した。

予 算 額	予算執行額
4,853,800千円	2,606,427千円

## 森林課

1 林業総務事業

森林の保全のための開発許可及び巡視のほか、今後の

森林の利用・整備に向けての現況把握や計画策定を促進

するための事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
54,831千円	23,736千円

事業名	事業内容	予算執行額
林地利用調整事業	林地開発許可申請に係る指導、監督、処分等	8,172千円
森林計画推進事業	九十九里森林調査区の調査、森林クラウドによる森林情報管理等	15,564千円

2 林業振興事業

林業経営の近代化を図り、林業の生産性及び収益性並び

に林業従事者の所得向上に資するため、林業担い手対策、

木材及び林産物の生産・流通に関する指導・支援、試験研究、普及指導活動の推進等の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
224,759千円	141,550千円

事業名	事業内容	予算執行額
林業普及指導事業	巡回指導、林業技術研修、林業後継者育成等	4,641千円
森林・林業担い手確保・育成対策事業	林業労働力の育成、労働安全衛生対策、林業機械導入支援	71,121千円
ちばの木活用促進事業	多くの県民の目に触れる施設等の内装の木質化や木材製品の導入推進等	15,061千円
森林技術開発事業	(一社)全国林業改良普及協会等からの委託による技術開発研究、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所受諾等	1,930千円
特用林産物放射性物質対策事業	特用林産物の放射性物質検査の実施	1,461千円
シイタケ等特用林産物生産の早期復興支援事業	原木購入費用の補助、しいたけ原木林再生のための実証事業	30,686千円
被災特用林産物復旧事業	令和元年度台風の被害を受けた特用林産物生産資材の購入費用の補助	16,650千円

### 3 森林病虫害防除事業

松くい虫被害の拡大防止のための防除対策や被害を受けた森林の再生のための補助を実施した。

予算額	予算執行額
187,362千円	106,289千円

事業名	事業内容	予算執行額
森林病虫害防除事業	松くい虫薬剤防除224 h a 松くい虫被害木駆除195 m <sup>3</sup> 松くい虫樹幹注入562本	43,664千円
サンブスギ林総合対策事業	被害木伐倒15.21 h a、植栽7.25 h a等	62,625千円

### 4 森林整備事業

森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮するため、適正な森林整備への補助や、優良な山行苗木の安定的供給を図る事業を実施した。

予算額	予算執行額
481,642千円	180,939千円

事業名	事業内容	予算執行額
森林整備事業	間伐等森林整備203.72 h a	167,433千円
優良種苗確保事業	優良品種の種子採種、保存及び配布、育種施設の管理運営、マツノザイセンチュウ抵抗性品種の育成	13,506千円

## 5 林道事業

林業生産基盤の整備及び農山村地域の経済的・社会的発展を図るため、林道の開設及び改良を実施した。

予 算 額	予算執行額
103,147千円	60,579千円

事業名	事業内容	予算執行額
林道事業	林道点検診断・保全 君津市 南房総市 県単林道開設 竹岡線	60,579千円

## 6 治山事業

水源の確保、災害の防止及び生活環境の保全を図るため、自然災害に起因する崩壊林地の復旧、山地荒廃の未然防止、海岸保安林の維持・造成、保安林の整備等を実施し、県土の保全に努めた。

予 算 額	予算執行額
4,203,189千円	1,218,074千円

事業名	事業内容	予算執行額
保安林管理事業	保安林の指定・解除調査、保安林巡視等	4,935千円
海岸県有林管理事業	海岸県有保安林の保育及び境界保全等の管理	31,702千円
山地治山事業	予防治山工事（山武市松尾町八田）ほか9箇所 復旧治山工事（富津市豊岡）ほか5箇所 地すべり防止工事（南房総市丸山平塚）ほか3箇所 緊急予防治山事業（旭市櫻井） 小規模治山緊急整備工事（いすみ市岬町鴨根） 防災林造成工事（横芝光町木戸）ほか11箇所	485,262千円
保安林整備事業	保安林緊急改良工事（富津市富津）ほか4箇所	582,776千円
治山施設災害関連事業	災害関連緊急治山事業（君津市西原）ほか16箇所	113,399千円

## 7 災害復旧事業

過年及び現年に発生した災害による林道施設及び治山施設の復旧と機能回復を図った。

予 算 額	予算執行額
795,523千円	279,795千円

事業名	事業内容	予算執行額
林道施設災害復旧事業	林道の被災箇所の復旧 鹿野山線ほか	174,723千円
治山施設災害復旧事業	被災した林地荒廃施設の復旧 館山市洲宮ほか	105,072千円

## 8 緑化推進事業

県民が森林に親しみながら、森林や自然に対する知識や理解を深めるための各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
264,190千円	229,131千円

事 業 名	事 業 内 容	予算執行額
県民の森事業	内浦山・清和・船橋・東庄・大多喜県民の森及び館山野鳥の森の管理委託、船橋県民の森用地確保のための市への補助、県民の森の維持補修工事等	210,021千円
緑化推進事業	県土の緑化推進のための補助等	12,404千円
森林・山村多面的機能発揮対策事業	地域住民らで構成する活動団体が行う里山林の整備活動に対しての支援	1,610千円
さとやま整備・活用促進事業	市民等による地域の森林整備活動等の支援及び里山や森林の利活用についての普及啓発	5,096千円

## 9 営林事業

県有林経営計画に基づき、7,510haの経営管理を行い林産物の生産、造林、保育管理等の諸事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
288,546千円	248,077千円

事 業 名	事 業 内 容	予算執行額
県有林事業	素材938 m <sup>3</sup> 等の生産、売払い等	191,141千円
県行造林事業	植栽、下刈、除・間伐等73.18ha	56,936千円

## 水産課

### 1 東京湾調査・指導船運営事業

東京湾漁業の振興を図るため、東京湾調査・指導船「ふさなみ」を用いて、漁場環境・水産資源の調査、漁業操業の安全指導等を実施した。

予 算 額	予算執行額
32,027千円	30,260千円

### 2 東京湾漁業総合対策事業

東京湾漁業を、漁場の特性を生かした活力ある生産体制に育成するため、漁業協同組合等が実施する生産性の向上等を目的とした以下の事業に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
33,406千円	31,482千円



事業名	交付先	事業費	補助金
近代化施設整備事業	富津市、木更津市	7,670千円	3,835千円
広域流通改善事業	千葉県漁業協同組合連合会	19,990千円	13,993千円
流通改善施設整備事業	富津市	5,300千円	2,650千円
海底障害物除去事業	千葉県漁業協同組合連合会	16,940千円	8,469千円
海難予防施設設置事業	船橋市、富津市	4,300千円	2,150千円
千葉県産ノリ販売促進支援事業	千葉県漁業協同組合連合会	771千円	385千円
計		54,971千円	31,482千円

### 3 東京湾漁業総合対策事業（製品規格対策促進事業）

乾ノリの品質向上と規格の統一により、ノリ共販事業の促進とノリ価格の安定向上を図るため、千葉県漁業協同組合連合会が行う乾ノリの自主検査費用に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
19,639千円	17,479千円

### 4 漁業取締船運営・漁業操業円滑化促進事業

漁業秩序の維持のため、海面に漁業取締船「ふさかぜ」、内水面に「わかとね」を配置し、取締を実施した。

予 算 額	予算執行額
83,255千円	79,810千円

また、漁業法に基づく漁業権の免許のほか、指定漁業（大臣許可）及び知事許可漁業等の指導並びに許認可事務を行うとともに、漁船漁業の円滑な操業を図るため、各種漁業の調整を行った。

### 5 漁業取締船「ふさかぜ」建造事業

現行の漁業取締船「ふさかぜ」は、建造後22年を経過することから、次期定期検査までに代船を建造するための設計委託を行った。

予 算 額	予算執行額
7,543千円	7,540千円

### 6 水産物販売流通消費総合対策事業

効果的な販売促進を図るため、イベントや県ホームページ「千葉さかな倶楽部」による県産水産物のPRを実施した。

予 算 額	予算執行額
6,911千円	5,733千円

水産物の安全・安心の確保を図るため、食品表示法に基づく巡回指導、産地市場における衛生管理の指導を実施した。

また、「千葉のさかな」全体のイメージアップを図るため、千葉ブランド水産物の認定、漁業協同組合等によるブランドづくりへの支援を行った。

さらに、消費拡大及び食育の推進を図るため、調理実習等へのおさかな普及員の派遣、おさかなレシピの配布及び魚食普及パンフレットの作成・配布を実施した。

7 「千葉の海」丸ごと満喫事業

都市住民の漁村への来訪を促し、産地における県産水産物の消費拡大と漁村の活性化を図るため、「水産物直売所マップ」の作成・配布を実施した。

予 算 額	予算執行額
3,013千円	2,990千円

8 漁業の担い手確保・育成総合対策事業

本県の水産業を支える人材を確保するため、漁業就業相談会の開催や、高校生を対象とする水産業インターンシップ等を実施した。さらに、操業実態や収入など漁業種類別の就業モデルや先輩漁業者の声を掲載した、漁業の仕事をイメージしやすいパンフレットを作成した。

また、次代を担う水産業従事者を育成するため、漁業士活動の支援、水産業青壮年女性活動実績発表大会の開催等を実施した。

予 算 額	予算執行額
4,829千円	2,124千円

9 浜の活力再生プラン推進支援事業

ノリ養殖業の構造改革を図るため、生産コスト削減等に寄与するノリ共同加工施設の整備に要する経費の一部を助成した。また、地域の水揚物の集約化による価格形成力の強化を図るため、荷さばき施設、製氷施設の整備に要する経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
503,160千円	502,020千円

10 拠点漁港機能強化事業

流通拠点漁港の市場機能の強化を図るため、高度衛生管理型の荷さばき施設の整備に要する経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
43,400千円	39,886千円

11 県産水産物加工・流通・輸出拠点施設整備事業

消費者ニーズに合った商品開発や輸出にも対応できる水産物加工施設の整備に要する経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
471,458千円	471,458千円

12 水産情報通信センター運営事業

漁船漁業の安全確保と操業の効率化を図るため、民営漁業無線局と連携して漁業無線業務にあたるとともに、人工衛星からの情報を含む漁海況情報及び市場情報を収集・解析して、最新漁業情報を漁業者に提供した。

予 算 額	予算執行額
35,329千円	30,552千円

### 13 漁船漁業操業支援事業

漁業調査船「千葉丸」及び「ふさみ丸」を運航し、海洋調査、漁場等の調査及び各種漁業試験を実施した。

予 算 額	予算執行額
154,797千円	143,799千円

### 14 水産総合研究センター維持運営費・研究事業

水産技術の向上及び本県水産業の振興に寄与するための試験調査及び技術の普及指導を実施した。

予 算 額	予算執行額
164,337千円	139,881千円

### 15 水産総合研究センター再編整備事業

水産総合研究センターの機能強化を図るため、東京湾漁業研究所の基本設計等を実施した。

予 算 額	予算執行額
39,233千円	37,249千円

## 漁業資源課

### 1 漁場環境の保全事業

油流出等による漁業被害の防止及び漁場環境の保全・回復を図るため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
4,988千円	4,963千円

#### (1) のり漁場油濁監視事業

東京湾のり漁場の油濁事故を未然に防止するため、関係漁業協同組合が実施する船舶によるのり漁場油濁監視業務に対し助成した。

#### (2) 漁場環境保全推進事業

河川内に留まっている流竹木が大雨時の出水により海に流され、ノリ養殖業、漁船の航行等に大きな被害を与えていることから、小櫃川の流竹木の回収・処理を行った。

### 2 東京湾漁場環境改善事業

水産有用種への貧酸素水塊の影響を明らかにするため、棚状・マウンド状の浅海域が持つ貧酸素水塊からの避難所等機能について調査した。

予 算 額	予算執行額
6,431千円	5,540千円

また、生産性が低下している貝類漁場を耕うんによって底質改善するためキャタピラー式トラクター及び耕うん用アタッチメント導入に対して支援した。

### 3 水産多面的機能発揮対策事業

環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、水産業や漁村の有する多面的機能の発揮のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
33,436千円	30,137千円

#### (1) 干潟保全活動支援事業

東京湾の二枚貝資源の維持・増大に向け、市川市、船橋市、木更津市及び富津市の10漁業協同組合の17活動グループが行う客土やウミグモ等有害生物の駆除活動等に対し助成した。

#### (2) 藻場保全活動支援事業

アワビやサザエ等の磯根資源の増大に向け、岩井富浦漁業協同組合及び御宿岩和田漁業協同組合の3活動グループが行う藻場の維持・保全を目的とした老木の間引きによる新芽促進活動等に対し助成した。

#### (3) 内水面環境保全活動支援事業

香取市の活動グループが行う河川・湖沼環境の維持・保全を目的として実施する河川の清掃活動等に対して助成した。

### 4 栽培漁業総合推進事業

沿岸漁業における有用水産資源の維持増大を図るため、(公財)千葉県水産振興公社が実施するクルマエビの種苗生産、マダイ・ヒラメ中間育成等に対し助成するとともに、栽培漁業の新規対象種であるトラフグの標識放流等を実施した。

予 算 額	予算執行額
32,780千円	32,559千円

### 5 アワビ増産総合対策事業

アワビ資源の維持増大を図るため、南房総市地先及び勝浦市地先におけるアワビ輪採漁場の整備に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
145,629千円	144,297千円

また、水産総合研究センター施設及びアワビ・ヒラメ中間育成施設において、アワビ種苗の生産・育成を行い、県内関係漁業協同組合に配付した。

### 6 ノリ養殖業総合対策事業

ノリ養殖における省力化や生産力の向上を図るため、高速浸漬処理船の導入に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
21,449千円	20,293千円

また、不作対策として、クロダイ等による食害を防ぐカーテン式防除ネットの有効性を検証し、普及モデルの確立を図ったほか、防除ネットの効果を向上させるための防潮ネットの設置や、クロダイ駆除の取組に対して支援した。

さらには、高付加価値化が見込める青混ぜノリの増産・高品質化を図るため、アオノリの生産技術開発に取り組んだほか、養殖技術の普及を図るため、必要な資材の導入に対して助成をした。

## 7 アサリ漁業総合対策事業

アサリ稚貝の減耗対策として、陸上水槽や囲い網を用いた保護の取組や、スズガモ等の食害生物捕獲等の取組に対

予 算 額	予算執行額
7,560千円	6,846千円

して支援したほか、袋網を使用した干潟での天然稚貝の中間育成の技術開発に取り組んだ。

また、ウミグモの発生状況のモニタリング及びウミグモ駆除などの漁場管理に係る指導、秋冬季の餌料不足と資源減耗との関係を明らかにするためのアサリ密度調査や餌料量調査をおこなった。

## 8 東京湾貝類資源増産対策事業

東京内湾貝類の資源維持・増大を図るため、ハマグリの種類生産技術の開発やミルクイの種類生産試験の取組に

予 算 額	予算執行額
3,154千円	2,565千円

対する支援、タイラギ稚貝を貧酸素水塊から守るための移植技術手法の開発を行った。

## 9 農林水産物等放射性物質対策事業

県産水産物の放射性物質モニタリング検査を実施して結果を公表し、水産物の安全・安心を確保するとともに、

予 算 額	予算執行額
2,471千円	2,320千円

出荷が制限されている内水面魚種について、年齢や季節と放射性物質濃度の関係を調査した。

## 10 資源管理型漁業推進総合対策事業

資源回復に向けた有効な資源管理方策を検討するため、東京湾漁業の重要魚種であるマアナゴ、マコガレイ、

予 算 額	予算執行額
3,807千円	2,763千円

ホンビノスの発生状況や分布移動等の調査のほか、本県沿岸重要資源であるキンメダイやチョウセンハマグリなど15魚種の資源評価を行った。

## 11 海域環境に配慮した漁場の整備事業

水産資源の増大、漁場の生産力の回復及び漁業経営の安定向上を図るため、魚礁漁場を造成する外房地区外川工区における製作・沈設を行った。

予 算 額	予算執行額
121,392千円	72,402千円

## 12 種苗生産研究所運営費

マダイ、ヒラメ、マコガレイ及びアユの種苗生産を実施するとともに、種苗生産研究所の管理運営を行った。

予 算 額	予算執行額
175,468千円	169,659千円

種苗生産実績

マダイ(33mm)	1,350千尾
ヒラメ(35mm)	1,315千尾
マコガレイ(42mm)	1,270千尾
アユ(62mm)	381千尾

13 水産総合研究センター再編整備事業

水産総合研究センターの機能強化を図るため、種苗生産施設の基礎調査を実施した。

予 算 額	予算執行額
34,650千円	34,650千円

14 内水面漁業振興・水産研究事業

内水面漁場における水産資源の維持増大のため、主要漁場における各種調査や、種苗放流事業等を実施するとともに、養殖業振興のため、卵や種苗の配布や養殖指導、魚病診断等を実施した。

予 算 額	予算執行額
12,507千円	11,741千円

(1) 内水面資源造成・漁場環境保全調整事業

漁場環境の把握のため、魚介類の生息状況及び生息環境について調査を実施した。

また、内水面資源の維持造成のため、アユの優良種苗の技術開発を行うとともに、漁業協同組合等が実施するアユ、フナ、ウナギ等の種苗放流及びカワウ等による漁業被害の防除対策に対し助成した。

(2) 内水面漁業を活用した地域振興支援事業

内水面養殖業の振興及び生産の安定のため、卵や種苗の配布のほか、養殖技術の指導普及並びに魚病診断及び対策指導を行った。

また、内水面水産研究所の展示施設及び相談窓口により、県民に対し内水面漁業に関する情報提供や環境保全技術の普及指導を行った。

漁港課

1 県営漁港建設事業

令和2年度の県営漁港建設事業においては、国庫補助事業で3,799,447千円、県単独事業で179,257千円の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
7,714,090千円	3,978,704千円

区分	事業名	漁港名	整備内容等	執行額
国庫補助事業	拠点漁港整備事業	銚子漁港ほか3漁港	導流堤・防波堤等	2,014,731千円
	水産基盤ストックマネジメント事業	銚子漁港ほか11漁港	施設の機能・老朽化診断・護岸・防砂壁等	1,379,637千円
	漁港漁村基盤整備事業	勝山漁港ほか3漁港	防波堤・海岸保全施設整備等	353,431千円
	水産業強化支援事業	外川漁港	防波堤	51,648千円
県単独事業	漁港整備事業	銚子漁港ほか12漁港	維持補修工事等	39,169千円
	特定漁港浚渫事業	銚子漁港ほか5漁港	航路・泊地浚渫等	64,634千円
	海岸保全施設整備事業	太東漁港ほか3漁港	海岸保全施設改修等	14,446千円
	漁港建設調査事業	外川漁港ほか9漁港	事業計画作成等	34,086千円
	県単漁港災害復旧事業	天津漁港ほか3漁港	応急補修等	26,922千円

(1) 拠点漁港整備事業

水産物の流通拠点の整備を図るために、銚子漁港ほか3漁港で漁港施設の整備を実施した。

(2) 水産基盤ストックマネジメント事業（機能保全・機能強化）

**ア 機能保全事業**

老朽化の進行した施設が増加していることから、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化・縮減を行うため、機能保全計画に基づき、銚子漁港ほか10漁港で保全工事を実施した。

また、ライフサイクルコストの縮減を図るため、銚子漁港の機能保全計画を更新した。

**イ 機能強化事業**

漁港における高潮・津波に対応した防波堤や岸壁等の嵩上げ改良等、漁港施設の機能強化に係る整備を推進するため、鴨川漁港において橋梁の耐震補強工事を実施した。

(3) 漁港漁村基盤整備事業

既存ストックの有効活用等を通じた生産基盤等の効率的整備を推進するため、勝山漁港で防波堤工事を実施した。また、東日本大震災により津波被害を受けた栗山川漁港及び片貝漁港で海岸保全施設整備を実施したほか、外川漁港において津波対策を実施するための調査を実施した。

2 市町村営漁港建設事業

市町村営漁港の整備を促進するため、市町村の漁港建設

予 算 額	予算執行額
422,968千円	391,510千円

事業に対して補助金を交付した。

事業名	執行額	摘 要
市町村営漁港建設事業	391,510千円	市川市ほか7市町

### 3 漁港災害復旧事業

富津漁港において、公共災害復旧事業で採択となった

予 算 額	予算執行額
247,950千円	49,449千円

復旧事業を実施し、富津漁港海岸において災害関連事業を実施した。

漁港名	復旧内容等	執行額
富津漁港	漂着物撤去	17,784千円
富津漁港海岸	漂着物撤去	31,665千円



# 県土整備部

## 県土整備政策課

### 1 災害復旧事業

令和元年9月8日から9日にかけての台風15号、10月12日の台風19号、10月25日の大雨等により被災した道路、河川

予 算 額	予算執行額
3,924,655千円	2,735,754千円

等の災害復旧工事のほか、平成30年発生災害（台風24号）及び平成29年発生災害（台風22号）により被災した河川の災害復旧工事を実施した。

区分	事業名	箇所数	予算執行額
補助事業	公共道路橋りょう災害復旧事業（元年災）	35箇所	556,168千円
	公共河川海岸災害復旧事業（元年災）	102箇所	1,756,758千円
	公共河川海岸災害復旧事業（30年災）	1箇所	32,691千円
	公共河川海岸災害復旧事業（29年災）	1箇所	51,275千円
	公共港湾災害復旧事業（元年災）	4箇所	288,307千円
	公共公園災害復旧事業（元年災）	4箇所	50,555千円
	計	147箇所	2,735,754千円

## 技術管理課

### 1 建設副産物対策

資源の有効活用、環境負荷の低減を図り循環型社会の構築を目指すため、建設発生土等の建設副産物の発生

予 算 額	予算執行額
8,781千円	7,707千円

抑制、再利用の促進及び適正処理の推進に係る施策を実施した。

#### （1）建設副産物実態調査の実施

建設副産物の再資源化・縮減の状況のほか、再生資材の利用状況について把握するため、県内の建設副産物に係る実態調査を実施した。

#### （2）千葉県建設リサイクル推進計画の推進

「千葉県建設リサイクル推進計画2016」の目標達成に向け、建設事業の計画、設計・積算、工事施工の段階において、建設副産物の発生抑制、再資源化・縮減、再生資材の利用に努め、建設

リサイクルの推進を図った。

(3) 建設発生土情報交換システムの運用

建設発生土の工事間利用を円滑に推進するため、公共事業発注者が工事発注者、工期、土質、土量等の情報を共有できる当該システムを運用して建設発生土の工事間利用を行った。

(4) スtockヤードの管理運営

公共工事で発生する建設発生土の工事間利用を促進するため、一時仮置きすることで工事間の土砂の搬出入時期等を調整することができるstockヤードの管理運営を行った。

## 建設・不動産課

### 1 建設業に対する指導監督

(1) 建設業の許可

建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進するため、建設業法の厳正な運用に努めた。

予 算 額	予算執行額
80,627千円	72,630千円

建設業許可状況(2年度)

新規許可件数	追加許可件数	更新許可件数	取下件数	拒否件数	年度末許可業者数
928件	444件	3,877件	27件	0件	18,420

建設業法に基づく監督処分(2年度)

処分件数	指 示	営業停止	許可取消
9件	3件	1件	5件

(2) 公共工事等の適正な施工の確保

公共工事の入札に参加する建設業者について、建設業法に基づく経営事項審査を行った。

また、県の建設工事等の入札に参加する者について、資格の審査を行い、資格者名簿を作成した。

経営事項審査(2年度)

申請業者数	申請業種数
3,325	10,801

入札参加資格者数(2年度末)

建設業者数	コンサルタント等
4,036	1,441

### 2 宅地建物取引業に対する指導監督

宅地及び建物の取引の公正を確保し、その円滑な流通を推進するため、宅地建物取引業者に対する指導を強化し、

予 算 額	予算執行額
28,752千円	25,961千円

関係法令の知識の向上及び制度の厳正な運用に努める一方、悪質な業者に対しては、監督処分の実施

により一般消費者の保護に努めた。

宅地建物取引業者免許状況（２年度）

免許件数	取下件数	拒否件数	年度末免許業者数
636件	6件	2件	4,516

宅地建物取引業法に基づく監督処分（２年度）

処分件数	宅地建物取引業者			宅地建物取引士		
	指示	業務停止	免許取消	指示	事務の禁止	登録消除
12件	1件	1件	10件	0件	0件	0件

## 用地課

### 1 適正かつ円滑な用地事務の推進

#### (1) 用地担当職員に対する指導

県土整備部各出先機関の用地担当職員に対し、用地事務に関する専門的知識・技能を修得させ、適正かつ円滑に遂行できるよう、研修を行った。また、随時相談を受付け対応した。

予算額	予算執行額
174,751千円	156,256千円

#### (2) 用地取得難航案件対策

用地取得が難航している案件について、土地収用制度の活用に向けた調整や8事業に対して用地機動班を配置した。

#### (3) 登記事務の指導等について

用地買収等により行うこととなる登記嘱託事務に関する指導を行った。（現在、登記嘱託関係事務は、職員又は登記事務のための会計年度任用職員が行うほか、（公社）千葉県公共嘱託登記司法書士協会及び（公社）千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会に委託して行っている。）

#### (4) 国有・県有土地（用地課所掌分）の財産管理

国土交通省所管の公共用財産並びに廃道・廃川敷等の県有財産の適正な管理及び処分を行った。

### 2 国土利用計画の推進

#### (1) 土地取引の規制

国土利用計画法第23条の規定による届出を処理し、適正かつ合理的な土地利用の確保を図った。

予算額	予算執行額
72,372千円	72,096千円

#### (2) 地価調査

国が行う地価公示制度と相互に補完的な関係にあり、一般の土地の取引価格の指標とするとともに公共事業用地の買収価格の算定に用いられるなど適正な地価の形成に寄与することを目的とし

て、国土利用計画法施行令第9条の規定により県内849地点（住宅地686、商業地128、その他35）について、令和2年7月1日現在の価格を調査し、同年9月30日に公表した。

### 3 地籍調査事業

国土調査法に基づき、国土の開発及び保全並びに土地利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、千葉市ほか20市町村で実施した調査事業に対し補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
1,439,386千円	1,214,349千円

## 道路計画課

### 1 道路橋りょう整備事業

全国的な交流・連携を強化する高規格幹線道路等の整備促進や県内地域相互の交流・連携を強化する地域高規格道路等の整備を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,606,828千円	6,335,152千円

#### (1) 道路直轄事業負担金

道路法第50条などの規定に基づく、県内一般国道指定区間の国土交通省直轄事業に係る県の負担金であり、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道、一般国道357号等の新設及び改築等の事業が実施された。

#### (2) 幹線道路網整備事業

湾岸地域などの慢性的な交通渋滞や房総地域等の観光時における交通渋滞を緩和するとともに、地域の活性化や県民生活の利便性向上を図るため、地域高規格道路等に関する調査・計画等を実施した。

#### (3) 東京湾アクアライン料金割引事業

地域経済の活性化、首都圏の交流・連携の強化等を通じ、千葉県のポテンシャルをさらに高めるため、ETC車を対象に普通車800円など、全日・全車種について東京湾アクアライン通行料金の引下げを継続した。

## 道路整備課

### 1 道路橋りょう整備事業

県内地域相互の交流・連携を強化する地域高規格道路等の整備を実施した。

予 算 額	予算執行額
40,359,636千円	20,782,043千円

また、県民の利便性向上、安全で安心した日常生活の確保を図り、経済的にも文化的にも自立した魅力ある千葉県づくりを目指すため、県管理国道及び県道等について、整備を実施した。

区 分	事 業 名	概 要	執 行 額
国庫補助 交付金事業	道 路 改 築 事 業	36路線40箇所	10,677,823千円
県単独事業	道 路 改 築 事 業	86路線144箇所	9,499,123千円
	そ の 他	道路受託事業	605,097千円
計			10,104,220千円
合 計			20,782,043千円

地域産業の活性化や湾岸地域の慢性的な交通渋滞の緩和を図るインターチェンジへのアクセス道路の整備を進めるとともに、首都圏中央連絡自動車道の効果を県内各地に波及させるアクセス道路の整備や房総地域等の観光道路ネットワークの向上・充実を図る道路整備などを実施した。

国庫補助・交付金事業については、国道で464号北千葉道路など9路線12箇所、県道で越谷流山線（流山市）など27路線28箇所を実施した。

県単独事業については、成東酒々井線（八街市）など86路線144箇所の道路改築事業を実施した。

### 2 街路整備事業

#### (1) 街路事業

都市における安全・円滑な交通の確保及び防災機能、都市施設のための空間機能を備えた豊かな市街地の形成を図るため、19路線20箇所の道路改築、1路線1箇所の単独立体交差（踏切除却）事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
19,241,140千円	10,504,103千円

#### (2) 連続立体交差事業

市街地における鉄道と道路の平面交差は、踏切遮断による交通渋滞、踏切事故の発生など、鉄道による地域の分断が、大きな問題となっている。

これらの状況を解消し、市街地の一体化と道路交通の円滑化を図るため、鉄道の連続立体交差事業を実施した。

新京成線（鎌ヶ谷市）及び東武野田線（野田市）については、高架橋工事等を実施した。

## 道路環境課

### 1 道路橋りょう整備事業

高齢者、障害のある人、子供たちなど全ての人が安全で安心して生活できる地域の実現を支援する道路整備が求められている。

予 算 額	予算執行額
36,976,540千円	25,548,267千円

これに対処するため、既設舗装道路の補修、交通安全施設の整備等の事業を積極的に推進し、道路の維持管理に万全を期した。

事 業 名	事 業 概 要	執 行 額
舗 装 道 路 修 繕 事 業	<p>県管理の舗装道路について、これを常時良好な状態に維持し、併せて道路の老朽化を防止するため修繕事業を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">           交付金 打替 延長 0.7 k m                      被覆 延長 1.3 k m            単独 打替 延長 5.6 k m                      被覆 延長 72.4 k m         </p>	7,425,490千円
排 水 整 備 事 業	<p>路面排水に必要な側溝・横断管・流末処理等の施設の整備を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">側溝整備 6.6 k m</p>	574,906千円
橋 り ょ う 修 繕 事 業	<p>県管理の橋りょうを常時良好な状態に維持し、併せて老朽化を防止するため補修を実施した。なお、従来の事後的な修繕から予防保全型管理を行い、維持更新費用の縮減を図った。また、橋梁の耐震補強を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">           交付金等 27橋            単独 145橋         </p>	4,233,584千円
道 路 災 害 防 除 事 業	<p>道路における落石や土砂崩壊などの道路災害を未然に防止するための対策を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">           交付金等 25箇所            単独 46箇所         </p>	2,034,136千円
交 通 安 全 対 策 事 業	<p>交通環境を改善し交通事故の防止及び交通の円滑化を図るため、歩行者の安全確保を重点に歩道等の整備を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">           交付金 歩道 2.3 k m            単独 歩道 0.8 k m         </p>	5,187,070千円

# 河川整備課

## 1 河川事業

社会経済活動の発展や土地利用の変化に対応した治水対策を推進するため、河川については、河道拡幅工、護岸工等の河川改修を行い、ダムについては、維持管理を実施するとともに必要な施設・設備の更新等を行った。

予 算 額	予算執行額
30,964,718千円	17,848,398千円

主要な事業として、広域河川改修事業は一宮川ほか21河川で、住宅市街地基盤整備事業は飯山満川ほか3河川で、総合治水対策特定河川事業は大柏川ほか3河川で護岸工等を行い、河川激甚災害対策特別緊急事業は一宮川で橋梁詳細設計等を行った。河川総合開発事業では亀山ダムほか1箇所警報設備改良工等を行った。

また、県単独事業として、河川改良事業、河川構造物緊急改築事業等で護岸工等を行い、県単河川総合開発事業で管理ダムの電気機械設備点検や整備等の管理業務を行った。

事業名	河川名	工事箇所	工事内容	執行額
総合流域防災事業	松川ほか10河川	袖ヶ浦市ほか	護岸工・橋梁工等	502,175千円
広域河川改修事業	一宮川ほか21河川	茂原市ほか	護岸工・測量設計・ 用地買収・家屋補償等	3,214,978千円
広域河川改修事業 (復興)	一宮川ほか3河川	一宮町ほか	堤防嵩上げ等	3,669,367千円
住宅市街地基盤整備 事業	飯山満川ほか3河川	船橋市ほか	調節池掘削工等	531,352千円
低地対策河川事業	旧江戸川	浦安市ほか	地盤改良・築堤工等	950,361千円
総合治水対策特定 河川事業	大柏川ほか3河川	市川市ほか	地下水対策工・ 用地補償等	409,272千円
河川総合開発事業	亀山ダムほか1箇所	君津市ほか	警報設備改良工等	147,198千円
河川激甚災害対策 特別緊急事業	一宮川	茂原市ほか	橋梁詳細設計等	270,690千円
県単河川総合開発 事業(消費)	亀山ダムほか4箇所	君津市ほか	電気機械設備点検等	660,309千円
河川改良事業	小糸川ほか61河川	君津市ほか	護岸工・築堤工等	1,802,786千円
河川構造物緊急改築 事業	夷隅川ほか7河川	いすみ市ほか	護岸改築工等	186,446千円

## 2 土砂災害防止事業

土砂災害から県土を保全し、人命保護を図るため砂防関係施設の整備を実施した。

予 算 額	予算執行額
5,740,245千円	2,244,574千円

主要な事業として、土砂災害防止事業（砂防・地すべり・急傾斜）は、砂防事業では、合戸ほか4箇所で行った。地すべり対策事業は、平郡ほか10箇所で行った。急傾斜地崩壊対策事業は、辰巳台ほか11箇所で行った。災害関連緊急地すべり対策事業では、増間で法面工を行い、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業では、海隣寺町ほか4箇所で行った。

また、県単独事業として、緊急急傾斜地崩壊対策事業、砂防整備事業、砂防調査事業等で吹付法砕工、法面補修工、地形測量等を行った。

事業名	箇所名	工事箇所	工事内容	執行額
土砂災害防止事業	辰巳台ほか27箇所	市原市ほか	吹付法砕工等	1,259,399千円
災害関連緊急地すべり対策事業	増間	南房総市	法面工	187,300千円
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業	海隣寺町ほか4箇所	佐倉市ほか	法面工	177,372千円
砂防整備事業	興津ほか32箇所	栄町ほか	法面補修工等	368,663千円
砂防調査事業	仁戸名町1ほか13箇所	千葉市ほか	地形測量等	48,949千円
緊急急傾斜地崩壊対策事業	株木ほか76箇所	印西市ほか	吹付法砕工等	79,170千円

## 3 海岸事業

本県の海岸線約530kmのうち、約180kmに及ぶ国土交通省水管理・国土保全局所管海岸保全区域において、海岸保全施設の整備を実施した。

予 算 額	予算執行額
8,545,779千円	5,791,986千円

主要な事業として、海岸基盤整備事業は高潮対策・侵食対策として浦安海岸ほか7箇所で行った。護岸工等を行い、海岸基盤整備（復興）事業では、津波対策として飯岡海岸ほか1箇所で行った。堤防工等を行った。

また、県単独事業として、海岸整備事業で護岸工、対策検討等を行った。

事業名	海岸名	工事箇所	工事内容	執行額
海岸基盤整備事業	浦安海岸ほか7箇所	浦安市ほか	護岸工等	1,315,931千円
海岸基盤整備事業（復興）	飯岡海岸ほか1箇所	旭市ほか	堤防工等	3,716,371千円
海岸整備事業	浜波太海岸ほか17箇所	鴨川市ほか	護岸工・対策検討等	759,684千円



## 河川環境課

### 1 河川管理事業

一級河川(指定区間)及び二級河川について、排水機場・水門等の管理運転業務、プレジャーボート等の不法係留対策等の維持管理業務を行った。

予 算 額	予算執行額
856,670千円	703,332千円

### 2 海岸管理事業

海岸保全区域及び一般公共海岸区域の排水機場・水門等の管理運転業務、漂着物の回収・処分及び海岸施設の補修等の維持管理業務を行った。

予 算 額	予算執行額
218,321千円	196,297千円

### 3 河川維持事業

河川の堤防や護岸等の維持補修及び治水対策を、県管理河川において実施した。

予 算 額	予算執行額
3,892,505千円	3,122,899千円

### 4 河川管理施設機能確保事業

排水機場などの河川管理施設の延命化のため、河川管理施設長寿命化計画に基づき、15施設において延命化措置等を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,540,166千円	756,620千円

### 5 河川等環境整備事業

良好な河川環境の保全等のため、補助事業では、手賀沼・印旛沼で植生帯整備等の事業を実施した。県単独事業では、県単河川環境整備事業で海老川等において、除草・底泥浚渫等を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,099,224千円	849,739千円

また、養老川ほか2河川において、水辺環境整備事業により管理用通路等の整備を実施した。

事業名	河川名	工事箇所	工事内容	執行額
統合河川環境整備事業	手賀沼・印旛沼	佐倉市ほか	植生帯整備等	175,383千円
県単河川環境整備事業	海老川ほか県管理河川	船橋市ほか	除草・底泥浚渫等	649,578千円
水辺環境整備事業	養老川ほか2河川	市原市ほか	管理用通路工等	24,778千円

## 6 土砂災害警戒対策事業

国が改訂した土砂災害防止対策基本指針に基づき、最新の高精度な地形情報や市町からの情報提供により、新たに約11,000箇所の危険箇所を「基礎調査予定箇所」として抽出した。

予 算 額	予算執行額
880,251千円	147,148千円

## 7 水防事業

水防活動を支援するため、県内の降雨や河川水位の状況を迅速かつ的確に把握するための水防情報システムの整備や排水機場、水門等の整備補修を行った。

予 算 額	予算執行額
1,132,861千円	519,554千円

# 港湾課

## 1 港湾管理事業

国際拠点港湾である千葉港、重要港湾である木更津港並びに地方港湾の上総湊港、浜金谷港、館山港、興津港及び名洗港の7港において、港湾施設の適正な管理・運営に努めた。

予 算 額	予算執行額
1,226,912千円	1,171,944千円

## 2 港湾維持事業

港湾を良好な状態に維持するため、千葉港、木更津港等において、航路・泊地の維持浚渫工事等を実施した。

予 算 額	予算執行額
605,965千円	578,151千円

## 3 港湾整備事業

令和2年度の港湾整備事業においては、交付金事業で1,132,638千円、県単独事業で925,399千円の事業を実施した。また、直轄事業負担金として259,838千円を執行した。

予 算 額	予算執行額
4,215,041千円	2,317,875千円

区分	事業名	概要	執行額
交付金事業	津波・高潮危機管理対策緊急事業	災害対策施設の整備	110,600千円
	港湾環境整備事業	港湾環境施設の整備	290,549千円
	統合補助事業	港湾施設の補修	59,660千円
	高潮対策事業	災害対策施設の整備	291,593千円
	改修事業	港湾施設の改修	380,236千円
	計		
県単独事業	港湾調査事業（海岸）	海岸における各種調査の実施	43,702千円
	港湾調査事業（港湾）	港湾における各種調査の実施	70,459千円
	港湾海岸整備事業	海岸施設の整備	347,417千円
	港湾整備事業	港湾施設の整備	438,566千円
	うるおいのある海岸づくり事業	親水性のある海岸施設の整備	25,255千円
	計		
直轄事業負担金		国直轄事業に対する負担金	259,838千円
合 計			2,317,875千円

#### 4 特別会計港湾整備事業

##### (1) 港湾施設運営事業

千葉港、木更津港、館山港及び浜金谷港において、  
港湾施設の適正な管理・運営に努めた。

予 算 額	予算執行額
3,409,726千円	2,825,278千円

##### (2) 港湾施設整備事業

千葉港、木更津港、館山港、浜金谷港及び名洗港において、港湾機能の充実を図るため、埠頭用地の舗装を実施した。

また、千葉港において上屋の改修、荷役機械の更新を実施した。

# 営繕課

## 1 営繕事業

知事部局、教育委員会及び警察本部から依頼された新規公共建築物等の設計・監督等を行った。

予 算 額	予算執行額
11,651千円	9,704千円

令和2年度における執行状況は、次のとおりである。

### (1) 工事の執行状況

(単位:千円)

工事種別 部局別	建築工事		電気設備工事		機械設備工事		その他の工事		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	4	2,193,361	2	433,510	1	345,400	8	518,703	15	3,490,974
	1	2,057,550	2	433,510	1	345,400	3	280,693	7	3,117,153
教育委員会	1	374,000	2	236,830	2	441,100	2	124,707	7	1,176,637
	1	374,000	2	236,830	2	441,100	2	124,707	7	1,176,637
警察本部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	5	2,567,361	4	670,340	3	786,500	10	643,410	22	4,667,611
	2	2,431,550	4	670,340	3	786,500	5	405,400	14	4,293,790

表中の下段の数値は、営繕課発注分を内書き

### (2) 設計・監督等の委託状況

(単位:千円)

委託区分 部局別	設 計		監 理		調 査		そ の 他		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	12	429,187	1	37,400	4	49,594	-	-	17	516,181
	9	419,804	1	37,400	4	49,594	-	-	14	506,798
教育委員会	2	9,262	1	35,200	1	5,159	-	-	4	49,621
	2	9,262	1	35,200	1	5,159	-	-	4	49,621
警察本部	2	150,128	-	-	-	-	-	-	2	150,128
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	16	588,577	2	72,600	5	54,753	-	-	23	715,930
	11	429,066	2	72,600	5	54,753	-	-	18	556,419

表中の下段の数値は、営繕課発注分を内書き

## 施設改修課

### 1 施設改修事業

知事部局、教育委員会及び病院局から依頼された改修工事等に係る設計・監督等を行った。

予 算 額	予算執行額
10,408千円	9,245千円

令和2年度における執行状況は、次のとおりである。

#### (1) 工事の執行状況

(単位：千円)

部局別	建築工事		電気設備工事		機械設備工事		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	24	2,155,427	18	941,150	22	1,014,060	64	4,110,637
	17	1,967,772	12	791,629	17	917,899	46	3,677,300
教育委員会	12	667,007	8	259,028	1	201,630	21	1,127,665
	2	421,850	1	191,749	1	201,630	4	815,229
病院局	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	36	2,822,434	26	1,200,178	23	1,215,690	85	5,238,302
	19	2,389,622	13	983,378	18	1,119,529	50	4,492,529

表中の下段の数値は、施設改修課発注分を内書き

#### (2) 設計及び耐震診断等の委託状況

(単位：千円)

部局別	設 計		監 理		調 査		耐震診断・ 判定委託		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	51	284,820	-	-	-	-	-	-	51	284,820
	41	256,542	-	-	-	-	-	-	41	256,542
教育委員会	1	935	-	-	-	-	-	-	1	935
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院局	1	957	-	-	-	-	-	-	1	957
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	53	286,712	-	-	-	-	-	-	53	286,712
	41	256,542	-	-	-	-	-	-	41	256,542

表中の下段の数値は、施設改修課発注分を内書き

## 都市計画課

### 1 都市計画の推進

本県の都市計画上の課題を踏まえ、広域的な視点と人口減少に対応したコンパクトな都市を目指すまちづくりの検討や、国や近隣都県等と共同で、東京都市圏の人の動きに関する調査（パーソントリップ調査）の政策検討を実施した。

予 算 額	予算執行額
17,870千円	15,991千円

### 2 宅地関係施策の推進

#### (1) 宅地開発事業に係る審査・指導

住環境の整備された良好な宅地の供給が図られるよう有識者で構成する千葉県開発審査会を運営し必要な審査を行うとともに、法令、条例等に基づき指導を行った。

予 算 額	予算執行額
8,118千円	5,458千円

#### (2) 被災宅地危険度判定のための市町村への支援等

被災宅地危険度判定を実施する市町村を支援するため、地域連絡協議会の体制整備を進めるとともに、被災宅地危険度判定士の認定や育成を行った。

## 市街地整備課

### 1 土地区画整理事業

#### (1) つくばエクスプレス沿線整備事業

つくばエクスプレス沿線の流山運動公園周辺地区、柏北部中央地区、流山木地区において、鉄道と一体となった利便性の高い街づくりを目指し、土地区画整理事業により、道路等の整備や宅地造成などを行った。

予 算 額	予算執行額
24,116,258千円	15,740,235千円

#### (2) 金田西土地区画整理事業

アクアライン着岸地に位置する木更津金田西地区において、商業・業務・居住等の多様な機能の集積した新たな街づくりを目指し、土地区画整理事業により、道路等の整備や宅地造成などを行った。

## 公園緑地課

### 1 都市公園整備事業

安全で快適な都市生活の確保、環境の保全、レクリエーションの場の確保及び都市防災に対処し、良好な都市環境を提供するため、市野谷の森公園等の整備及び富津公園等の長寿命化計画に基づく施設の更新等を行った。

予 算 額	予算執行額
3,601,525千円	1,419,390千円

### 2 都市公園管理事業

県立都市公園14箇所及び近郊緑地等において、住民が常に安全かつ快適に利用できるように施設の維持管理を行った。

予 算 額	予算執行額
1,132,458千円	1,085,767千円

### 3 景観形成事業

良好な景観の形成を推進するため、県内市町村の景観行政に携わる職員向けの景観計画策定の一助となる解説書（ヒント集）を作成するとともに、公共事業における景観色彩計画講習会を開催した。

予 算 額	予算執行額
6,521千円	3,425千円

## 下水道課

### 1 下水道計画の推進

国の要請を受け、令和4年度までに広域化・共同化計画を策定するため、業務委託にて汚水処理施設の統廃合や、汚泥処理の共同化などの取組みを整理し、市町村等と課題の共有と意見交換を行うための会議を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,000千円	3,179千円

## 建築指導課

### 1 建築指導行政の推進

#### (1) 建築物の確認・許認可

建築基準法の適正な執行を図るため、市町村及び消防機関と連携して、法令に基づく建築確認や中間検査、完了検査等を行った。

予 算 額	予算執行額
62,839千円	60,773千円

#### (2) 建築士、建築士事務所の指導

建築士、建築士事務所の適正な業務運営を図るため、建築士事務所に対し法定報告を求め、404件の報告を徴取し、業務について指導を行った。

#### (3) 建築物の安全対策

建築物の安全性を確保するため、市町村及び関係団体と連携して、建築主に対する中間・完了検査受検の啓発を行った。

また、違反建築物発生の未然防止を図るため、建築パトロールを51回実施し、335棟の立入を行った。

### 2 建築物総合防災対策事業

#### (1) 耐震診断・改修講習会

建築技術者等を対象に、耐震診断・改修に必要な技術を習得させるため、耐震診断・改修講習会を実施した。

予 算 額	予算執行額
56,900千円	37,469千円

#### (2) 応急危険度判定士の養成

震災後の被災建築物の倒壊等による二次災害を未然に防止し、住民の安全を確保するため、応急危険度判定士の養成講習会を実施した。

#### (3) 住宅・建築物の耐震化サポート事業

住宅や多数の県民が利用する建築物等の耐震化を促進するため、耐震診断補助事業等を行う市町村に対し、補助金を交付した。

### 3 被災住宅修繕緊急支援事業

令和元年台風15号からの一連の災害により被災した住民の生活再建のため、一部損壊住宅等の修理費用について、補助事業を行う市町村に対し、補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
3,605,788千円	2,084,108千円



## 住宅課

### 1 公営住宅建設事業

公営住宅法に基づき、住宅に困窮する低額所得者等に対して低廉な家賃の住宅を提供するものであり、令和2年度においては、県営住宅29戸の建設事業を行うとともに、既設県営住宅について、長寿命化計画に基づく住居改善工事、屋上断熱防水改修、外壁改修等の改善工事を行った。

予 算 額	予算執行額
3,173,107千円	2,147,460千円

### 2 県営住宅管理事業

県営住宅143団地19,142戸（令和2年度末現在）を管理するとともに、必要な維持・補修等を行った。

予 算 額	予算執行額
2,766,051千円	2,753,251千円

# 教育庁

## 教育総務課

### 1 教育行政の推進

#### (1) 教育委員会会議の開催

予 算 額	予算執行額
8,071,447千円	8,022,694千円

教育行政の基本方針の決定をはじめ教育に関する事務

を管理・執行するため開催された教育委員会会議は13回で、審議された議案等の件数は121件である。

#### (2) 教育委員会の点検・評価

効果的な教育行政を推進し、県民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価（令和元年度事務を対象）に関する調整を行った。

#### (3) 教育功労者の表彰

本県の教育・学術・文化の振興に特に功績が顕著であった93人、21団体を表彰した。

#### (4) 市町村教育行政の充実強化

教育行政の当面する諸問題について理解を深め、文教施策の円滑な実施を図るため、市町村教育委員会教育長に対し、県の重点施策等についての資料を配付し、周知した。

#### (5) 教育事務所との連携

所長会議の開催等により、教育事務所と緊密な連絡をとりながら教育行政の推進に努めた。

#### (6) 教育委員会事務局職員給与事務の執行

教育委員会事務局職員人件費について、例月給与並びに期末勤勉手当等の支給及び適正な事務の執行に努めた。

### 2 教職員給与事務の執行及び指導

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校並びに市町村立の小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校に係

予 算 額	予算執行額
286,654,531千円	285,816,914千円

る教職員人件費について、例月給与並びに期末勤勉手当等の支給及び適正な事務の執行のための指導・助言に努めた。

## 教育政策課

予 算 額	予算執行額
13,511千円	7,989千円

### 1 教育施策の企画立案

#### (1) 第3期千葉県教育振興基本計画の推進

令和2年2月に策定した「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」について、令和2年度の主要事業概要を作成し、各施策における主要事業を示した。

また、教職員対象の各種研修会(新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催が大部分となった。)で、計画の基本理念や重点施策について周知を図った。

#### (2) 国際教育交流の推進

教育面での国際相互交流を推進するため、マレーシア及び台湾への教職員及び高校生の派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止とした。

#### (3) オリンピック・パラリンピックを活用した教育の推進

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進するため、推進校(65校)における実践、県内セミナーの開催(書面開催) 報告会の開催、教育指導資料の作成及び配付を行った。

### 2 県立学校の改革推進

予 算 額	予算執行額
6,691千円	3,125千円

#### (1) 「県立学校改革推進プラン」の推進

「県立学校改革推進プラン」(平成24年3月策定)及びその具体計画である「第1次実施プログラム」(平成24年3月策定)、「第2次実施プログラム」(平成26年3月策定)、「第3次実施プログラム」(平成28年3月策定)、「第4次実施プログラム」(平成30年3月)にまとめた事項の推進に努めた。

令和2年度の再編実施状況

- ・医療コースの設置 成田北高校
- ・保育基礎コースの設置 四街道北高校
- ・ものづくりコースの設置 姉崎高校
- ・工業基礎コースの設置 天羽高校
- ・福祉コースの設置 犢橋高校
- ・工業に関する学科の再構成 千葉工業高校(定時制) 市川工業高校(定時制)
- ・商業に関する学科の再構成 木更津東高校(定時制:普通科に商業に関するコース設置、商業科募集停止)

#### (2) 魅力ある県立学校づくりに向けた支援

魅力ある県立学校づくりに向けた優れた取組を表彰し、県立学校の魅力づくりを推進した。

魅力ある県立学校づくり大賞

- ・最優秀賞 1校 飯高特別支援学校
- ・特別賞 1校 多古高等学校

- ・優秀賞 8校 東金特別支援学校、東金商業高校、大原高校、千葉南高校  
印旛特別支援学校、湖北特別支援学校、千葉女子高校、東葛飾高校

### (3) 工業高校企業等連携推進事業

工業教育の拠点校である千葉工業高校へのコーディネーターの配置や、工業系高校と、企業や大学等、外部関係機関との連携を推進する「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」により、キャリア教育の充実と今後の地域産業を支える人材の育成を図った。

### 3 広報活動の推進

教育広報「夢気球」、千葉県教育委員会ホームページ等を

予 算 額	予算執行額
2,775千円	2,774千円

中心とする広報媒体の活用により、県教育委員会の重点施策や先進的な取組を効果的に紹介した。

また、広聴及び教育行政に係る相談窓口業務として、問い合わせ等に迅速に対応した。

令和2年度発行刊行物等

- ・教育広報「夢気球」年1回（例年2回）
- ・パンフレット「千葉県の教育」
- ・千葉県教育委員会ホームページ  
「県教委ニュース」毎月1回発行  
「フォトニュース」随時更新

### 4 校務用パソコンの整備

県立学校における教員の校務環境改善のため、教員一人

予 算 額	予算執行額
536,901千円	536,900千円

一人が成績処理や教材作成等の校務処理を行う校務用パソコン（1人1台PC）を整備し、活用を図った。

### 5 情報教育の推進

すべての教室から安全かつ快適にインターネットにアク

予 算 額	予算執行額
360,806千円	358,184千円

セスできるよう県立学校の接続回線の保守を行った。

### 6 教育用コンピュータの整備

産業教育振興法に基づく整備対象校を除くすべての県立

予 算 額	予算執行額
288,010千円	288,006千円

高校に教育用コンピュータを整備し、情報化社会に対応した教育を推進した。

## 財務課

### 1 県立学校管理運営事業

県立中学校、全日制高等学校及び特別支援学校の教育活

予 算 額	予算執行額
5,720,046千円	5,510,712千円

動の充実を図るとともに、定時制及び通信制教育についても、その充実に努めた。

事 業 名	金 額	備 考
中学校教育振興費	17,416千円	2校
全日制高等学校管理費	3,449,085千円	119校
定時制高等学校管理費	101,969千円	17校
通信教育費	17,094千円	1校
実習船運営費	127,579千円	千潮丸(499t)
特別支援学校運営費	1,797,569千円	36校

### 2 公立小・中学校施設等の整備促進

公立小・中学校等の危険建物・老朽建物の改築・改造や

予 算 額	予算執行額
1,677千円	1,673千円

不足教室の解消のための施設整備事業について、国庫補助金の確保に努め、かつ、適正に執行されるよう市町村を指導した。

### 3 公立高等学校就学支援金

高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図るため、授業料相当額の就学支援金を支給した。

予 算 額	予算執行額
8,842,035千円	8,832,676千円

### 4 公立高等学校等奨学のための給付金

高等学校等における教育に係る教育費負担軽減を図るため、奨学のための給付金を支給した。

予 算 額	予算執行額
1,078,880千円	996,414千円

### 5 千葉県奨学資金貸付金

高等学校等の在学者で経済的理由により修学が困難な者に対し、学資の貸付けを行った。

予 算 額	予算執行額
1,192,720千円	287,459千円

## 教育施設課

### 1 県立学校の教育財産管理

学校施設の安全対策や防災に資するため、警備委託、施設定期点検及び消防設備補修・点検等を実施した。

予 算 額	予算執行額
863,166千円	752,998千円

また、県立学校施設校地の適正な管理のため、測量等を実施した。

事 項	金 額	備 考
教育財産管理費	110,810千円	警備委託、用地測量等
教育施設防災費	630,935千円	施設定期点検、消防設備補修・点検等
財務管理事務費	11,253千円	建築確認手数料等

### 2 産業教育施設整備

産業教育を行う学校に、実習用備品等の整備に努め産業教育の充実を図った。

予 算 額	予算執行額
2,001,860千円	96,336千円

### 3 高等学校施設整備

保護者が設置した普通教室空調設備のリース料等を負担

予 算 額	予算執行額
4,931,773千円	4,326,438千円

するとともに、教職員の執務環境の改善を図るため、職員室等管理諸室への空調設備の整備を行った。

高等学校施設の長寿命化対策を推進するため「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき長寿命化改修工事基本計画や屋上防水等改修工事を行った。

また、台風等による被害施設の復旧工事を実施するとともに、屋内運動場等の天井の落下防止対策や、安全対策が必要なブロック塀等の撤去・改修を実施した。

事 項	金 額	備 考
高等学校再編事業	102,722千円	工業実習室等改修工事 3校 等
県立学校非構造部材対策事業	693,811千円	設計1校1棟 工事26校28棟
県立学校空調設備整備事業	720,685千円	普通教室・管理諸室空調設備リース料等
県立学校長寿命化対策事業	597,193千円	長寿命化改修工事基本計画 4校 屋上防水等改修工事 4校8件 未使用化校舍解体工事 1校 等
高等学校ブロック塀等 安全対策事業	212,035千円	工事26校70箇所
高等学校災害復旧事業	759,771千円	台風等の災害被害に係る復旧工事等

その他	1,240,221千円	一般整備等
-----	-------------	-------

#### 4 特別支援学校施設整備

特別支援学校の児童生徒の増加に伴う過密状況に対応

予 算 額	予算執行額
1,104,042千円	907,856千円

するため「第2次県立特別支援学校整備計画」に基づき校舎の建築工事等を行った。

また、台風等による被害施設の復旧工事を実施した。

事 項	金 額	備 考
特別支援学校施設整備費	713,527千円	(仮称)東葛飾地区特別支援学校校舎外建築工事 管理諸室空調設備工事、一般整備等
県立学校長寿命化対策事業	15,990千円	長寿命化改修工事基本計画 2校
特別支援学校災害復旧事業	178,037千円	台風等の災害被害に係る復旧工事等
その他	302千円	特別支援学校土地借上料

## 福利課

#### 1 教育庁等職員健康管理事業

教育庁等職員の健康の保持増進を図るため、各種の健康診断を実施し、疾病の予防・早期発見に努めた。

なお、令和2年度の教育庁等職員の定期健康診断の受診率は、人間ドックの受診も含めて、ほぼ100%となっている。

予 算 額	予算執行額
13,404千円	12,429千円

#### 2 教職員住宅管理事業

教職員住宅の維持管理のため、施設設備の点検や補修等を行うとともに、教職員住宅1件に係る公租公課の償還等を行った。

予 算 額	予算執行額
24,586千円	24,494千円

#### 3 公立学校共済組合千葉宿泊所建設費の償還

公立学校共済組合千葉宿泊所に係る建設費の償還を行った。

予 算 額	予算執行額
381,954千円	381,952千円

## 生涯学習課

### 1 生涯学習の推進と社会教育の振興

予 算 額	予算執行額
423,125千円	398,633千円

#### (1) 生涯学習審議会・社会教育委員会議

教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べるなど、生涯学習や社会教育に関し教育委員会に助言や答申を行った。

#### (2) 指導者等の養成

社会教育主事、図書館、公民館関係職員等を対象とした研修事業を実施し、生涯学習関係職員・社会教育関係職員の資質の向上に努めた。

#### (3) 社会教育関係団体の育成

社会教育関係団体の育成を図るため、適切な指導、助言及び助成を行った。

#### (4) さわかちば県民プラザにおける生涯学習の推進

生涯学習を推進するため、生涯学習情報提供システムにより、県内の生涯学習に関する情報を収集・提供した。また、現代的な課題に関する講座や子供の学ぶ意欲を高める講座を開催した。

#### (5) 県立学校開放の推進

県立学校文化施設及び交流施設等を地域の団体に開放した。また、県民の多様な学習ニーズに応えるため、県立学校の教育機能を開放し、「県立学校開放講座」を開催した。

#### (6) 青少年教育の充実

「読書県『ちば』」の推進に向け、発達段階に応じた保護者向けリーフレットの作成・配付を行った。

#### (7) 地域に開かれ地域とともに歩む学校づくりの推進

学校・家庭・地域の連携を強化し、地域ぐるみで学校運営を支援する体制整備を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進した。また、子供たちの安全で安心な居場所づくりのため、小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組の充実に努めた。

#### (8) 家庭教育支援の充実

少子化や核家族化などにより子育て中の保護者が孤立することを防ぐため、地域の多様な人材を活用し、親同士の交流の場や子育てに関する学習機会の提供などを行う家庭教育支援チームの設置を推進した。また、市町村家庭教育支援員等のための研修講座を実施するなど、家庭教育に関する学習機会や支援体制の充実に努めた。

#### (9) 企業や大学等と連携した教育の推進

子供たちが、将来の千葉県を支える社会人・職業人として自立していく上で必要な勤労観、職業観を育てるため、県内の多様な企業や大学等と連携した体験プログラムを提供するなど、キャリア教育の推進に努めた。



#### (10) 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

学校卒業後の障害者が社会で自立して生きるために必要となる力を生涯にわたり維持・伸長するための実践的な研究を行った。

#### 2 視聴覚教育の促進

情報化社会に対応した視聴覚教育の振興を図るため、総

予 算 額	予算執行額
842千円	651千円

合教育センターにおける視聴覚教育の充実と教材の整備・活用を図るとともに、視聴覚教育の指導者を養成するための研修等を実施した。

#### 3 青少年教育施設の管理・運営

集団宿泊生活等を通じて心身ともに健全な青少年の育成

予 算 額	予算執行額
547,071千円	503,205千円

を目指す県立青少年教育施設の5施設については、指定管理者に運営を委託し、青少年の体験活動の一層の充実と適正な施設運営を図るとともに、必要な施設整備を行った。

#### 4 図書館の管理・運営

県立図書館については、県内公共図書館サービスの拠点

予 算 額	予算執行額
474,309千円	409,426千円

として図書館資料の充実を図ったほか、資料の図書館間の貸出しや課題解決支援サービスの普及など県内市町村立図書館等への支援活動を行った。また、令和元年8月に策定した「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」に基づき、新たな「知の拠点」となる複合施設を建設するための整備を進めている。

## 学習指導課

#### 1 教職員の研修事業

教職員の資質能力の向上と学習指導要領に基づいた学習

予 算 額	予算執行額
2,036千円	1,537千円

指導の充実を図るために、幼稚園等、小中学校等、高等学校、特別支援学校の教職員を対象として、教育課程、各教科等及び今日的教育課題等に関する研修や研究協議を実施した。

また、各学校の実態に応じた教職員の指導力の向上のために、県内公立学校に指導主事等を派遣し、ICTや学習支援ソフトの活用、学校評価等に関する指導助言を行った。

さらに、先進的・具体的な授業実践の研究を通じて、全県的な教科指導技術向上を図るために、高等学校では教科研究員を任命し、研究成果を広く周知した。

## 2 学力向上の推進

予 算 額	予算執行額
1,243,737千円	964,232千円

### (1) 学力向上対策

児童生徒の学力向上を目的として、「自ら課題を持ち多様な人々と協働し粘り強くやりぬく子」、「子供と社会の変化を捉え自律的に学ぶ姿勢を持ち授業を工夫する教員」を目標に、子供たちの学ぶ意欲の向上と、教員の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の2点を柱とした「ちばっ子「学力向上」総合プラン(学びの未来づくり ダブル・アクション+ONE)」を総合的な学力向上施策として推進した。

### (2) 学習サポーター派遣事業

児童生徒の学力向上を図るため、少人数指導等の授業支援や、学校教育の一環として行う放課後等の学習支援の取組などに対して、退職教員や教員を志望する大学生等を学習サポーターとして小中学校等644校、高等学校119校に派遣した。

### (3) キャリア教育の推進

小中学校等、高等学校の継続的なキャリア教育を推進するために「キャリア・パスポート」の様式や活用事例をホームページに公開するとともに、各学校での活用が進むよう周知に努めた。

高校生の職業選択能力や職業意識の向上を図るため、インターンシップ推進事業及び高校生就職支援事業を実施するとともに、県内の研究機関や企業等との連携を図り、キャリア教育を推進した。

## 3 国際理解教育の推進

予 算 額	予算執行額
268,274千円	255,322千円

国際化社会に対応した教育の推進の一環として、外国語教育及び国際理解教育の充実を図るため、外国語指導助手(ALT)57人を県立学校に配置した。

外国人児童生徒等の教育の支援のため、県立学校34校に延べ59名の教育相談員を派遣し、適応指導、日本語指導のほか、国際理解教育の推進を図った。

また、外国人児童生徒等の教育が充実していくよう教育庁内の関係課の業務を整理し、今後の外国人児童生徒等に対応していく庁内体制を整えるものとして「千葉県外国人児童生徒等教育の方針」を令和3年3月に策定した。

## 4 道徳教育の推進

予 算 額	予算執行額
97千円	86千円

千葉県で学ぶ子供の道徳性を高めるために、道徳教育懇談会では、特に令和4年度からの高等学校の新学習指導要領の全面实施を見据え、県立高等学校における道徳教育の充実について大学教授等の有識者を委員として意見交換を行った。また、道徳教育推進教師研修会の実施等を通して、本県の道徳教育の在り方について検討した。

## 5 総合教育センター等の運営

予 算 額	予算執行額
356,590千円	313,261千円

- (1) 時代のニーズ並びに本県の教育課題に即応するため、7件の調査研究を実施した。
- (2) 教職員の資質向上のための研修を、幼稚園等、小中学校等、高等学校、特別支援学校の教職員(延べ40,691名)を対象に実施した。
- (3) カリキュラムサポート室においては、学校や教職員の教育活動の充実に向け、相談への対応や教育情報の提供、人材育成のための教師塾や県民対象の教育普及事業等を実施した。
- (4) 教職員の資質向上に資するため、教育情報誌として「千葉教育」を年間6回発行した。
- (5) 教育相談事業(特別支援教育部)として、子供、保護者、教職員等からの来所相談(62件、延べ609回)、電話相談(537件)、メール相談(26件)、出張相談(7件、延べ13回)を実施した。

## 児童生徒課

### 1 生徒指導の充実

予 算 額	予算執行額
752,405千円	718,974千円

#### (1) 教育相談体制の充実

いじめ、不登校等の未然防止や早期発見・解決を図るため、スクールカウンセラー等を県下全公立中学校、公立小学校165校(千葉市を除く)、県立高等学校85校に配置し、学校における教育相談体制の充実に努めた。

また、難しい事案への支援や、重大事件事故に対応できるスーパーバイザー15名を各教育事務所等に配置し、心のケアに対する緊急支援体制の強化に努めた。

児童生徒が抱える問題が、多様化、複雑化している中、スクールソーシャルワーカーを公立小中学校18校、定時制課程を置く公立高等学校17校、地域連携アクティブスクール4校に配置し、児童生徒のきめ細かな支援の充実に努めた。

さらに、緊急性の高い困難事案にも迅速に対応できるよう、5名を各教育事務所に配置した。

県内の中学校・高等学校に在籍する生徒を対象に身近なコミュニケーションツールであるSNSを活用した相談窓口を設置した。

#### (2) いじめ防止対策の推進

いじめ防止対策推進法、県いじめ防止対策推進条例及び県いじめ防止基本方針に基づき、学校におけるいじめ対策の体制について指導助言を行った。いじめ防止等に関する啓発資料を活用し、教職員の研修等を実施するとともに、国及び県基本方針の内容について周知を図った。

## 2 子どもと親のサポートセンター等の運営

予 算 額	予算執行額
81,681千円	78,258千円

- (1) 教育相談事業として、来所相談（延べ4,914件）、電話相談（延べ9,785件）、Eメール相談（延べ212件）等を実施した。
- (2) 子供たちの心豊かな成長を支援するため、学校・関係機関支援（44件）、不登校児童生徒支援チーム（45件）など7事業を実施した。
- (3) 生徒指導・教育相談の充実を図るため、教員対象の研修講座、教育関係職員研修会（406名）を実施した。
- (4) 子供たちを取り巻く様々な今日的課題の解決に資するために、2件の調査研究を実施した。

## 特別支援教育課

### 1 特別支援教育振興事業

予 算 額	予算執行額
450,693千円	260,181千円

#### (1) 千葉県教育支援委員会の開催

心身に障害のある児童生徒の適切な就学を図るため、教育支援委員会を開催した。

- ・委員会開催 4回
- ・取扱件数 475件

#### (2) 特別非常勤講師の配置

特別支援学校において、障害のある児童生徒への指導の充実を図るため、専門的知識を有する外部講師を配置した。

- ・配置校 31校
- ・配置人数 57名

#### (3) 県立特別支援学校修学旅行等安全対策事業

医療的ケアを必要とする児童生徒が参加する修学旅行に医師・看護師を派遣し、児童生徒の健康及び安全の確保を図った。

- ・実施校 13校
- ・派遣医師・看護師数 32名

#### (4) 特別支援アドバイザー事業

教育事務所に特別支援アドバイザーを配置し、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒の支援のため、要請に応じて公立の幼稚園、小・中学校、高等学校等を巡回し、派遣先の各学校の教員、特別支援教育支援員、ボランティア等に対して助言・援助を行った。

- ・配置人数 21名
- ・派遣回数 912回

(5) 高等学校特別支援教育支援員配置事業

県立高等学校に在籍する生活全般の介助を必要とする生徒への適切な支援を行うために、特別支援教育支援員を配置した。

- ・ 配置校数 9校
- ・ 配置人数 9名

(6) 特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業

東京オリンピック・パラリンピックを契機として、共生社会の形成に向け、障害者スポーツを身近なものとし、スポーツによる地域との交流を深めるため、特別支援学校を拠点として、障害者スポーツの振興を図った。

- ・ 備品整備（ボッチャセット等 36校）

(7) 「第2次県立特別支援学校整備計画」の推進

平成29年10月に策定した「第2次県立特別支援学校整備計画」に基づき、引き続き特別支援学校の過密状況への対応を行った。

## 教職員課

1 学校管理運営指導事業

予 算 額	予算執行額
1,431,107千円	1,259,769千円

(1) 公立学校教員採用候補者選考事業

県立学校及び義務教育諸学校教員志願者5,564人を対象に採用候補者選考を実施し、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭、養護教諭及び栄養教諭1,726人を採用候補者名簿に登載した。

令和2年度は、栄養教諭退職補充及び未配置解消を狙い栄養教諭選考区分を新設した。また、育児や介護等で退職した方の再チャレンジ機会の拡大のため、元教諭特例の志願要件を、「過去10年以内の退職、実務経験5年以上」から「過去15年以内の退職、実務経験3年以上」と緩和した。

(2) 教育職員免許状授与等事業

教育職員免許法に基づき、教育職員免許状の授与、検定、書換、再交付、授与証明書の発行及び免許状更新の事務を実施した。

(3) 教職員研修事業

ア 公立学校管理運営研修会

学校の管理及び運営に関する諸問題について共通理解を深め、学校経営の適正かつ円滑な実施に資するため、教頭を対象に研修を実施した。

イ 公立小・中学校等事務職員研修会

学校事務職員の資質能力の向上を図るため、新任・中堅事務職員を対象に研修を実施した。

#### ウ 教職員の人事評価に係る研修会

教職員の人事評価制度への理解と円滑な運用を図るため、全公立学校長等を対象に研修を実施した。

#### エ 免許法認定講習

教育職員免許法に基づき、上級免許状や他教科免許状、他校種免許状等の取得に必要な単位を修得するための講習を現職教員対象に実施した。

#### (4) 非常勤講師等の配置

学校教育の充実を図るため、非常勤講師やスクール・サポート・スタッフ等を配置した。

### 2 高等学校総務事業

(1) 学校教育の充実を図るため、非常勤講師等を配置した。

予 算 額	予算執行額
1,768,237千円	1,724,897千円

(2) 県立高等学校の学校技能員の退職不補充に伴い、業務委託を行った。

### 3 特別支援学校振興事業

(1) 学校教育の充実を図るため、非常勤講師やスクール・サポート・スタッフ等を配置した。

予 算 額	予算執行額
1,992,092千円	1,965,605千円

(2) 県立特別支援学校の学校技能員及び運転手の退職不補充に伴い、業務委託を行った。

## 学校安全保健課

### 1 学校保健の充実

(1) 学校医等の委嘱

県立学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師及び健康管理医を委嘱し、健康教育の推進に努めた。

(2) 保健教育の充実

#### ア 養護教諭を対象とした研修の実施

養護教諭初任者研修、養護教諭5年経験者研修、10年経験者研修等の各種研修を実施し、専門的知識や技術の習得に努めた。

#### イ 学校保健に関する研修会の開催

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、性教育や薬物乱用防止教育等の学校保健に係る課題をテーマとした研修会を開催し、学校保健に関する指導者の育成を図った。

(3) 公立学校健康審査会

千葉県公立学校職員健康審査会（一般部会、神経・精神部会、特別部会）を実施し、学校職員の

健康管理の充実を図った。

(4) 県立中学校・高等学校へのAEDトレーナー等の設置

「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」に基づき、AEDトレーナーを拠点校24校に配置し、県立中学校・高等学校の生徒を対象とした実習の充実を図った。

2 学校安全

予 算 額	予算執行額
4,565千円	2,755千円

(1) 安全教育の推進

**ア 学校安全に関する研修会等の開催**

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、協議会や研修会を開催し、学校における安全教育と安全管理の徹底を図るとともに、学校安全に関する指導者の育成を図った。

**イ 学校安全研究校の指定**

学校安全研究校を指定し、今日的な学校安全の課題を研究するとともに、教職員及び児童生徒の安全意識の向上と学校安全教育の一層の充実を図った(小学校1校・高等学校1校)。

**ウ 学校安全教育講師派遣事業**

学校が実施する学校安全に関する講演会等に講師を派遣し、児童生徒の安全意識の向上を図った(小学校2校・中学校1校・高等学校1校 計4校)。

(2) 交通安全教育の充実

**ア 交通安全教室の実施**

原付通学許可者に対する交通安全教室を開催し、原付通学者の危険防止及び安全に対する意識の啓発を図った(参加生徒 249名)。

**イ 千葉県通学路推進事業**

モデル地域1地域、拠点校1校を指定し、専門家による交通安全教室等を積極的に行い、学校と地域が連携した安全確保の取組を行い、交通安全教育の推進を図った。

(3) 防犯教育の充実

**ア 地域安全マップ作成の推進**

子供の事故・事件・災害等に対する危険予測能力及び危険回避能力を高めるため、地域の特性に応じた交通安全、防犯、防災に係る「地域安全マップ」作成の推進を図った。

**イ 安全教育啓発ポスター(防犯)の作成**

学校種ごと(小学生、中・高校生用)に防犯ポスターを作成・配付し、児童生徒及び教職員の防犯意識の向上、基本的な対処方法等の周知を図った。

**ウ 防犯教育公開事業**

モデル地域1地域、拠点校1校を指定し、防犯教育について地域と学校が連携した安全確保の取組を行い、防犯教育の推進を図った。

#### (4) 防災教育の推進

##### ア 実践的な防災教育推進のための教員及び管理職研修

各地区における防災教育のリーダーとなる教員を育成するため、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校から推薦された教員を対象に、1日間の研修を行った（参加 88名）。

また、管理職に対しては、各学校において実践的な防災教育を推進するため1日の研修を行った（参加 141名）。

##### イ 命の大切さを考える防災教育公開事業

東日本大震災後に実施した防災調査の結果掲げられた課題（津波からの避難、帰宅困難・保護者への引き渡し、避難所での対応、防災ボランティア）や、令和元年の台風・大雨による風水害など、地域の実情を踏まえた「災害安全」の課題を解決するため、地域の特性を考慮しながらモデル地域3地域、拠点校3校を指定し、公開授業や地域との合同防災訓練を行い、その研究成果を広め、効果的な防災教育の推進を図った。

### 3 健康管理対策

予 算 額	予算執行額
759,272千円	671,374千円

#### (1) 教職員の健康管理

教職員の健康の保持増進のために各種健康診断を実施し、疾病等の予防及び早期発見に努めた。

また、「千葉県教育委員会メンタルヘルスプラン」を改訂し、教職員を対象としたメンタルヘルス対策の推進を図った。

#### (2) 児童生徒の健康管理

ア 児童生徒の健康の保持増進のために各種健康診断を実施し、疾病等の予防及び早期発見に努めた。

イ 校内における救命救急体制の充実を図るため、全県立学校に自動体外式除細動器（AED）を設置した。

### 4 学校給食の充実

予 算 額	予算執行額
88,444千円	80,681千円

#### (1) 栄養教諭・学校栄養職員対象の研修の開催

栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図るため、各層の研修を開催した。

- ・新規採用学校栄養職員研修 参加 24名 7回開催（うち書面開催1回、資料配付等代替措置3回）
- ・学校栄養職員フォローアップ研修（2年目研修）参加 22名 1回開催（書面開催）
- ・中堅等資質向上研修（学校栄養職員）参加21名 6回開催（うち書面開催1回、資料配付等代替措置3回）
- ・専門研修（学校栄養職員）参加9名 1回開催（資料配付等代替措置）
- ・栄養教諭初任者研修 参加 19名 7回開催（うち書面開催1回、資料配付等代替措置4回）



- ・中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭）参加26名 4回開催（うち書面開催1回、校内研修での代替措置1回）

(2) いきいきちばっ子食育推進事業

「ちばの食」を通じて子供たちの健やかな体を育むとともに、規則正しい生活習慣を身に付けさせるため、食育ノートの活用や体験型の食育活動を行うなど、学校における食育の推進を図った。

**ア 食に関する指導事業地区別研究協議会**

千葉市を除く給食を実施する公立学校の管理職又は給食主任及び栄養職員・栄養教諭等へ資料配付を実施。

**イ 地域における食育指導推進事業**

食育指導推進拠点校18校指定、食育指導推進委員18名委嘱

**ウ 高等学校と連携した食育活動支援事業**

高等学校の施設や人材を活用し、近隣小学校の児童が体験型の食育活動を行った。

- ・北総地域：県立成田西陵高等学校、成田市立八生小学校・玉造中学校
- ・南房総地域：県立市原高等学校、市原市立牛久小学校・市原市立南総中学校

(3) 学校給食の安全安心の確保

給食食材の一層の安全安心のため、放射性物質検査機器を各教育事務所に設置し、給食に使用予定の食材のサンプル検査を実施した。

- ・市町村（18市町村） 県立学校（33校） 国立学校（1校）

(4) 学校給食設備の整備充実

県立特別支援学校における学校給食に必要な設備の更新を行った。

- ・既設校厨房備品の更新 38件

(5) 被災児童生徒就学支援等事業(医療費、学校給食費)

被災により就学が困難となった幼児、児童又は生徒の医療費、学校給食費に対して助成するため、国の被災児童生徒就学支援等事業交付金を活用し、市町村が実施する就園・就学支援事業に助成した。

(6) 夜間定時制高等学校夕食費補助事業

夜間定時制高校に通う経済的に厳しい生徒に対して、学校で提供される夕食に係る費用の一部を助成することにより負担軽減を図った。

## 文化財課

1 文化財保護事業

貴重な文化財の適正な保存・管理とその活用を図るため、

予 算 額	予算執行額
100,701千円	97,238千円

指定文化財の保存整備・修理等事業への助成等を行い、文化財に対する保存と活用に努めた。また、

埋蔵文化財を保護するため、重要遺跡の確認調査を実施したほか、緊急調査事業の助成等を行い、保護体制の整備に努めた。

事業名	事業内容	金額
文化財の保存・管理充実と活用の促進	・国・県指定文化財等の保存整備等事業への助成 ・県有文化財の活用	79,944千円
埋蔵文化財保護対策の推進	・重要遺跡確認調査の実施 ・埋蔵文化財緊急調査事業の助成 ・不特定遺跡発掘調査の助成	17,294千円

## 2 文化施設整備・利用促進事業

県民の意欲的な文化活動を促進するため、県立美術館・

博物館の施設整備や展示事業等の充実に努めた。

予算額	予算執行額
1,241,910千円	1,146,267千円

事業名	事業内容	金額
県立博物館・美術館の施設整備の充実	・美術館屋上防水改修工事等の施設整備 ・房総のむら風土記の丘資料館大規模改修工事	150,916千円
県立博物館・美術館活動の充実	・県立美術館活性化事業「魔法の手 ロッカクアヤコ作品展」の実施 ・博物館等5館の展覧会及び教育普及事業等の実施	995,351千円

## 体育課

### 1 体育・スポーツ振興事業

#### (1) 学校体育

児童生徒の体育・スポーツ活動の活性化及び豊かなスポーツライフの基礎づくりに資するため、研究校を指定し、学校体育の実践的研究の推進を図った。

また、体育担当教員の資質の向上を図る各種研修会・講習会の開催、運動部活動への外部指導者の派遣、学校体育関係団体に対する助成等により学校体育の改善・充実に努めた。

予算額	予算執行額
320,203千円	272,190千円

事業名	事業内容	金額
指導力強化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会、講習会の開催（一部中止、多くは書面開催、オンライン研修・オンデマンド研修として実施）</li> <li>・スポーツエキスパート活用事業、部活動指導員配置事業の実施</li> </ul>	11,111千円
学校体育指導事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動能力証の交付（中止）</li> <li>・体力、運動能力の調査（中止）</li> <li>・学校体育研究校の指定（2校）</li> <li>・高等学校安全技術講習会（1競技実施、2競技中止）</li> <li>・いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施 （4月～9月中止 10月～種目を変更して実施）</li> <li>・学校体育関係団体への助成及び各種大会の共催</li> </ul>	3,419千円

## （2）生涯スポーツ

県民のスポーツ活動に対する関心が高まるとともに、地域社会でのスポーツ活動が活発となり、手軽に楽しく、しかも継続的にスポーツ活動ができる環境づくりの要求に応えるべく、学校体育施設の開放、指導者の養成と指導力の向上、生涯スポーツに係る関係団体との連携、スポーツ活動や行事の内容の充実、スポーツに関する情報提供、生涯スポーツ関係団体への助成等、生涯スポーツの推進を図った。

事業名	事業内容	金額
社会体育指導事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立学校体育施設の開放（69校）</li> <li>・千葉県スポーツ推進審議会の開催（2回） （第2回は書面開催）</li> <li>・体育功労者等の顕彰</li> <li>・各種講習会の開催（一部中止）</li> <li>・生涯スポーツ関係団体への助成</li> <li>・（仮称）スポレク健康スクエア用地管理事業</li> </ul>	12,967千円
スポーツ振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツの推進 （スポーツ立県ちば推進月間関連事業） （親子体験イベント中止）</li> <li>・子どもの体力向上と体育の充実 （幼児期における体力づくりに関すること） （一部書面開催・動画、資料配信）</li> <li>・スポーツ環境の整備 （総合型地域スポーツクラブ自立支援事業）</li> </ul>	376千円

事業名	事業内容	金額
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを活用した地域の活力づくり</li> <li style="margin-left: 20px;">（プロスポーツ活用連携事業 （かなえ隊派遣事業中止・ ちば夢チャレンジパスポート プロジェクト一部中止） 県民体育大会サブイベントの開催（中止）</li> </ul>	
スポーツ指導事業	・スポーツ指導者関連各種講習会の実施（一部中止）	623千円

### （３）競技スポーツ及び国際スポーツ交流

本県における体育・スポーツの推進や、競技水準の向上を目指して、各競技団体が行う競技力向上の取組への支援や、国民体育大会冬季大会及び国民体育大会関東ブロック大会アイスホッケー競技への選手団派遣等により、競技スポーツの普及・振興を図った。

また、2021年開催の東京2020オリンピック・パラリンピックに、本県ゆかりの選手が1人でも多く出場し、県民に元気と勇気を与えられるよう、ジュニア世代の選抜選手と障害者アスリートの強化を行う、障害者アスリート強化・支援事業及び東京オリンピックアスリート強化・支援事業において、特別強化指定選手126名を指定した。

事業名	事業内容	金額
国民体育大会派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第76回国民体育大会冬季大会（岐阜・愛知）への選手団派遣</li> <li>・国民体育大会関東ブロック大会アイスホッケー競技（神奈川県）への選手団派遣</li> </ul>	4,584千円
県民体育大会事業	・県民体育大会（中止）	400千円
千葉県競技力向上推進本部事業	・各競技団体が行う、本県スポーツ選手の競技力向上の取組に対する支援	197,030千円
スポーツ振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピックアスリート強化・支援事業</li> <li>・障害者アスリート強化・支援事業</li> <li>・ドイツ・デュッセルドルフ市及び台湾・桃園市とのスポーツ交流（中止）</li> </ul>	18,544千円

### （４）ちばアクアラインマラソン

令和2年10月18日(月)に開催予定であった「ちばアクアラインマラソン2020」の中止を受けて、確実な後処理を実施するとともに、過去四大会及び2020大会準備の検証を実施した。

さらに、「スポーツの振興」と「千葉の魅力発信」のための情報発信を行った。

事業名	事業内容	金額
ちばアクアラインマラソン事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちばアクアラインマラソン実行委員会総会及び企画調整委員会等各種会議の開催</li> <li>・大会中止の確実な後処理の実施</li> <li>・過去四大会及び2020大会準備の検証</li> <li>・「スポーツの振興」と「千葉の魅力発信」のための情報発信</li> </ul>	23,136千円

## 2 総合スポーツセンターの運営等

予算額	予算執行額
1,000,987千円	973,199千円

### (1) 総合スポーツセンターの運営

総合スポーツセンターでは、施設を広く県民の利用に供し、県民の健康・体力の保持増進、スポーツ選手の育成強化及び体育・スポーツの振興に努めた。

各施設の利用状況は、次のとおりである。

千葉県総合スポーツセンター入場者数（指定管理者：千葉県スポーツ協会・まちづくり公社グループ）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
822,984人	841,714人	820,871人	592,897人	178,863人

千葉県総合スポーツセンター射撃場入場者数（指定管理者：千葉県ライフル射撃協会）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4,581人	4,031人	4,512人	4,553人	2,813人

千葉県総合スポーツセンター東総運動場入場者数（指定管理者：（一財）千葉県まちづくり公社）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
174,731人	189,178人	159,033人	184,933人	35,194人

### (2) 総合スポーツセンターの施設整備

総合スポーツセンター東総運動場陸上競技場第2種公認継続のための走路等改修工事を実施した。

総合スポーツセンター庭球場クラブハウス建替工事基本設計を実施した。

## 3 国際総合水泳場の運営

予算額	予算執行額
349,337千円	315,180千円

### (1) 国際総合水泳場の運営

国際総合水泳場では、施設を広く県民の利用に供し、県民の健康・体力の保持増進及び体育・スポーツの振興に努めた。

国際総合水泳場入場者数（指定管理者：オーエンス・セントラル・千水連グループ）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
452,377人	449,266人	492,796人	397,175人	196,124人

( 2 ) 国際総合水泳場の施設整備

非常用発電機改修工事に着手した。

# 警察本部

## 1. 警察活動基盤の充実強化

予 算 額	予算執行額
8,403,566千円	7,987,123千円

### (1) 治安情勢に対応した警察活動の推進

安全で安心できる県民生活を確保するため、高齢者が被害に遭いやすい電話 d e 詐欺や交通事故防止対策を始め、自治体や関係機関等と連携した広報啓発活動など、地域の治安情勢に即した総合的な対策を推進した。

また、県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙と犯罪組織の弱体化・壊滅に向けた取組の推進を重点として、組織の総合力を発揮した初動捜査や科学捜査を積極的に推進した。

このほか、「県民の期待と信頼に応える強い警察」の確立に向けて7つの重点取組施策を設定し、千葉県警察活動方針に掲げる「頼れる、誇れる、思いやりのある千葉県警察」の実現に向けて取組を推進した。

### (2) 警察施設の基盤整備

千葉県県有建物長寿命化計画に基づき印西警察署、茂原警察署及び流山警察署のほか本部出先庁舎3箇所について、大規模改修工事を完了させた。また、老朽化、狭隘化が著しい警察署の建替事業としては、館山警察署が工事1年目に着手、旭警察署の実施設計及び富津警察署の基本設計が完了するなど、治安基盤を充実化するための施策を推進した。

## 2. 刑事警察活動の強化

予 算 額	予算執行額
1,523,652千円	1,444,830千円

令和2年中における本県の刑法犯認知件数は34,685件であり、前年と比較して7,108件(17.0%)減少したところである。

これは、平成14年の約16万8千件を最高に、翌年から18年連続して減少している。このうち、殺人・強盗等の重要犯罪は462件で、前年と比較して38件(7.6%)減少、侵入窃盗・ひったくり等の重要窃盗犯は3,913件で、前年と比較して1,097件(21.9%)減少となっている。

刑法犯認知件数は減少傾向を維持しているものの、全国的には第6位と依然として高水準で推移していることから、更なる県民の安心感醸成のため、殺人・強盗等の凶悪犯については、組織の総合力を発揮した初動捜査やDNA型鑑定等の科学捜査を積極的に推進するとともに、各種検挙活動を強力に展開して、被疑者の早期検挙に努めている。

また、電話 d e 詐欺については、認知件数が1,217件、被害総額が約24億円と依然として巨額な被害をもたらしていることから、自治体や関係機関等と連携して各種広報媒体を活用した抑止活動を行うとともに、警察の総力を挙げた取締り活動を推進し、被疑者の徹底検挙・犯行グループの壊滅に取り組んでいるところである。

犯罪組織の弱体化・壊滅に向けた取組については、県内で活動する暴力団等の組織実態を解明するとともに、あらゆる法令を駆使した取締りを徹底し、併せて、犯罪収益の剥奪を図った。薬物事犯で

は、末端乱用者、密輸事犯の取締りを徹底するとともに、薬物密売・密造組織の実態解明、壊滅に向けた取組を推進した。また、ヤード総合対策については、立入り、実態把握・解明と併せ、あらゆる法令を駆使し、関連犯罪の徹底検挙を図るなど、不法ヤードの壊滅に向けた取組を推進した。

なお、刑法犯の認知及び検挙状況については別表1及び別表2、暴力団犯罪、来日外国人犯罪及び在日外国人犯罪の検挙状況については別表3、薬物犯罪の検挙状況及び拳銃押収状況については別表4のとおりである。

別表1

区 分	全刑法犯	前 年 比	重要犯罪	前 年 比	重要窃盗犯	前 年 比
認知件数	34,685件	-7,108件 (-17.0%)	462件	-38件 (-7.6%)	3,913件	-1,097件 (-21.9%)
検挙件数	12,660件	-223件 (-1.7%)	415件	21件 (5.3%)	1,964件	-416件 (-17.5%)
検挙人員	7,868人	142人 (1.8%)	361人	51人 (16.5%)	270人	32人 (13.4%)

別表2

区 分	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他刑法犯	総 数
認知件数	243件	2,045件	24,881件	1,708件	360件	5,448件	34,685件
検挙件数	220件	1,673件	8,221件	588件	322件	1,636件	12,660件
検挙人員	222人	1,699人	4,116人	363人	216人	1,252人	7,868人

別表3

区 分	暴力団犯罪		来日外国人犯罪		在日外国人犯罪	
	刑法犯	特別法犯	刑法犯	特別法犯	刑法犯	特別法犯
検挙件数	1,312件	444件	454件	534件	139件	45件
検挙人員	482人	355人	264人	434人	137人	55人

注) 来日外国人：永住者、永住者の配偶者等、特別永住者、在日米軍関係者及び在留資格不明者を除いた外国人をいう。

在日外国人：永住者、永住者の配偶者等及び特別永住者の在留資格を有する外国人をいう。

別表4

区 分	薬物犯罪		拳銃押収	
		密輸		暴力団
検挙件数	777件	36件	16丁	1丁
検挙人員	647人	47人		

一方、犯罪抑止等の面では、地域住民や自治体・関係機関等と連携し、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、総合的な犯罪抑止対策を推進している。



犯罪の予防に対する取組として、平成30年12月から4署5駅周辺の繁華街に50台からなる街頭防犯カメラネットワークシステムを設置運用していたが、同システムの一層の拡充を図るため、令和2年7月20日から第2期として7署13駅に70台のカメラを増設、現在は計120台で運用し、犯罪の予防や発生時の迅速な対応を図っている。

令和2年中は、署ごとに選定した「電話d e詐欺被害撲滅モデル地区」を中心に、個別訪問による固定電話機対策や最新の手口等を広報するなど、地域ぐるみで被害抑止活動を推進したほか、高齢者関係団体や報道機関、民間事業者等と連携し、官民一体となった取組を強力に推進した。また、引き続き「電話d e詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業」を運用したほか、平成29年に県内の金融機関の協力により導入した高齢者を対象とするATM利用制限を拡充するなど、官民一体で各種施策を推進した結果、認知件数、被害額ともに令和元年を下回り、被害の発生に一定の歯止めを掛けることができた。

悪質・巧妙化の一途をたどるサイバー犯罪への対処については、捜査資機材の拡充等による捜査基盤の整備を図るとともに、最新の犯行手口に対応するための研修により対処能力の強化に努めた。

ストーカー・DV事案等を始めとする人身安全関連事案に対しては、県及び千葉市などの関係機関相互の連携と情報共有の強化を図るとともに、被害者支援を充実させるため、警察が執り得る刑事手続や行政措置について記載したリーフレットの作成や携帯用緊急通報装置の貸与などを推進した。また、児童虐待については、県及び千葉市との協定により情報共有の充実を図るとともに、新たに警視1人を児童虐待対策官として指定し、当該事案に一層的確に対応するための体制強化を図った。

このほか、違法風俗店等の取締り等による歓楽街の環境浄化対策、高齢者が被害に遭いやすい悪質商法事犯など、県民生活に深く関わりのある警察事象に対し迅速かつ的確な対応に努めた。

### 3. 交通警察活動の強化

予 算 額	予算執行額
6,906,620千円	6,538,784千円

令和2年中の県下の交通事故発生状況については、死者数は128人で前年と比べ44人減少し、発生件数及び負傷者数も前年から減少した。また、昭和30年以来、65年ぶりに年間交通事故死者数が150人を下回った。

令和2年中の交通事故防止対策では、交通死亡事故等の発生実態の分析により、抑止効果が高いと認められる「歩行者保護「ゼブラ・ストップ」の徹底」、「高齢者安全対策の強化」及び「飲酒運転等危険な運転の根絶」を3つの柱として強力に推進した。

さらに、可搬式速度違反自動取締装置を新たに2台配備し、計3台を活用した生活道路等における速度取締りや、交通事故発生実態の分析に基づいた、交通事故に直結する悪質・危険な違反に重点を置いた取締りを推進した。また、悪質性・危険性・迷惑性の高い駐車違反の取締りを推進するとともに、地域住民の意見・要望等を踏まえた「取締り活動ガイドライン」を策定・公表し、常に警察署管内における駐車実態を反映したものとなるよう努めた。

このほか、有識者等による「持続可能な交通安全施設等の整備の在り方に関する検討会」における取りまとめ結果を踏まえ、信号機の新設・移設及び改良、交通規制の合理化を含む標識・標示整備等

を推進するとともに、道路管理者と連携した通学路等に対する安全対策や、信号機電源付加装置の整備等による震災対策等を推進し、交通の安全と円滑の確保に努めた。

なお、交通安全施設等の整備状況は、次のとおりである。

区 分	金 額
信号機（新設22基）	104,859千円
信号機（改良等）	1,527,922千円
管 制 セ ン タ ー	506,878千円
標 識	354,930千円
標 示	386,380千円
そ の 他	50,521千円
合 計	2,931,490千円

繰越明許費247,251千円（信号機改良等）は含まない。

# 定額の資金を運用する基金の 運用状況報告書



## 定額の資金を運用する基金の運用状況報告書

### 1 土地開発基金・美術品等取得基金運用状況報告書

令和2年度における特定の目的のために定額の資金を運用する基金について、地方自治法第241条第5項の規定により報告する。

#### (1) 千葉県土地開発基金

##### 運用状況

令和2年度末の基金現在高は1,800,000千円で、内訳は千葉県土地開発公社等への貸付金が1,400,000千円、現金が400,000千円である。

なお、当該年度中の運用状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減	令和2年度末現在高
基金総額	1,800,000		1,800,000
内訳	貸付金	1,400,000	1,400,000
	現金	400,000	400,000

#### (2) 千葉県美術品等取得基金

##### 運用状況

令和2年度末の基金現在高は2,000,000千円で、内訳は現金が686,260千円、美術品等取得が1,313,740千円である。

なお、当該年度中の運用状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減	令和2年度末現在高
基金総額	2,000,000		2,000,000
内訳	現金	686,260	686,260
	物品	1,313,740	1,313,740

